感染症発生動向調査事業報告書

平成23年(2011年)



感染症発生動向調査事業は、感染症の発生状況を把握・分析し、情報提供することにより、感染症の発生及びまん延を防止することを目的として行われている事業で、「感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)」に基づく事前対応型感染症対策として位置づけられています。

東京都健康安全研究センターでは、一類感染症から五類感染症、新型インフルエンザなど、全症例の届出が義務付けられている疾患、定点医療機関からの届出対象となる五類感染症等について、発生状況や病原体の検出状況等を迅速に把握し、解析・評価を行ったうえで都民や医療機関等に情報提供を行っております。

国においては平成24年までに麻しんを排除することを目標として掲げ、麻しん排除計画を策定しており、この計画に基づき取組を進めております。

都でも、麻しん対策会議において今後の対策のあり方について検討を進めております。ここでの議論を踏まえて、当センターでは平成 22 年麻しんに係る病原体レファレンスとして遺伝子検査を実施しております。

麻しん患者数は徐々に減少してきておりましたが、平成23年4月から、都内では麻しん患者の発生が続きました。検査結果から、麻しんウイルスがヨーロッパ、アジア由来の遺伝子型であることなど、流行拡大を防止するための貴重なデータを得ることができました。

今後とも、得られたデータ等については関係機関等に迅速に情報提供し、情報の共有を図ってまいります。

本報告書は、東京都医師会感染症予防検討委員会において行われた、平成 23 年の感染症発生情報の評価や、予防策の検討の結果をまとめたものです。各疾患の動向については、「小児科・内科疾患(インフルエンザ)」と「基幹定点における疾患」は長岡常雄委員長に、「眼科疾患」は井上賢治委員に執筆をお願いし、「一、二、三、四、五類(全数届出)」、「性感染症」及び「病原体情報」につきましては当センターの担当者が執筆いたしました。

末筆になりましたが、感染症発生動向調査事業にご協力いただいた東京都医師会、定点医療機関、 保健所等の関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

関係各位におかれましては、本書を広くご活用いただき、感染症対策の一助としていただくようお 願い申し上げます。

平成 24 年 7 月

東京都健康安全研究センター所長 住友 真佐美

目 次

第1章 東京都感染症発生	動向調査事業における患者情報	
東京都感染症発生動向調査	事業報告	3
1 発生動向調査の概略		
(1) 調査対象疾病・・・・・・		4
(2) 定点医療機関・・・・・		4
表 1 東京都感染症発生	動向調査事業定点数	4
(3) 運営方法 ······	••••••	4
(4) 情報発信	••••••	5
2 本年(2011年)の概況		
(1) 一類、二類、三類、	四類、五類(全数把握対象)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
(2) 五類感染症(定点把持	屋対象) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7
(3) 疑似症(法第14条	第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
表 2-1-(1) 東京都感染	や症発生動向調査年別患者報告数(一、二、三、四、五類全数)・・・・・・ 1	10
表 2-1-(2) 東京都感染	や症発生動向調査年別患畜報告数(全数動物)・・・・・・・・・・・ I	11
表 2-2 東京都感染症系	発生動向調査年別患者報告数(インフルエンザ定点・小児科定点)·・ 1	12
表 2-3 東京都感染症	発生動向調査年別患者報告数(眼科定点)···········	13
表 2-4 東京都感染症	発生動向調査年別患者報告数(基幹定点週報告分) · · · · · · · · · ·	13
表 2-5 東京都感染症	発生動向調査年別患者報告数(基幹定点月報告分) · · · · · · · · · · · ·	14
表 2-6 東京都感染症	発生動向調査年別患者報告数(STI 定点)・・・・・・・・・・・ 1	14
表 2-7 東京都感染症	発生動向調査年別患者報告数(疑似症定点)·····	14
3 各疾患の動向		
(1) 一類、二類、三類、	四類、五類感染症(全数把握対象) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	15
ア 一類感染症 ・・・・・		15
イ 二類感染症 ・・・・・		15
ウ 三類感染症 ・・・・・		15
エ 四類感染症 ・・・・・		24
才 五類感染症(全数拍	巴握対象) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 🤅	36
表 3-1 一、二、三、[四、五類全数把握対象疾患 患者報告数推移表 (61
表 3-2 一、二、三、[四、五類全数把握対象疾患 保健所別累計表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	64
表3-3 一、二、三、[四、五類全数把握対象疾患 年齢階級別累計表 6	67
(2) 小児科・内科疾患		
ア インフルエンザ・・・		70

イ	RSウイルス感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	71
ウ	咽頭結膜熱 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	72
工	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ······	73
才	感染性胃腸炎	74
力	水痘	75
丰	手足口病	76
ク	伝染性紅斑 ····································	77
ケ	突発性発しん ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	78
コ	百日咳	79
サ	ヘルパンギーナ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	80
シ	流行性耳下腺炎 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	81
ス	不明発しん症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	82
セ	川崎病 ••••••	83
(3)	眼科疾患	
ア	急性出血性結膜炎	84
イ	流行性角結膜炎	85
(4)	基幹定点における週報告疾患	
ア	細菌性髄膜炎	86
イ	無菌性髄膜炎	87
ウ	マイコプラズマ肺炎 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	88
工	クラミジア肺炎 (オウム病を除く) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	89
(5)	基幹定点における月報告疾患	
ア	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	90
イ	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91
ウ	薬剤耐性緑膿菌感染症 ······	92
工	薬剤耐性アシネトバクター感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	93
(6)	性感染症(STI)	
ア	性器クラミジア感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	94
イ	性器ヘルペスウイルス感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	95
ウ	尖圭コンジローマ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	96
工	淋菌感染症 ······	97
才	膣トリコモナス症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	98
カ	梅毒様疾患	99
表 4	1 调別患者報告数 ····································	100

表 4-2	週別定点当たり患者報告数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	102
表 5-1	保健所別患者報告数 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	104
表 5-2	保健所別定点当たり患者報告数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	106
表6-1	年齢階級別患者報告数(インフルエンザ・小児科) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	108
表6-2	年齢階級別患者報告数(小児科・眼科・基幹)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	109
表7-1	二次医療圈別患者報告数 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	110
表7-2	二次医療圏別定点当たり患者報告数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	111
表8-1	月別患者報告数(基幹)	112
表8-2	月別定点当たり患者報告数(基幹) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	112
表8-3	月別・性別患者報告数(基幹) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	112
表8-4	年齢階級別患者報告数(基幹)	113
表 9-1	月別患者報告数 (STI) ······	113
表 9-2	月別定点当たり患者報告数(STI)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	113
表 9-3	月別・性別患者報告数 (STI) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	114
表 9-4	月別・性別定点当たり患者報告数 (STI) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	114
表 9-5	保健所別、二次医療圏別患者報告数 (STI) ······	115
表 9-6	保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数 (STI) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	116
表 9 - 7	年齢階級別患者報告数 (STI) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	117
表 1 0	検査結果別報告数(基幹) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	117
表11	疑似症サーベイランス報告数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	118
第2章 東京	(都感染症発生動向調査事業における病原体情報)	
1 ウイル	ス検査結果	
(1) 小児	科・基幹病原体定点から搬入された検体の検査結果	
ア臨り	F診断名別にみた検体搬入状況 ······	121
イ臨月	F診断名別にみたウイルス分離検出状況 ······	122
ウニ臨月	F診断名別にみたウイルス遺伝子検出状況 ······	123
工 臨月	r診断名別にみたウイルス検出状況 ·····	124
才 臨身	r診断名別にみた血中抗体検査状況 ·····	130
(2) 内科:	病原体定点から搬入された検体の検査結果	
ア 201	0年/2011年シーズンのウイルス検出状況(再掲分) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	130
イ 201	0年/2011年シーズンのウイルス検出状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	130
ウ イン	/フルエンザウイルスの抗原解析 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	131
2 細菌検	查結果	

(1)	三類感染症の病原体検索・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	134
(2)	四類感染症の病原体検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	134
(3)	五類感染症(全数把握対象)の病原体検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	134
(4)	五類感染症(定点把握対象)の病原体検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	134
3 性原	感染症(STI)病原体定点から搬入された検体の検査結果	
(1)	クラミジア・淋菌遺伝子検査・細菌分離同定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	136
(2)	ヒトパピローマウイルス (HPV) の遺伝子検査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	139
(3)	単純ヘルペスウイルス(HSV:HSV-1 型及び HSV-2 型)の遺伝子検査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	139
(4)	膣トリコモナス検査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	139
第3章	資料	
	東京都感染症発生動向調査定点名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	143
	東京都医師会感染症予防検討委員会委員名簿	158
	感染症発生動向調査事業の流れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	159
	東京都感染症発生動向調査事業実施要綱 ······	160
	別表 1 感染症法に基づく感染症の分類	
	1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び指定感染症 ・・・・・	167
	2 五類感染症(全数把握)····································	168
	3 新型インフルエンザ等感染症 ······	169
	4 五類感染症 (定点把握)	169
	5 疑似症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	169
ŗ	別表2 五類感染症(定点把握)の調査単位と報告時期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	170
	別表 3 疑似症の調査単位と報告時期 ····································	170
	記様式一覧表 ······	171
	リ記様式 1 ···································	172
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	173
	····································	174
	····································	175
	 記様式 5 ······	176
	····································	177
	····································	179
	····································	180
		181
	記様式 10 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	183

第 1 章

東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

東京都感染症発生動向調査事業報告

(2011年) (2011年1月3日~2012年1月1日)

2011 年の感染症発生動向調査では発生から 3 年目を迎える新型インフルエンザ(AH1pdm09 型)の消長が注目されました。2009/2010 年シーズンのインフルエンザの流行パターンは例年とかなり異なり、44週(10月26日~11月1日)にピークがあり 1~3月には流行の山がないというパターンをとりました。また東京都健康安全研究センターで 36~46週(8月31日~11月29日)に検出されたウイルスは 468件中 467件が AH1pdm09型でした。一方、2010/2011年シーズンのインフルエンザの流行パターンはほぼ例年通りとなりました。また、健康安全研究センターで検出されたウイルスの型別では、流行初期の 2~5週(1月10日~2月6日)では AH1pdm約70%、AH3(A香港)約25%、B約5%、6~9週(2月7日~3月6日)では AH1pdm約35%、AH3約50%、B約15%、後期の10~13週(3月7日~4月3日)では AH1pdm約5%、AH3約50%、B約45%となり、流行初期は AH1pdmが多く、終期になるにつれて、AH3やBに取って変わられる形となりました。今後どのような流行形態となるのか注目したいと思います。

2011 年は手足口病とマイコプラズマ肺炎の大きな流行がありました。この 2 疾患以外でも過去 10 年で最多の報告数があった疾患は、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑、川崎病、細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、梅毒様疾患を挙げることができます。一方、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症は過去 10 年で最も少ない報告数でした。

また、感染症予防検討委員会ではポリオ生ワクチン接種後の麻痺症例の報道後、ワクチン接種率の低下の問題が大きく取り上げられました (2012 年 3 月の厚生労働省速報によると 2011 年秋のワクチン接種率は 75.6%で春シーズンより 7.9 ポイント減)。不活化ポリオワクチンへの移行などできるだけ速やかな対応が求められています。

本事業報告にあたり、定点医療機関の関係者の方々、ご指導いただいた都医師会担当理事の角田徹 先生、副委員長の岡部信彦、沼口俊介両先生を始めとする各委員の先生方、事務局の皆様に感謝申し 上げます。

平成 24 年 7 月

東京都医師会感染症予防検討委員会 委員長 長 岡 常 雄

1 発生動向調査の概略

(1)調査対象疾病

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」および「感染症発生動向調査実施要綱」に指定している全数把握対象疾患および五類定点把握対象疾患のほかに、都単独に不明発しん症と川崎病及び性感染症として膣トリコモナス症と梅毒様疾患を調査対象としている。2011年9月6日より基幹定点医療機関報告対象疾患にインフルエンザによる入院患者が追加され、インフルエンザの重症化サーベイランスが開始となった。また、厚生労働省令で定める2疑似症を疑似症サーベイランス対象としている。(第3章別表1参照)

(2) 定点医療機関

患者定点となる医療機関数は、小児科定点 264、内科定点 155、眼科定点 39、基幹定点 25、性感染症定点 55、疑似症単独定点 26 が設定され、このうち 69 医療機関が病原体定点を兼ねている。なお、小児科定点と内科定点は、インフルエンザ定点および疑似症定点としても機能している。

表 1 東京都感染症発生動向調査事業定点数

(2011年12月31日現在)

定 点 種 別(疾病数)	患者定点	病原体定点
足 点 僅 加(次的数)	定点数	定 点 数
小児科定点 (14)	264	26
内 科 定 点 (1)	155	15
眼 科 定 点 (2)	39	4
基 幹 定 点 (9)	25	20
性感染症定点 (6)	55	4
疑似症単独定点 (2)	26	

(3) 運営方法

小児科定点、内科定点、眼科定点及び基幹定点からの報告は週単位で、性感染症(STI)定点からの報告は月単位でなされる。ただし、基幹定点から報告される一部の疾病については月単位となっている。

週単位で報告される疾病については、毎週月曜日から日曜日までに診断された患者に関して、小児科、内科、眼科の各定点医療機関においては年齢別の患者数を、基幹定点医療機関においては年齢、 検出病原体名を、所定の調査票に記入し、保健所に FAX または郵便で送付する。

月単位で報告される月報告疾患については、性感染症定点医療機関が当該月の年齢別患者数を、基幹定点医療機関が患者の年齢、検体採取部位を、所定の調査票に記入し、保健所に FAX または郵便で送付する。

疑似症サーベイランスについては、報告基準を満たす患者が発生した場合には、症例分類、年齢、性別を、所定の調査票に記入し、直ちに保健所に FAX で送付する(疑似症単独定点は、疑似症サーベイランスシステムへ直接入力する)。なお、発生がない場合であっても、その旨、週単位で報告する。定点医療機関から届いた情報は、保健所が発生動向調査システム及び疑似症サーベイランスシステムに入力する。健康安全研究センター疫学情報室(基幹地方感染症情報センター)は、保健所からの

情報を確認後、国へ送信する。

(4)情報発信

患者情報は、全国の情報及び病原体定点で採取された検体からの病原体検出結果と共に、「感染症週報」として東京都感染症情報センターホームページ(http://idsc.tokyo-eiken.go.jp)で公開され、広く都民に情報還元が図られている。

また、隔月第4木曜日に、感染症予防検討委員会が開催され、直近2か月分の情報について討議し、 その情報は東京都医師会雑誌に「感染症だより」として掲載している。さらに都医ニュースに特定の 感染症を取り上げ「感染症豆知識」を掲載している。

2 本年 (2011年) の概況

(1)一類、二類、三類、四類、五類(全数把握対象)

ア 一類感染症

一類感染症《エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブル グ病、ラッサ熱》の届出はなかった。

イ 二類感染症

二類感染症は総計1件の届出があった(結核を除く)。

急性灰白髄炎は1件届出があった。ワクチン株由来のポリオウイルス3型が検出され、推定感染地は国内であった。

二類感染症のうち《ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)》の届出はなかった。結核の動向については、別途、健康安全部感染症対策課が扱っている。

ウ 三類感染症

三類感染症は総計361件の届出があった。

コレラは3件届出があった。全てO1エルトール小川で、推定感染地は全て国外であった。

細菌性赤痢は 86 件届出があった。フレキシネル菌 10 件、ボイド菌 5 件、ソンネ菌 69 件、型別不明 2 件であった。推定感染地は国内 40 件、国外 45 件、国内又は国外 1 件であった。

腸管出血性大腸菌感染症は 257 件届出があった。O157VT1 が 14 件、O157VT2 が 55 件、O157VT1・VT2 が 105 件、O157VT 不明が 17 件、O26VT1 が 15 件、O26VT2 が 1 件、O26VT1・VT2 が 10 件、O26VT 不明が 1 件、O145VT2 が 6 件、O111VT1 が 5 件、O111VT1・VT2 が 3 件、その他が 25 件であった。症状別では、患者 194 人(うち溶血性尿毒症症候群 HUS 11 人)、無症状病原体保有者 63 人であった。腸チフスは 6 件届出があった。推定感染地は国内 2 件、国外 4 件であった。

パラチフスは9件届出があった。推定感染地は全て国外であった。

工 四類感染症

四類感染症は総計192件の届出があった。

E型肝炎は9件届出があった。推定感染地は国内7件、国外2件であった。

A型肝炎は27件届出があった。推定感染地は国内16件、国外11件であった。

エキノコックス症は2件届出があった。全て多包条虫で、推定感染地は全て国外であった。

オウム病は3件届出があった。推定感染地は全て国内であった。

コクシジオイデス症は2件届出があった。推定感染地は全て国外であった。

つつが虫病は13件届出があった。推定感染地は国内12件、国外1件であった。

デング熱は 27 件届出があった。その中でデング出血熱の届出はなかった。推定感染地は全て国外であった。

日本紅斑熱は1件届出があった。推定感染地は国内であった。

日本脳炎は1件届出があった。推定感染地は国外であった。

マラリアは 27 件届出があった。三日熱マラリア 5 件、四日熱マラリア 1 件、熱帯熱マラリア 20 件、型別不明 1 件であった。推定感染地は全て国外であった。

ライム病は3件届出があった。推定感染地は国内2件、国外1件であった。

レジオネラ症は72件届出があった。肺炎型69件、ポンティアック型3件であった。推定感染地は 国内69件、国外3件であった。

レプトスピラ症は5件届出があった。推定感染地は国内3件、国外2件であった。

四類感染症のうち《ウエストナイル熱、黄熱、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、サル痘、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(H5N1を除く)、ニパウイルス感染症、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、野兎病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、ロッキー山紅斑熱》の届出はなかった。

才 五類感染症

五類感染症は総計1,178件の届出があった。

アメーバ赤痢は 178 件届出があった。腸管アメーバ症 140 件、腸管外アメーバ症 23 件、腸管及び腸管外アメーバ症 15 件であった。推定感染地は国内 152 件、国外 25 件、国内及び国外 1 件であった。

ウイルス性肝炎は 40 件届出があった。B型肝炎 39 件、C型肝炎 1 件であった。推定感染地は国内 38 件、国外 1 件、国内又は国外 1 件であった。

急性脳炎は 19 件届出があった。病原体はインフルエンザウイルス 6 件、ヒトヘルペスウイルス 2 件、ムンプスウイルス 1 件、ロタウイルス 1 件、不明 9 件であった。推定感染地は全て国内であった。

クリプトスポリジウム症は2件届出があった。推定感染地は国内1件、国外1件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病は13件届出があった。孤発性プリオン病・古典型CJD12件、感染性プリオン病・変異型CJD1件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は30件届出があった。血清群はA群17件、B群2件、C群1件、G群10件であった。推定感染地は全て国内であった。死亡は9件報告された。

後天性免疫不全症候群は 409 件届出があった。HIV 感染者 295 件、AIDS 患者 84 件、その他 30 件であった。推定感染地は国内 341 件、国外 17 件、国内及び国外 2 件、不明 49 件で、推定感染経路は性的接触 360 件、静注薬物 1 件、輸血 1 件、その他 2 件、2 経路以上 2 件、不明 43 件であった。

ジアルジア症は13件届出があった。推定感染地は国内6件、国外6件、国内又は国外1件であった。 髄膜炎菌性髄膜炎は2件届出があった。推定感染地は全て国内であった。

梅毒は 248 件届出があった。早期顕症梅毒 I 期 28 件、早期顕症梅毒 II 期 125 件、晩期顕症梅毒 6 件、無症候 89 件であった。推定感染地は国内 242 件、国外 6 件であった。

破傷風は8件届出があった。推定感染地は全て国内であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症は 6 件届出があった。耐性遺伝子型は vanB 1 件、vanC 4 件、不明 1 件であった。

風しんは 32 件届出があった。検査診断例 25 件、臨床診断例 7 件であった。推定感染地は国内 30 件、国外 2 件であった。

麻しんは 178 件届出があった。麻しん(検査診断例)104 件、麻しん(臨床診断例)44 件、修飾麻 しん(検査診断例)30 件であった。推定感染地は国内 166 件、国外 11 件、国内又は国外 1 件であっ た。

五類感染症のうち《先天性風しん症候群、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症》の届出はなかった。

(2) 五類感染症(定点把握対象)

ア 小児科・内科疾患

2010年と比較して減少した疾患は流行性耳下腺炎、百日咳、感染性胃腸炎の3疾患であった。報告数が前年並であった疾患は、RSウイルス感染症、水痘、突発性発しん、ヘルパンギーナの4疾患であった。前年比増加した疾患はインフルエンザ、手足口病、咽頭結膜熱、川崎病、不明発しん症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑の7疾患であった。

[前年比減少疾患]

流行性耳下線炎: 2011 年は 4,488 人、定点当たり 17.23 人の報告があった。定点当たりの当年/前年 比で 0.49 であり、過去 10 年でも 3 番目に少ない報告数であった。

百日咳: 2011年は450人、定点当たり1.73人の報告があった。定点当たりの当年/前年比で0.51であったが前年が過去10年で最も多い報告数であった年であり2011年の報告数も過去10年で3番目に多い報告数であった。

感染性胃腸炎: 2011 年は 95,910 人、定点当たり 367.56 人の報告があった。定点当たりの当年/前年 比は 0.86 であったが過去 10 年では 3 番目に多い報告数であった。

[前年比横這いであった疾患]

RS ウイルス感染症: 2011 年は 3,628 人、定点当たり 13.94 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 0.96 であった。

水痘: 2011 年は 15,679 人、定点当たり 60.11 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 0.94 であるが過去 10 年では 3 番目に多い報告数であった。

突発性発しん: 2011 年は 8,447 人、定点当たり 32.44 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 1.09 であった。

ヘルパンギーナ: 2011 年は 14,431 人、定点当たり 55.78 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 0.98 であったが、前年が過去 10 年で最多の年であり、2011 年はこれに次ぐ 2 番目の報告数であった。

[前年比増加疾患]

インフルエンザ: 2011 年は 99,941 人、定点当たり 240.03 人の報告があった。定点当たりの当年/前

年比は5.46で過去10年で3番目に多い報告数であった。

手足口病: 2011 年は 24,786 人、定点当たり 95.84 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 2.25 で、過去 10 年で最も多い報告数であった。

咽頭結膜熱: 2011 年は 4,936 人、定点当たり 18.95 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 1.42 であった。

川崎病: 2011 年は 217 人、定点当たり 0.83 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 1.38 で、 過去 10 年で最も多い報告数であった。

不明発しん症: 2011 年は 1,506 人、定点当たり 5.78 人の報告があった、定点当たりの当年/前年比は 1.37 で、過去 10 年で 2 番目に多い報告数であった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 2011 年は 25,487 人、定点当たり 97.66 人の報告があった。当年/前年比は 1.29 で、過去 10 年で最も多い報告数であった。

伝染性紅斑: 2011 年は 6,317 人、定点当たり 24.23 人の報告があった。当年/前年比は 1.22 で、過去 10 年で最も多い報告数であった。

イ 眼科疾患

急性出血性結膜炎: 2011 年は31人、定点当たり0.84人の報告があった。前年と比べ半分以下となった。全国と比較すると7月までは同程度だったが、7月以降は全国の報告数が増加した。

流行性角結膜炎: 2011 年は842 人、定点当たり22.73 人の報告があった。過去5年間と同等だった。 全国と比較するとやや少ない傾向にあった。

ウ 基幹定点における週報告疾患

細菌性髄膜炎: 2011 年は 52 人、定点当たり 2.14 人の報告があった。過去 10 年で最多の報告であった。

無菌性髄膜炎: 2011 年は 96 人、定点当たり 3.91 人の報告があった。過去 10 年で最多の報告数であった。

マイコプラズマ肺炎: 2011 年は 1,143 人、定点当たり 46.78 人の報告があった。過去 10 年で最多の報告数であった。

クラミジア肺炎: 2011 年は 18 人、定点当たり 0.74 人の報告があった。過去 10 年では平均的な報告数であった。

インフルエンザ入院: 2011 年は 12 人、定点当たり 0.48 人の報告があった。

エ 基幹定点における月報告疾患

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症(MRSA): 2011 年は 1,136 人、定点当たり 46.67 人の報告があった。過去 10 年で最も少ない報告数であった。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症: 2011 年は 596 人、定点当たり 24.55 人の報告があった。過去 10年、報告数に大きな変化はみられない。

薬剤耐性緑膿菌感染症: 2011 年は 37 人、定点当たり 1.52 人の報告があった。過去数年減少が見られていたが 2011 年は若干増加が見られた。

薬剤耐性アシネトバクター感染症:2011年2月より調査が開始されたが報告例はなかった。

才 性感染症 (STI)

性器クラミジア感染症: 2011 年は 2,426 人、定点当たり 44.37 人の報告があった。定点当たりの報告数は過去 10 年で 3 番目に少ない報告数であった。

性器へルペスウイルス感染症: 2011 年は 1,236 人、定点当たり 22.60 人の報告があった。定点当たりの報告数は過去 10 年で平均的な報告数であった。

尖圭コンジローマ: 2011 年は 837 人、定点当たり 15.31 人の報告があった。定点当たりの報告数は過去 10 年で平均的な報告数であった。

淋菌感染症: 2011 年は 1,212 人、定点当たり 22.15 人の報告があった。定点当たりの報告数は過去 10 年で平均的な報告数であった。

膣トリコモナス症: 2011 年は 136 人、定点当たり 2.49 人の報告があった。定点当たりの報告数は 過去 10 年で一番少ない報告数であった。

梅毒様疾患: 2011 年は 117 人、定点当たり 2.14 人の報告があった。定点当たりの報告数は過去 10 年で一番多い報告数であった。

(3) 疑似症(法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症)

摂氏 38℃以上の発熱及び呼吸器症状(明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。) は 9 人、発熱及び発しん又は水疱は 4 人の報告があった。

表 2 - 1 - (1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(一、二、三、四、五類全数)

分類	疾 病 名	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
	エボラ出血熱	_	_	-	-	_	-	_
	クリミア・コンゴ出血熱	_	_	_	_	_	_	_
	痘そう *1	_	_	_	_	_	_	_
	南米出血熱 *2				_	-	_	_
類	ペスト	-	_	-	-	_	_	-
	マールブルグ病	-	_	_	_	_	_	_
	ラッサ熱	-	-	-	-	-	_	_
	急性灰白髄炎	_	_	-	_	_	_	1
	結核 *2 (2012年4月19日現在の報告数)	_	-	3,305	3,228	3,219	3,045	5,147
	ジフテリア	_	_	-	_	_	_	-
類	重症急性呼吸器症候群 *3	-	_	-	_	_	_	_
	鳥インフルエンザ(H5N1) *4					_	-	-
	コレラ *5	13	8	3	6	3	2	3
	細菌性赤痢 *5	89	67	86	64	48	86	86
三類	腸管出血性大腸菌感染症	238	268	476	409	317	339	257
炽	腸チフス *5	11	19	11	13	11	12	6
	パラチフス *5	4	12	7	7	12	5	9
	E型肝炎 *1	8	4	3	7	6	9	9
	ウエストナイル熱 *6	_	_	-	_	_	_	_
	A型肝炎 *1	24	28	19	31	24	45	27
	エキノコックス症	1	1	3	-	1	1	2
	黄熱	_	_	-	-	_	-	-
	オウム病	3	4	1	-	1	_	3
	オムスク出血熱 *2				-	_	_	-
	回帰熱	_	_	_	_	_	_	_
	キャサヌル森林病 *2				_	_	_	-
	Q熱	3	_	2	1	1	_	-
		-	-	-	-	_	-	-
	コクシジオイデス症	1	1	2	-	1	1	2
	サル痘 *1	-	_	-	_	_	_	_
	腎症候性出血熱	_	_	-	1	-	-	_
	西部ウマ脳炎 *2				_	_	-	_
兀	ダニ媒介脳炎 *2				1	-	1	_
	炭疽	_	_	-	_	_	_	_
類	チクングニア熱 *7							_
	つつが虫病	6	1	15	18	14	14	13
	デング熱	29	18	23	32	32	70	27
	東部ウマ脳炎 *2				_	_	_	_
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く) *8	-	_	-	_	_	_	_
	ニパウイルス感染症 *1	_	_	-	_	_	_	_
	日本紅斑熱	_	-	-	_	_	1	1
	日本脳炎	_	-	-	_	-	-	1
	ハンタウイルス肺症候群	_	_	_	_	_	_	_
	Bウイルス病	-	-	-	_	-	_	-
	鼻疽 *2				_	_	_	_
	ブルセラ症	1	1		_	1	_	_
	ベネズエラウマ脳炎 *2				_	_	_	_
	ヘンドラウイルス感染症 *2				_	_	_	_
	発しんチフス	_	_	_	_	_	_	_
	ボツリヌス症 *9	1	_	_	_	-	_	_

分類	疾 病 名	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
	マラリア	21	16	23	23	26	27	27
	野兎病 *1	-	1	-	1	-	_	_
	ライム病	4	2	3	1	1	1	3
l m	リッサウイルス感染症 *1	_	-	_	1	_	-	-
四類	リフトバレー熱 *2				ı	-	-	_
754	類鼻疽 *2				-	-	1	_
	レジオネラ症	24	62	53	80	53	55	72
	レプトスピラ症 *1	3	4	4	4	_	2	5
	ロッキー山紅斑熱 *2				-	_	_	_
	アメーバ赤痢 *10	183	181	166	189	140	180	178
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)*10	36	34	40	30	35	48	40
	急性脳炎 *1	16	6	20	11	45	14	19
	クリプトスポリジウム症 *10		5	1	4	4	3	2
五.	クロイツフェルト・ヤコブ病 *10	15	22	16	15	19	15	13
類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 *10	7	14	6	19	10	19	30
	後天性免疫不全症候群 *10	417	453	515	545	471	509	409
全	ジアルジア症 *10	13	28	19	20	24	13	13
数	髄膜炎菌性髄膜炎 *10	3	1	3	2	1	_	2
届出	先天性風しん症候群 *10	_	_	_	-	-	_	_
	梅毒 *10	98	132	162	205	196	173	248
	破傷風 *10	2	8	1	5	7	5	8
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 *1	_	-	_	_	_	_	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 *10	13	20	17	15	15	17	6
	風しん *11				46	19	15	32
	麻しん *11				1,174	110	76	178
新型	新型インフルエンザ *12					1,160		

- *1 2003年11月5日より新たに追加指定された。
- *2 2007年4月1日より新たに追加指定された。
- *3 2003年11月5日より新たに追加指定された。2007年4月1日に一類から二類に分類が変更になった。
- *4 2008年5月12日より新たに追加指定された。
- *5 2007年4月1日に二類から三類に分類が変更になった。
- *6 2002年11月1日より四類感染症に追加され、急性脳炎に含まれなくなった。
- *7 2011年2月1日より新たに追加指定された。
- *8 2003年11月5日より「高病原性鳥インフルエンザ」として新たに追加指定、2007年4月1日より「鳥インフルエンザ」に変更。
- *9 2003年11月5日より新たに追加指定された。11/4までは「乳児ボツリヌス症」を含む。
- *10 2003年11月5日より「四類(全数届出)」から「五類(全数届出)」に分類が変更になった。
- *11 2008年1月1日より五類(定点届出)から五類(全数届出)に分類が変更になった。
- *12 2009年4月28日に新型インフルエンザ等感染症に指定された。全数届け出は2009年7月23日まで。

表 2 - 1 - (2) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(全数動物)

疾 病 名	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
エボラ出血熱のサル	-	_	-	-	-	_	-
マールブルグ病のサル	-	-	-	-	-	_	-
ペストのプレーリードッグ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のイタチアナグマ	-	_	-	-	-	_	-
重症急性呼吸器症候群のタヌキ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のハクビシン	-	_	-	-	-	_	-
結核のサル			-	-	-	-	-
鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類		_	-	-	1*	_	-
細菌性赤痢のサル	1	1	-	-	-	_	-
ウエストナイル熱の鳥類	-	-	-	-	-	_	-
エキノコックス症の犬	_	_	-	-	_	_	-

^{* 2009}年の報告は動物実験による感染

表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(インフルエンザ定点・小児科定点)

上段:年間報告数 下段:定点当たり

年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
小児科定点数 *1	142	142	142	142	142	150	150	150	150	264
インフルエンザ定点数 *2	178	178	178	178	178	290	290	290	290	419
インフルエンザ	14,877	27,007	18,958	43,336	23,953	53,927	23,059	142,140	12,614	99,940
	83.58	151.72	106.51	243.46	134.57	191.41	80.47	495.53	43.97	240.03
RSウイルス感染症 *3		68 0.48	432 3.04	848 5.97	818 5.76	1,403 9.57	1,722 11.71	845 5.73	2,153 14.52	3,628 13.94
咽頭結膜熱	600	1,353	2,123	2,468	3,929	2,793	2,927	1,339	1,979	4,936
	4.23	9.53	14.95	17.38	27.67	18.96	19.86	9.07	13.37	18.95
A群溶血性レンサ球菌	3,772	4,261	5,842	7,564	11,213	11,913	13,925	10,058	11,231	25,487
咽頭炎	26.56	30.01	41.14	53.27	78.96	81.32	93.97	68.03	75.80	97.66
感染性胃腸炎	34,659	35,718	39,464	42,578	51,945	46,783	58,681	37,599	63,372	95,910
	244.08	251.54	277.92	299.85	365.81	318.41	395.92	254.50	427.41	367.56
水 痘	7,079	6,439	6,845	7,565	8,345	8,874	8,682	7,079	9,472	15,679
	49.85	45.35	48.20	53.27	58.77	60.77	58.68	47.94	63.93	60.11
手足口病	3,213	6,872	3,585	3,296	2,885	4,382	4,487	3,426	6,257	24,786
	22.63	48.39	25.25	23.21	20.32	29.73	30.60	23.36	42.52	95.84
伝染性紅斑	1,574	1,471	2,771	2,035	3,109	2,879	1,168	1,558	2,929	6,317
	11.08	10.36	19.51	14.33	21.89	19.73	7.90	10.54	19.79	24.23
突発性発しん	3,632	3,777	4,043	4,048	4,119	4,691	4,944	4,463	4,397	8,447
	25.58	26.60	28.47	28.51	29.01	31.95	33.49	30.24	29.74	32.44
百日咳	32	34	47	28	23	151	278	225	506	450
	0.23	0.24	0.33	0.20	0.16	1.02	1.88	1.53	3.42	1.73
風しん *4	71 0.50	143 1.01	234 1.65	40 0.28	21 0.15	35 0.24				
ヘルパンギーナ	5,067	5,064	5,275	6,909	5,900	6,804	6,470	2,574	8,400	14,431
	35.68	35.66	37.15	48.65	41.55	46.10	44.08	17.63	57.06	55.78
麻しん *4	377 2.65	376 2.65	78 0.55	49 0.35	25 0.18	303 2.05				
流行性耳下腺炎	3,678	1,290	3,250	7,321	4,481	1,940	3,662	5,175	5,154	4,488
	25.90	9.08	22.89	51.56	31.56	13.24	24.83	35.05	34.87	17.23
不明発しん症 *5	613	579	540	461	966	665	734	657	622	1,506
	4.32	4.08	3.80	3.25	6.80	4.52	4.98	4.48	4.21	5.78
川崎病 *5	60	66	69	56	101	110	109	71	89	217
	0.42	0.46	0.49	0.39	0.71	0.75	0.73	0.48	0.60	0.83

^{*1 2007}年は、12月末時点の定点数

^{*2 2007}年は、12月末時点の定点数

^{*3 2003}年45週より実施

^{*4 2008}年1月1日から五類全数把握対象疾患に変更

^{*5} 東京都独自疾患

表 2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(眼科定点)

上段:年間報告数 下段:定点当たり

年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
定点数*	14	14	14	14	14	39	39	39	39	39
急性出血性結膜炎	12	18	6	7	8	82	64	53	74	31
	0.86	1.29	0.43	0.50	0.57	2.15	1.66	1.37	1.91	0.84
流行性角結膜炎	925	880	719	567	535	968	865	703	951	842
	66.07	62.86	51.36	40.50	38.21	32.04	22.41	18.28	24.60	22.73

^{* 2007}年は、12月末時点の定点数

表 2 一 4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数 (基幹定点週報告分)

上段:年間報告数 下段:定点当たり

年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
定点数	25	25	25	25	25	25	24	24	25	25
細菌性髄膜炎	24 0.96	18 0.72	25 1.00	17 0.68	15 0.60	28 1.14	24 1.01	24 1.02	18 0.76	52 2.14
無菌性髄膜炎	66 2.64	66 2.64	27 1.08	28 1.12	40 1.60	50 2.03	34 1.42	28 1.17	38 1.61	96 3.91
マイコプラズマ肺炎	163 6.52	173 6.92	184 7.36	164 6.56	218 8.72	247 10.11	298 12.53	305 12.93	416 17.76	1143 46.78
クラミジア肺炎	0.08	3 0.12	0.16	9 0.36	13 0.52	20 0.81	25 1.05	46 1.96	20 0.85	18 0.74
インフルエンザ入院 *1										12 0.48
成人麻しん *2	116 4.64	144 5.76	16 0.64	0.04	3 0.12	262 10.70				

^{*1 2011}年36週より実施

^{*2 2008}年1月1日から五類全数把握対象疾患に変更

表 2 - 5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数 (基幹定点月報告分)

上段:年間報告数 下段:定点当たり

年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
定点数	25	25	25	25	25	25	24	24	25	25
メチシリン耐性黄色	1,759	1,761	1,552	1,539	1,536	1,758	1,606	1,290	1,312	1,136
ブドウ球菌感染症	70.36	70.44	62.08	61.56	61.44	70.53	66.92	54.44	55.36	46.67
ペニシリン耐性	557	617	444	534	579	624	554	552	635	596
肺炎球菌感染症	22.28	24.68	17.76	21.36	23.16	25.08	23.08	23.30	26.77	24.55
薬剤耐性	107	61	39	35	41	48	26	22	26	37
緑膿菌感染症	4.28	2.44	1.56	1.40	1.64	1.93	1.08	0.93	1.10	1.52
薬剤耐性アシネト バクター感染症										0.00

表2-6 東京都感染症発生動向調査年別報告数(STI定点)

上段:年間報告数 下段:定点当たり

年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
定点数 *1	41	41	41	41	41	55	55	55	55	55
性器クラミジア	2,536	2,422	2,476	2,132	2,133	2,485	2,605	2,295	2,376	2,426
感染症	61.85	59.07	60.39	52.00	52.02	48.08	47.51	42.51	44.07	44.37
性器ヘルペス	950	865	982	923	963	989	946	954	1,194	1,236
ウイルス感染症	23.17	21.10	23.95	22.51	23.49	19.40	17.25	17.69	22.15	22.60
尖圭コンジローマ	502	518	627	555	646	801	926	727	842	837
	12.24	12.63	15.29	13.54	15.76	15.39	16.88	13.47	15.62	15.31
淋菌感染症	1,249	1,298	1,171	1,006	868	1,013	1,096	950	1,067	1,212
	30.46	31.66	28.56	24.54	21.17	19.63	19.99	17.61	19.81	22.15
膣トリコモナス症 *2	447	343	298	212	233	233	169	138	150	136
	10.90	8.37	7.27	5.17	5.68	4.69	3.08	2.55	2.78	2.49
梅毒様疾患 *2	41	68	42	43	74	103	82	94	83	117
	1.00	1.66	1.02	1.05	1.80	1.99	1.50	1.74	1.54	2.14

^{*1 2007}年は、12月末時点の定点数

表 2 - 7 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(疑似症定点)

上段:年間報告数

年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
定点数							315	315	315	443
発熱及び呼吸器症状*							11	147	20	9
発熱及び発しん・水疱*							8	6	9	4

^{* 2008}年7月より実施

^{*2} 東京都独自疾患

3 各疾患の動向

(1) 一類、二類、三類、四類、五類感染症 (全数把握対象)

ア 一類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ 熱

イ 二類感染症

① 急性灰白髄炎

急性灰白髄炎は、1件届出があった。

ワクチン株由来のポリオウイルス3型が検出された。

性別は男性、年齢は5歳未満、推定感染地は国内であった。

急性灰白髄炎 (n=1)

受理日	受理週	性別	年齢	病型	症状	推定感染地
5/12	19	男	6 か月	ワクチン株由来 (ポリオウイルス 3 型)	発熱、全身倦怠感、 弛緩性麻痺、 腱反射の減弱・消失	国内

2 結核

結核の発生動向は別途、健康安全部感染症対策課が扱っている。

以下の疾患は届出がなかった。

ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、鳥インフルエンザ (H5N1)

ウ 三類感染症

① コレラ

コレラは3件届出があった。菌型は全てO1エルトール小川であった。

性別は男性 2 人、女性 1 人で、年齢別は 20 歳代 1 人、30 歳代 1 人、40 歳代 1 人であった。推定感染地は全て国外で、フィリピン 1 件、インド 1 件、インドネシア 1 件であった。

コレラ (n=3)

受理日	受理週	性別	年齢	菌型	推定感染地
8/9	32	女	30	01 エルトール小川	フィリピン
10/26	43	男	29	01 エルトール小川	インド
10/27	43	男	40	01 エルトール小川	インドネシア

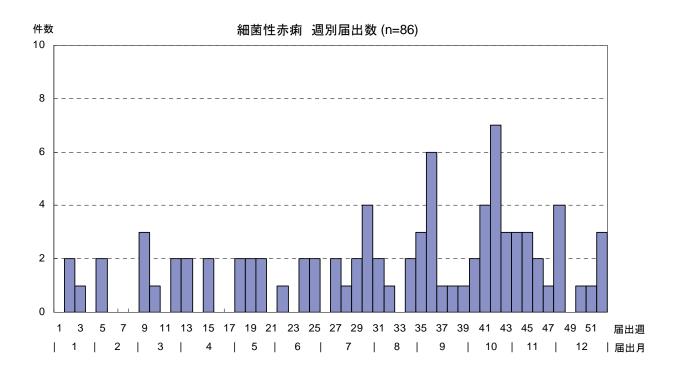
② 細菌性赤痢

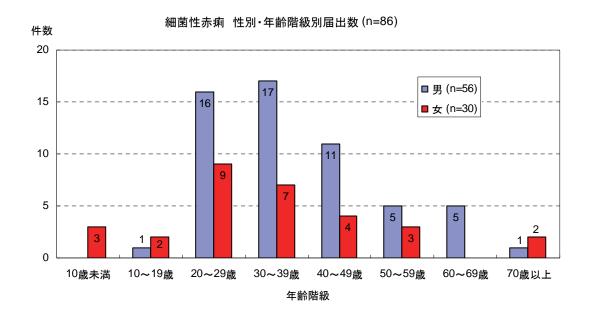
細菌性赤痢は86件届出があった。菌型はフレキシネル菌10件、ボイド菌5件、ソンネ菌69件、型別不明2件であった。

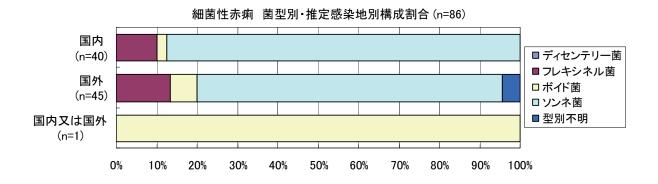
性別は男性 56 人、女性 30 人で、年齢は 10 歳未満 3 人(うち 5 歳未満 2 人)、10 歳代 3 人、20 歳代 25 人、30 歳代 24 人、40 歳代 15 人、50 歳代 8 人、60 歳代 5 人、70 歳以上 3 人であった。

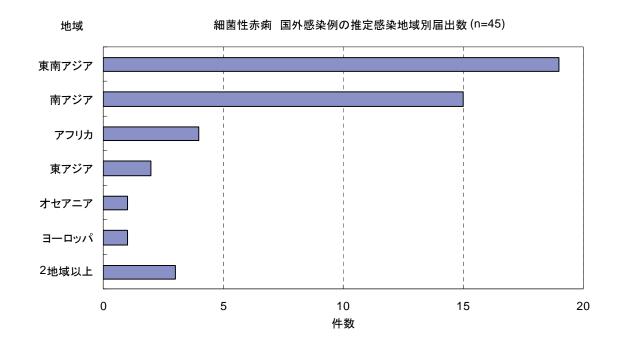
推定感染地は国内 40 件、国外 45 件、国内又は国外 1 件であった。国外感染例 45 件を推定感染地域別にみると、東南アジア 19 件、南アジア 15 件、アフリカ 4 件、東アジア 2 件が多く、推定感染国別にみると、インド 10 件、インドネシア 8 件、フィリピン 6 件、ネパール 3 件、カンボジア 2 件、ベトナム 2 件、バングラデシュ 2 件、中華人民共和国 2 件が多かった。症例の集積は、第 30 週ネパールへの渡航者 2 人(ソンネ)、第 42~43 週カンボジア・ベトナムへの渡航者 2 人(ソンネ)に認められた。

国内感染が疑われる 40 件の年齢は、10 歳未満 1 人、10 歳代 1 人、20 歳代 9 人、30 歳代 11 人、40 歳代 9 人、50 歳代 4 人、60 歳代 2 人、70 歳以上 3 人であった。推定感染経路が性的接触(糞口感染)の症例が、第 25 週に 1 人(ソンネ)、29 週に 1 人(ソンネ)、48 週に 2 人(ソンネ 2 件)、51 週に 1 人(ソンネ)確認された。









細菌性赤痢 国外感染例の推定感染地域別・国別届出数 (n=45)

推定感染地域	件数	推定感染国	件数
東南アジア	19	インドネシア	8
		フィリピン	6
		カンボジア	2
		ベトナム	2
		ベトナム/カンボジア	1
南アジア	15	インド	10
		ネパール	3
		バングラデシュ	2
アフリカ	4	コンゴ共和国	1
		ザンビア	1
		南スーダン	1
		モロッコ	1
東アジア	2	中華人民共和国	2
オセアニア	1	パプアニューギニア	1
ヨーロッパ	1	ウズベキスタン	1
2 地域以上	3	タイ/インド	1
		ベトナム/中華人民共和国	1
		ケニア/タンザニア/アラブ首長国連邦	1
計	45		

細菌性赤痢 国内感染例 (n=40)

受理日	受理週	性別	年齢	菌型	症状	推定感染地	備考
3/23	12	女	54	ソンネ	有	東京都	
3/29	13	男	52	ソンネ	有	東京都	
5/6	18	男	36	ソンネ	有	不明	
5/6	18	男	38	ソンネ	有	東京都	
5/12	19	女	9	フレキシネル	有	東京都	
5/19	20	女	84	ボイド	有	東京都	
6/13	24	男	21	ソンネ	有	東京都	
6/24	25	男	22	ソンネ	有	不明	性的接触
7/4	27	男	64	ソンネ	有	東京都	
7/19	29	男	26	ソンネ	有	東京都	性的接触
7/22	29	男	31	ソンネ	有	不明	
8/3	31	女	52	ソンネ	有	東京都	
8/23	34	男	40	ソンネ	有	不明	
8/29	35	男	33	ソンネ	有	不明	
9/6	36	女	16	フレキシネル	有	東京都	
9/7	36	男	44	ソンネ	有	不明	
9/7	36	男	62	フレキシネル	有	東京都	
9/8	36	男	37	ソンネ	有	不明	
9/8	36	男	46	ソンネ	有	北海道	

9/12	37	男	47	ソンネ	有	不明	
9/20	38	男	31	ソンネ	有	東京都	
9/28	39	女	48	ソンネ	有	不明	
10/5	40	男	53	ソンネ	有	東京都	
10/11	41	男	29	ソンネ	有	千葉県	
10/11	41	男	34	ソンネ	有	東京都	
10/14	41	男	49	ソンネ	有	不明	
10/17	42	女	78	フレキシネル	有	東京都	
10/19	42	男	38	ソンネ	有	東京都	
10/19	42	男	26	ソンネ	有	東京都	
10/31	44	男	27	ソンネ	有	不明	
10/31	44	男	48	ソンネ	有	東京都	
10/31	44	男	30	ソンネ	有	東京都	
11/10	45	男	35	ソンネ	有	埼玉県	
11/11	45	男	36	ソンネ	有	東京都	
11/14	46	男	29	ソンネ	有	不明	
11/28	48	男	29	ソンネ	有	不明	性的接触
11/28	48	男	71	ソンネ	有	不明	
11/30	48	男	42	ソンネ	有	東京都	性的接触
12/16	50	女	20	ソンネ	有	東京都	
12/24	51	男	40	ソンネ	有	不明	性的接触
•							

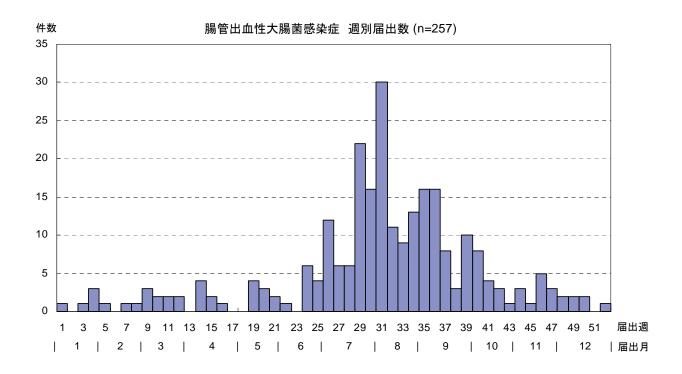
③ 腸管出血性大腸菌感染症

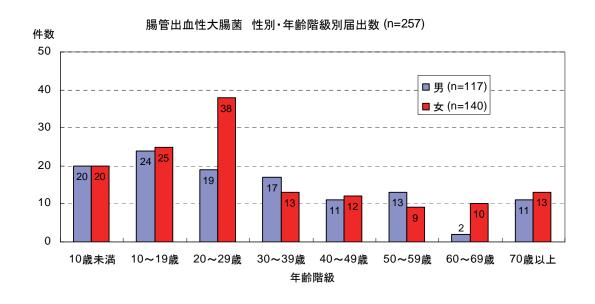
腸管出血性大腸菌感染症は257件届出があった。

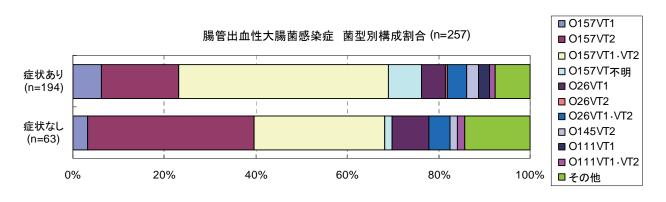
性別は男性 117 人、女性 140 人で、年齢は 10 歳未満 40 人(うち 5 歳未満 19 人)、10 歳代 49 人、20 歳代 57 人、30 歳代 30 人、40 歳代 23 人、50 歳代 22 人、60 歳代 12 人、70 歳以上 24 人であった。 菌型は O157VT1 が 14 件、O157VT2 が 56 件、O157VT1・VT2 が 107 件、O157VT 不明が 15 件、O26VT1 が 15 件、O26VT1・VT2 が 11 件、O145VT2 が 6 件、O111VT1 が 5 件、O111VT1・VT2 が 3 件、その他が 24 件であった。

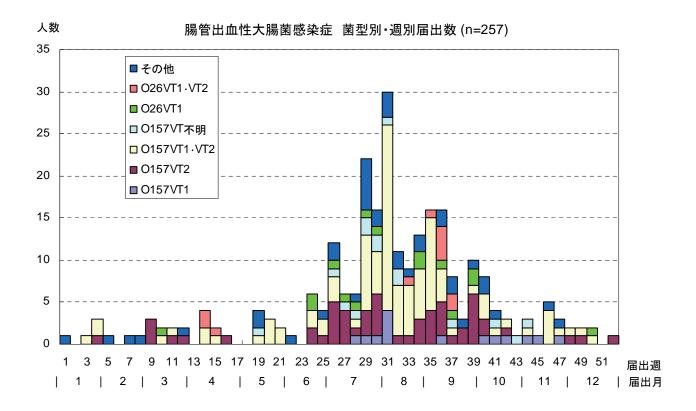
症状別では、患者 194 人、無症状病原体保有者 63 人であった。溶血性尿毒症症候群(HUS)と判明している者は 11 人おり、年齢は 10 歳未満 5 人(うち 5 歳未満 4 人)、10 歳代 3 人、20 歳代 1 人、50 歳代 1 人、80 歳代 1 人で、菌型は O157VT2 が 1 件、O157VT1・VT2 が 3 件、O26VT2 が 1 件、O26VT1・VT2 が 1 件、血清での O 抗原凝集抗体の検出が 4 件、便でのベロ毒素の検出が 1 件であった。推定感染地は国内 244 件、国外 13 件(うち大韓民国 7 件、中華人民共和国 3 件、インドネシア 1 件、タイ 1 件、フランス 1 件)であった。死亡は 1 人(80 歳代の HUS 症例)確認された。

症例の集積は、第 $19\sim20$ 週に山形県での柏餅による食中毒関連が 3 人($O157VT1\cdot VT2$ 、O157VT 不明)認められた。その他、韓国での焼肉などの喫食による症例が 7 人認められた。







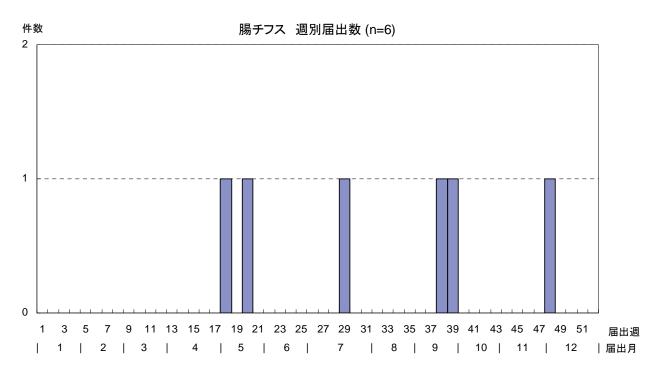


④ 腸チフス

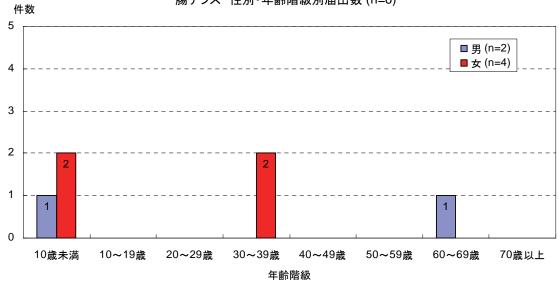
腸チフスは6件届出があった。

性別は男性2人、女性4人で、年齢は10歳未満3人(うち5歳未満1人)、30歳代2人、60歳代1人であった。症状別では、患者5人、無症状病原体保有者1人であった。

推定感染地は国内 2 件、国外 4 件であった。国外感染例 4 件を推定感染地域別にみると、南アジア 4 件で、推定感染国別では、インド 3 件、ネパール 1 件であった。

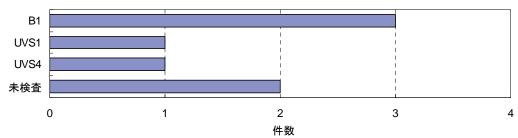




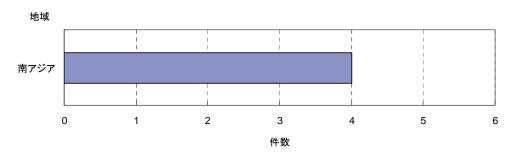


腸チフス ファージ型別届出数 (n=6)





腸チフス 国外感染例の推定感染地域別届出数 (n=4)



腸チフス 国内感染例 (n=2)

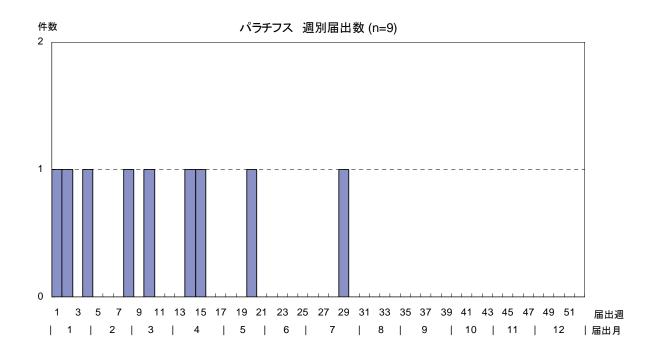
受理日	受理週	性別	年齢	ファージ型	症状	推定感染地	備考
9/24	38	女	5	B1	有	都道府県不明	
9/30	39	女	36	B1	無	都道府県不明	上記症例の家族

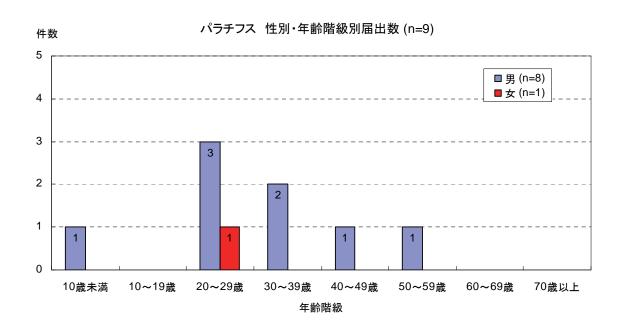
⑤ パラチフス

パラチフスは9件届出があった。

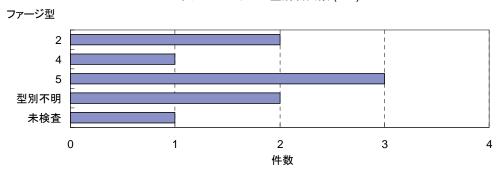
性別は男性 8 人、女性 1 人で、年齢は $5\sim9$ 歳 1 人、20 歳代 4 人、30 歳代 2 人、40 歳代 1 人、50 歳代 1 人であった。

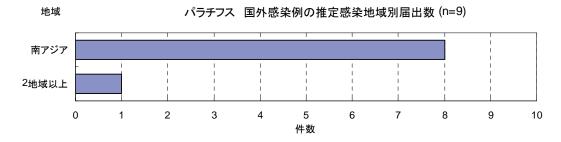
推定感染地は全て国外であった。推定感染地域別では、南アジア 8 件、2 地域以上 1 件で、推定感染国別では、バングラデシュ 5 件、インド 2 件、ネパール 1 件、タイ又はバングラデシュ 1 件であった。





パラチフス ファージ型別届出数 (n=9)





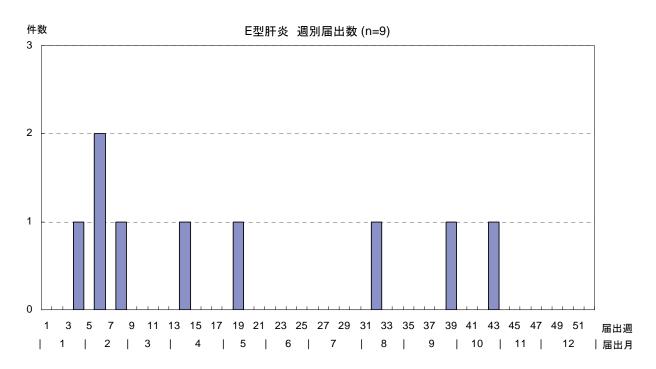
工 四類感染症

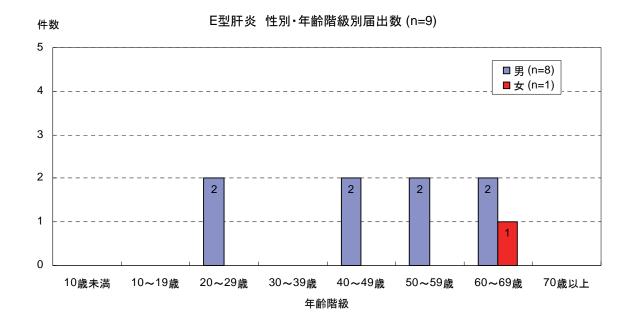
① E型肝炎

E型肝炎は9件届出があった。

性別は男性 8 人、女性 1 人で、年齢は 20 歳代 2 人、40 歳代 2 人、50 歳代 2 人、60 歳代 3 人であった。

推定感染地は国内7件、インド1件、大韓民国又はベトナム1件であった。推定感染経路は4人が 豚肉の喫食を認めた。





E型肝炎 (n=9)

受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染経路
1/25	4	男	61	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、 肝機能異常	国内	飲食物による 経口感染 (豚肉)
2/7	6	男	59	全身倦怠感、黄疸	国内	飲食物による経口 感染(豚肉レバー)
2/10	6	男	57	黄疸、肝機能異常	国内	飲食物による 経口感染(肉類)
2/25	8	男	47	全身倦怠感、食欲不振	国内	飲食物による経口 感染(豚肉レバー)
4/8	14	男	45	発熱、全身倦怠感、食欲不振、 黄疸、肝機能異常	ベトナム 又は大韓民国	飲食物による 経口感染
5/12	19	男	21	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、 肝機能異常	インド	飲食物による経口 感染(生水他)
8/9	32	男	21	発熱、肝機能異常	国内	不明
9/30	39	男	63	全身倦怠感、食欲不振	国内	不明
10/27	43	女	61	全身倦怠感、食欲不振、肝機 能異常、肝腫大	国内	飲食物による経口 感染 (豚肉)

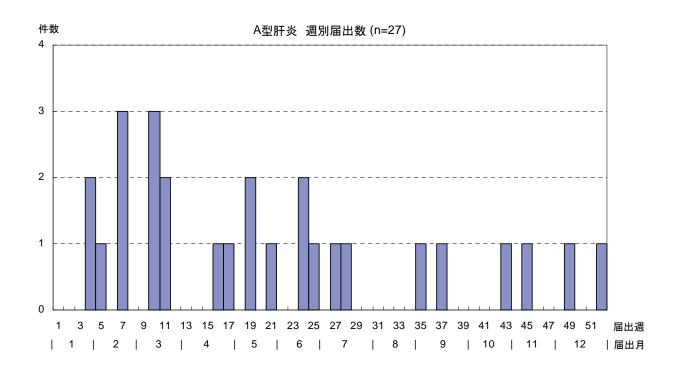
② A型肝炎

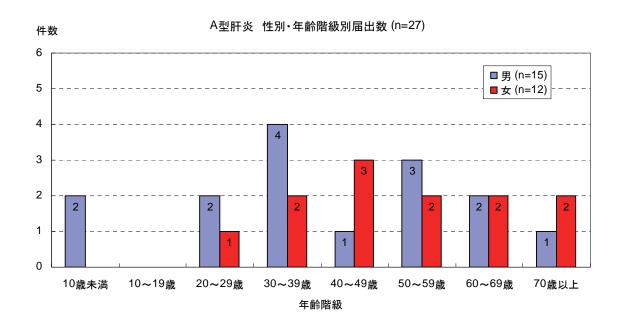
A型肝炎は27件届出があった。

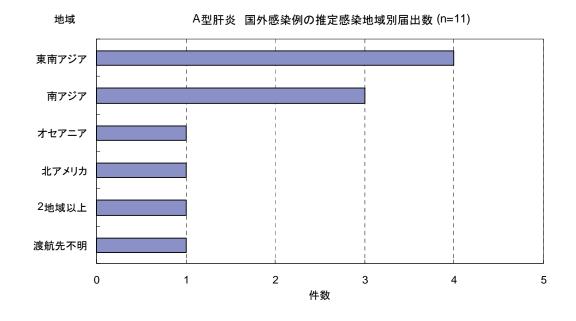
性別は男性 15 人、女性 12 人で、年齢は $5\sim9$ 歳 2 人、20 歳代 3 人、30 歳代 6 人、40 歳代 4 人、50 歳代 5 人、60 歳代 4 人、70 歳以上 3 人であった。

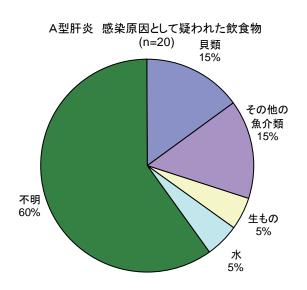
推定感染地は国内 16 件、国外 11 件であった。国外の推定感染地域別では、東南アジア 4 件、南アジア 3 件、オセアニア 1 件、北アメリカ 1 件、2 地域以上 1 件、渡航先不明 1 件で、推定感染国別では、インド 3 件、カンボジア 1 件、タイ 1 件、フィリピン 1 件、ミャンマー又はタイ 1 件、アメリカ 1 件、パプアニューギニア 1 件、台湾又は中華人民共和国又はフィリピン 1 件、渡航先不明 1 件であった。

推定感染経路は、飲食物による経口感染 20 件、その他(不明)7 件であった。飲食物による経口感染 20 件のうち推定原因食材は、貝類が 3 件(15%)、その他の魚介類が 3 件(15%)、生ものが 1 件(5%)、水が 1 件(5%)、不明 12 件(60%) であった。









③ エキノコックス症

エキノコックス症は2件届出があった。

性別は男性 1 人、女性 1 人で、年齢は 10 歳代 1 人、40 歳代 1 人であった。病型はいずれも単包条虫、推定感染地はシリア 1 件、アフガニスタン又はパキスタン 1 件であった。

受理日 受理週 性別 年齢 原因寄生虫種 症状 推定感染地 推定感染経路 アフガニスタン 肝臓の画像 1/19 3 女 単包条虫 不明 13 異常所見 又はパキスタン 肝臓の画像 男 シリア 12/12 50 40 単包条虫 不明 異常所見

エキノコックス症 (n=2)

④ オウム病

オウム病は3件届出があった。

性別は男性1人、女性2人で、年齢は60歳代1人、70歳以上2人であった。推定感染地は全て国内、推定感染経路はペットのインコからの感染が2件であった。

オウム病 (n=3)

受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染経路
3/24	12	女	77	発熱、咳、肺炎、肝機能障害	国内	ペットのインコ
7/6	27	男	77	発熱、咳、肺炎、呼吸困難	国内	ペットのインコ
8/1	31	女	61	発熱、頭痛、肺炎	国内	カラスの糞

⑤ コクシジオイデス症

コクシジオイデス症は2件届出があった。

性別は男性1人、女性1人で、年齢は30歳代2人であった。推定感染地はいずれも米国、推定感染地は塵埃感染1件、不明1件であった。

コクシジオイデス症 (n=2)

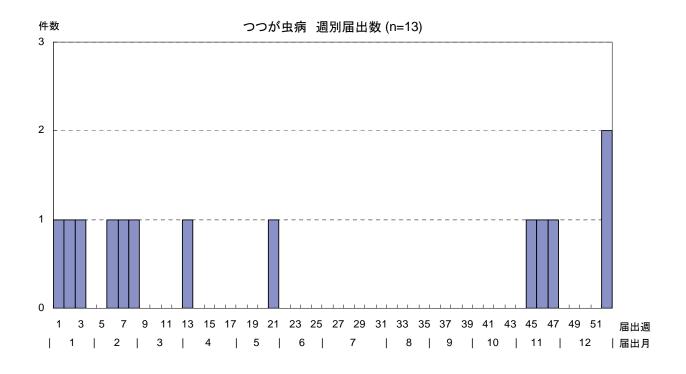
受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染経路
1/7	1	男	37	発熱、咳	米国(アリゾナ州)	塵埃感染
2/8	6	女	35	なし	米国(ニューメキシコ州)	不明

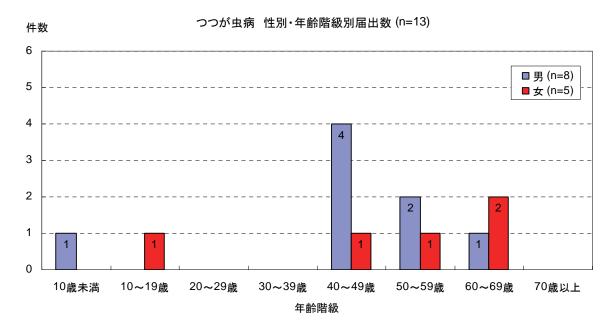
⑥ つつが虫病

つつが虫病は13件届出があった。

性別は男性 8 人、女性 5 人で、年齢は $5\sim9$ 歳 1 人、10 歳代 1 人、40 歳代 5 人、50 歳代 3 人、60 歳代 3 人であった。

推定感染地は東京都(島しょ地区)5件、千葉県2件、静岡県2件、群馬県1件、国内(不明)2件、マレーシア1件であった。





つつが虫病 (n=13)

受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	職業
1/4	1	女	17	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、 発疹、食思不振、軽度頭痛	島しょ地区	学生
1/11	2	女	52	頭痛、発熱、刺し口、発疹	島しょ地区	主婦
1/21	3	女	66	頭痛、発熱、刺し口、発疹、上気道 炎症状、肝機能障害	島しょ地区	無職
2/8	6	男	44	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹	千葉県	不明
2/14	7	女	43	刺し口、リンパ節腫脹	千葉県	不明
2/22	8	男	9	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹	島しょ地区	小学生

3/30	13	男	54	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、 発疹	マレーシア	無職
5/25	21	男	58	発熱、刺し口、結膜充血、肝機能障 害	国内 (不明)	土木作業員
11/10	45	男	41	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、 発疹	静岡県	自衛官
11/17	46	女	68	頭痛、発熱、刺し口、発疹	島しょ地区	無職
11/25	47	男	43	発熱、刺し口、発疹	静岡県	自衛官
12/28	52	男	41	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、 発疹	国内 (不明)	会社員
12/28	52	男	64	頭痛、発熱、刺し口、発疹	群馬県	無職

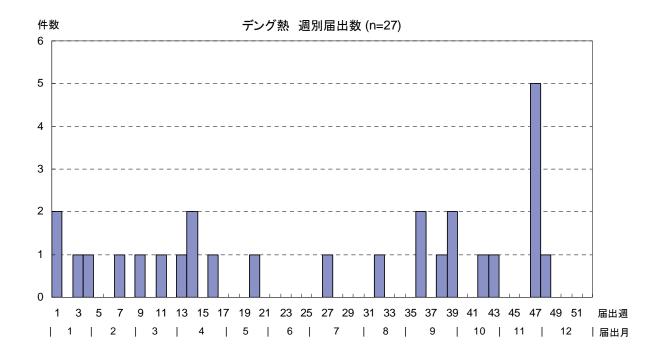
⑦ デング熱

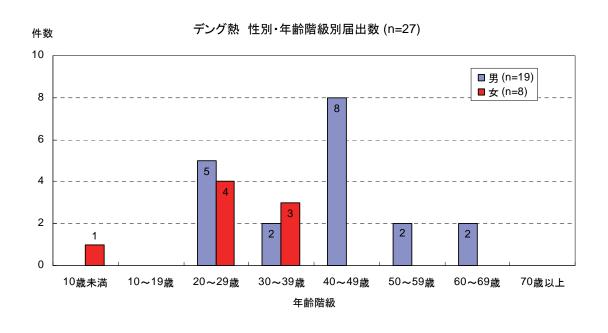
デング熱は27件届出があった。その中でデング出血熱の届出はなかった。

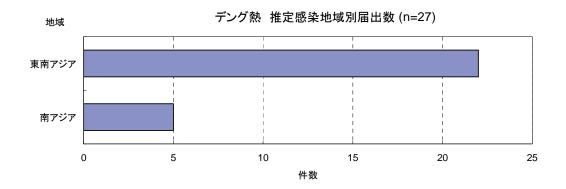
性別は男性 19 人、女性 8 人で、年齢は 5 歳未満 1 人、20 歳代 9 人、30 歳代 5 人、40 歳代 8 人、50 歳代 2 人、60 歳代 2 人であった。

推定感染地は全て国外で、推定感染地域別では、東南アジア 22 件、南アジア 5 件であった。推定感染国別では、インドネシア 7 件、フィリピン 6 件、マレーシア 3 件、タイ 3 件、ベトナム 2 件、インド 2 件、バングラデシュ 1 件、パキスタン 1 件、シンガポール又はタイ 1 件、インド又はネパール 1 件であった。

血清型は9件で報告されており、1型5件、2型3件、3型1件であった。







⑧ 日本紅斑熱

日本紅斑熱は1件届出があった。

症例は30歳代女性で、推定感染地は大阪府であった。

日本紅斑熱 (n=1)

受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	備考
5/24	21	女	34	発熱、発疹、DIC、肝機能異常	大阪府	軽快退院

9 日本脳炎

日本脳炎は1件届出があった。

症例は70歳代男性で、推定感染地はインドであった。

日本脳炎 (n=1)

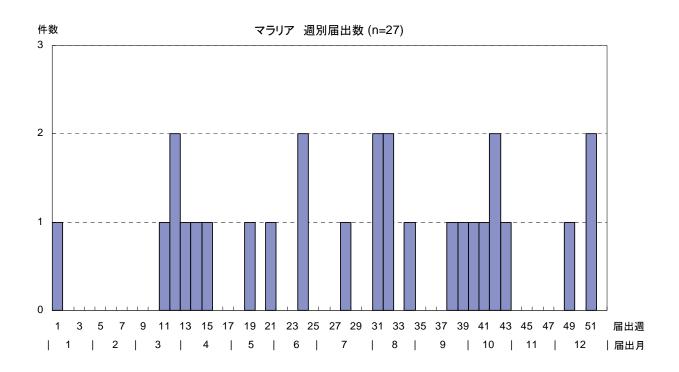
受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	備考
2/21	8	男	78	発熱、頭痛、意識障害	インド	インド旅行で感染

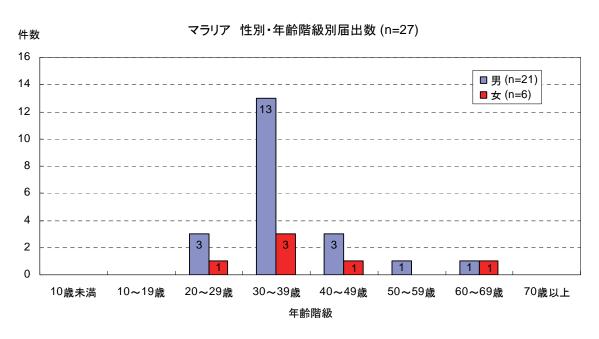
① マラリア

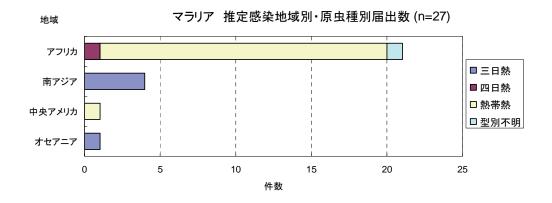
マラリアは 27 件届出があった。三日熱マラリア 5 件、四日熱マラリア 1 件、熱帯熱マラリア 20 件、型別不明 1 件であった。

性別は男性 21 人、女性 6 人で、年齢は 20 歳代 4 人、30 歳代 16 人、40 歳代 4 人、50 歳代 1 人、60 歳代 2 人であった。

推定感染地は全て国外で、推定感染地域別では、アフリカ 21 件、南アジア 4 件、中央アメリカ 1 件、オセアニア 1 件であった。推定感染国別では、ブルキナファソ 7 件、インド 4 件、ナイジェリア 3 件、ガーナ 2 件、ギニア 2 件、スーダン 2 件、ウガンダ 1 件、トーゴ 1 件、モザンビーク 1 件、リベリア 1 件、ウガンダ又はスーダン 1 件、ハイチ 1 件、パプアニューギニア 1 件であった。







① ライム病

ライム病は3件届出があった。

性別は男性 2 人、女性 1 人で、年齢は 5 歳未満 1 人、40 歳代 1 人、50 歳代 1 人であった。推定感染地は国内 2 件、シリア又はヨルダン 1 件であった。

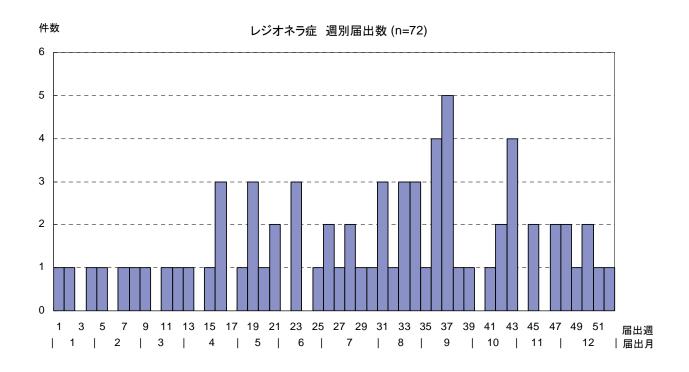
受理日 受理週 性別 年齢 症状 推定感染地 職業 男 シリア又はヨルダン 海外旅行添乗員 遊走性紅斑 3/30 13 48 4/15 国内 (不明) 農業教師 15 男 53 筋肉痛、神経症状 8/1 31 なし 北海道 無職 女 3

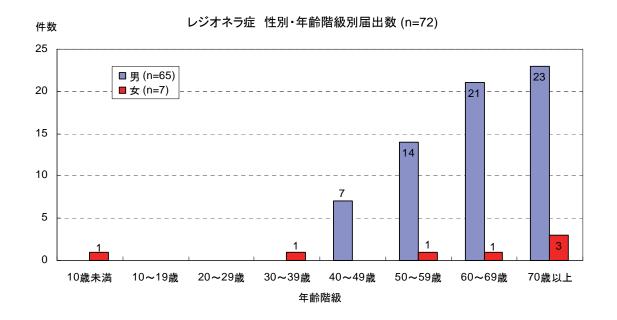
ライム病 (n=3)

⑫ レジオネラ症

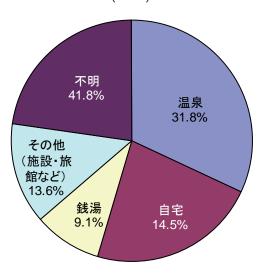
レジオネラ症は 72 件届出があった。病型は肺炎型 69 件、ポンティアック型 3 件であった。 性別は男性 65 人、女性 7 人で、年齢は 5 歳未満 1 人、30 歳代 1 人、40 歳代 7 人、50 歳代 15 人、 60 歳代 22 人、70 歳以上 26 人であった。

推定感染地は国内 69 件、台湾 1 件、フィリピン 1 件、メキシコ 1 件であった。推定感染経路は、水系感染 22 件、塵埃感染 7 件、その他(不明)43 件であった。水系感染のうち温泉入浴施設での感染が推定されているものは 7 件(31.8%)だった。





レジオネラ症 水系感染の内訳 (n=22)



③ レプトスピラ症

レプトスピラ症は5件届出があった。

性別は男性 4 人、女性 1 人で、年齢は 20 歳代 2 人、30 歳代 1 人、40 歳代 1 人、70 歳代以上 1 人であった。

推定感染地は国内3件、ラオス1件、タイ・ミャンマー国境1件であった。推定感染原因は、国内 感染事例はネズミ、国外感染事例は河川が疑われている。

レプトスピラ症 (n=5)

1/26 4 女 70 発熱、筋肉痛、結膜充血、黄疸、出血 症状、蛋白尿、腎不全 東京都 ネズミ 3/22 12 男 38 発熱、筋肉痛、結膜充血、黄疸、蛋白 尿、腎不全 神奈川県 ネズミ 4/26 17 男 28 発熱、筋肉痛、結膜充血、黄疸、出血症状、蛋白尿、腎不全、血小板減少 東京都 ネズミ 10/20 42 男 43 発熱、結膜充血 タイ・ミャンマー国境 河川 11/8 45 男 22 発熱、結膜充血 ラオス 河川	受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染原因
3/22 12 男 38 尿、腎不全 神奈川県 ネスミ 4/26 17 男 28 発熱、筋肉痛、結膜充血、黄疸、出血症状、蛋白尿、腎不全、血小板減少 東京都 ネズミ 10/20 42 男 43 発熱、結膜充血 タイ・ミャンマー国境 河川	1/26	4	女	70		東京都	ネズミ
4/26 17 男 28 症状、蛋白尿、腎不全、血小板減少 果京都 ネスミ 10/20 42 男 43 発熱、結膜充血 タイ・ミャンマー 国境 河川	3/22	12	男	38		神奈川県	ネズミ
10/20 42 男 43 発熱、結膜充血 国境 河川	4/26	17	男	28		東京都	ネズミ
11/8 45 男 22 発熱 結膜充血 ラオス 河川	10/20	42	男	43	発熱、結膜充血		河川
11/0 13 33 22 36 MM //H/DZ-1111	11/8	45	男	22	発熱、結膜充血	ラオス	河川

⑭ その他の四類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

ウエストナイル熱、黄熱、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、サル痘、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(H5N1を除く)、ニパウイルス感染症、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、野兎病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、ロッキー山紅斑熱

才 五類感染症 (全数把握対象)

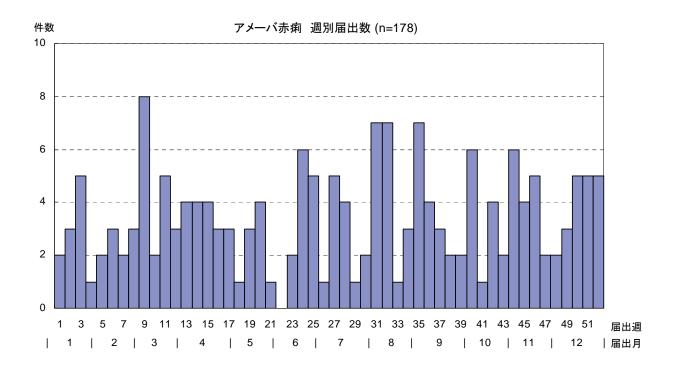
① アメーバ赤痢

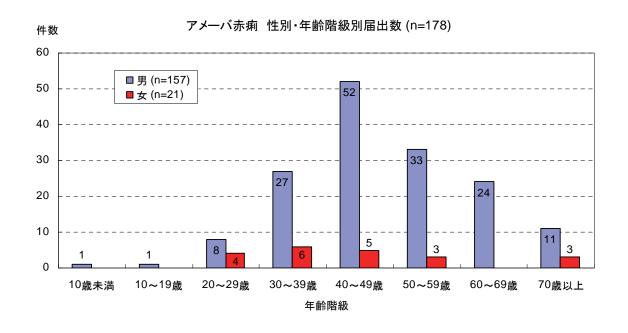
アメーバ赤痢は 178 件届出があった。腸管アメーバ症 140 件、腸管外アメーバ症 23 件、腸管及び腸管外アメーバ症 15 件であった。

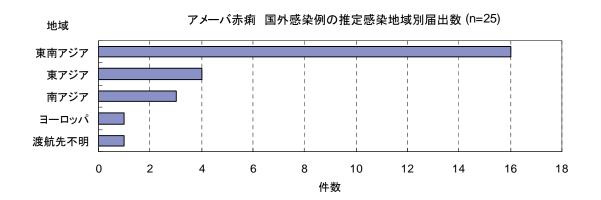
性別は男性 157 人、女性 21 人で、年齢は 5 歳未満 1 人、10 歳代 1 人、20 歳代 12 人、30 歳代 33 人、40 歳代 57 人、50 歳代 36 人、60 歳代 24 人、70 歳以上 14 人であった。

推定感染地は国内 152 件、国外 25 件、国内又は国外 1 件であった。国外感染例 25 件を推定感染地域別にみると、東南アジア 16 件、東アジア 4 件、南アジア 3 件、ヨーロッパ 1 件、渡航先不明 1 件で、推定感染国別にみると、タイ 5 件、フィリピン 5 件、インドネシア 4 件、インド 3 件、台湾 2 件、中華人民共和国 2 件、タイ又はカンボジア 1 件、マレーシア又はシンガポール 1 件、モナコ又はイタリア 1 件、渡航先不明 1 件であった。

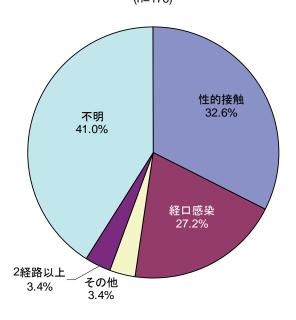
推定感染経路は、性的接触 58 件(同性間 14 件、異性間 30 件、両性間 2 件、性別不明 12 件)、飲食物による経口感染 35 件、その他 6 件、2 経路以上 6 件、不明 73 件であった。







アメーバ赤痢 推定感染経路別割合 (n=178)

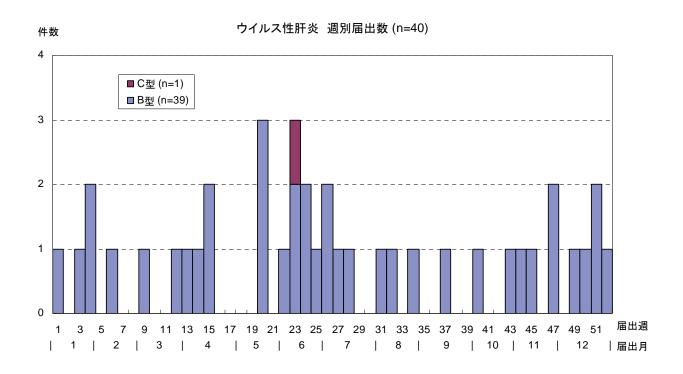


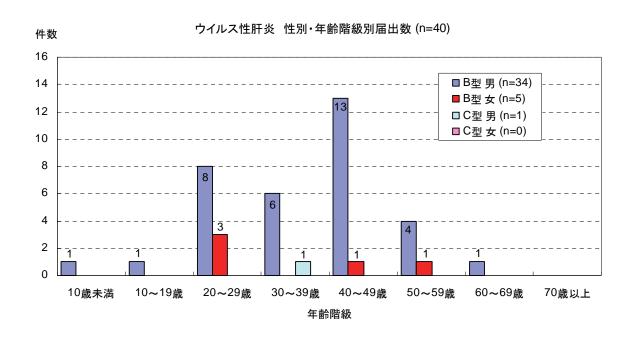
② ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)

ウイルス肝炎は 40 件届出があった。B型肝炎 39 件、C型肝炎 1 件であった。

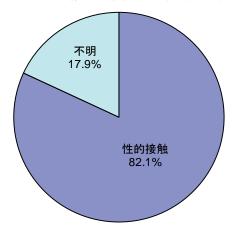
B型肝炎 39 件について記述すると、性別は男性 34 件、女性 5 件で、年齢は $5\sim9$ 歳 1 人、10 歳代 1 人、20 歳代 11 人、30 歳代 6 人、40 歳代 14 人、50 歳代 5 人、60 歳代 1 人であった。推定感染経路は、性的接触 32 件(同性間 6 件、異性間 21 件、両性間 1 件、性別不明 4 件)、不明 7 件で、推定感染地は、国内 37 件、9 7 1 件、国内又は国外(渡航先不明)1 件であった。

C型肝炎の症例は、男性で、年齢は30歳代であった。推定感染経路は性的接触(同性間)で、推定感染地は国内であった。





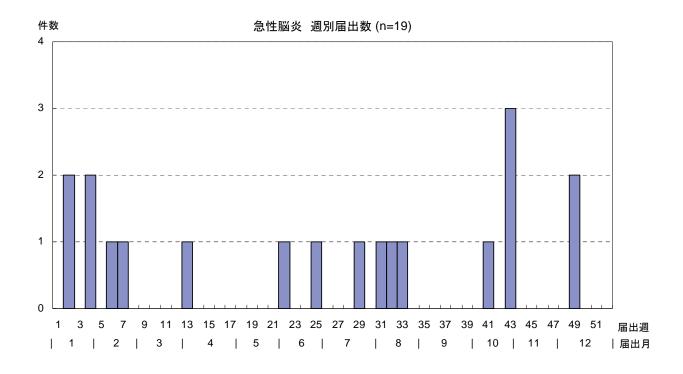
B型肝炎 推定感染経路別割合 (n=39)

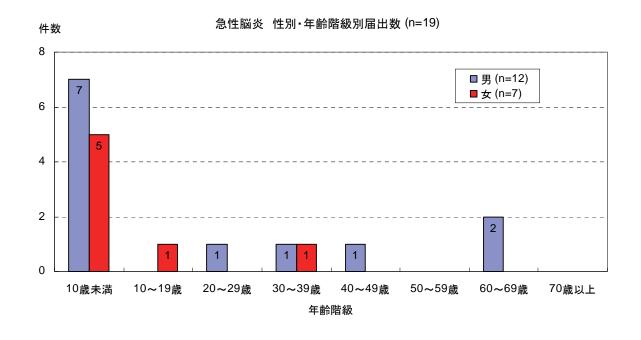


③ 急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)

急性脳炎は 19 件届出があった。病原体はインフルエンザウイルス 6 件、ヒトヘルペスウイルス 2 件、ムンプスウイルス 1 件、ロタウイルス 1 件、不明 9 件であった。

性別は男性 12 人、女性 7 人で、年齢は 10 歳未満 12 人 (うち 5 歳未満 7 人)、10 歳代 1 人、20 歳代 1 人、30 歳代 2 人、40 歳代 1 人、60 歳代 2 人であった。推定感染地は全て国内であった。





急性脳炎 (n=19)

受理日	受理週	性別	年齢	病原体	症状•所見	推定 感染地
1/13	2	男	27	インフルエンザウイルス A/H1N1pdm2009	発熱、痙攣、意識障害、失計算	国内
1/14	2	女	36	インフルエンザウイルス A/H1N1pdm2009	発熱、頭痛、痙攣、意識障害	国内
1/27	4	男	7	インフルエンザウイルス A/H1N1pdm2009	発熱、意識障害	国内
1/26	4	男	46	インフルエンザウイルス A 型	発熱、意識障害	国内
2/10	6	女	10	インフルエンザウイルス	発熱、頭痛、意識障害	国内
2/16	7	男	36	インフルエンザウイルス A/H1N1pdm2009	発熱、意識障害	国内
3/28	13	男	7	ロタウイルス	発熱、頭痛、意識障害、その他(脳 圧亢進)	国内
5/31	22	女	0	ヒトヘルペスウイルス (単純ヘルペスウイルス)	発熱、痙攣、意識障害、髄液細胞 数の増加、軟便	国内
6/24	25	女	3	不明	発熱、痙攣、意識障害、眼球出血、 下痢	国内
7/20	29	男	61	不明	発熱、嘔吐、項部硬直、意識障害、 髄液細胞数の増加、発疹	国内
8/4	31	男	5	不明	発熱、頭痛、嘔吐、項部硬直、意 識障害、髄液細胞数の増加	国内
8/11	32	男	67	ヒトヘルペスウイルス	発熱、項部硬直、意識障害、髄液 細胞数の増加	国内
8/19	33	男	5	ムンプスウイルス	発熱、痙攣、意識障害	国内
10/13	41	女	1	不明	発熱、痙攣、意識障害	国内

10/27	43	女	1	不明	発熱、痙攣、意識障害	国内
10/27	43	男	4	不明	発熱、頭痛、嘔吐、項部硬直、意 識障害、髄液細胞数の増加、易刺 激性	国内
10/27	43	女	0	不明	痙攣、意識障害、けいれん群発、 脳波徐波化	国内
12/6	49	男	9	不明	発熱、頭痛、項部硬直、意識障害、 咽頭炎	国内
12/9	49	男	1	不明	意識障害、髄液細胞数の増加、歩 行障害	国内

4 クリプトスポリジウム症

クリプトスポリジウム症は2件届出があった。

いずれも性別は男性で、年齢は20歳代1人、30歳代1人であった。

推定感染地は、国内1件、インド1件で、推定感染経路は、経口感染1件、接触感染又は性的接触 (同性間)1件であった。

受理日 受理週 性別 年齡 症状 推定感染地 推定感染経路 2/16 男 インド 7 23 下痢 経口感染 3/29 男 国内 接触感染又は性的接触(同性間) 13 下痢 36

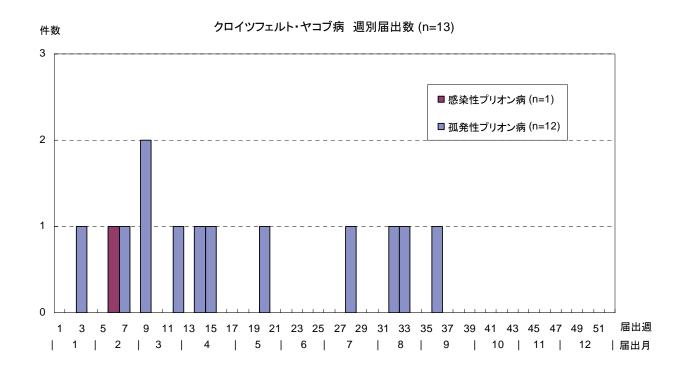
クリプトスポリジウム症 (n=2)

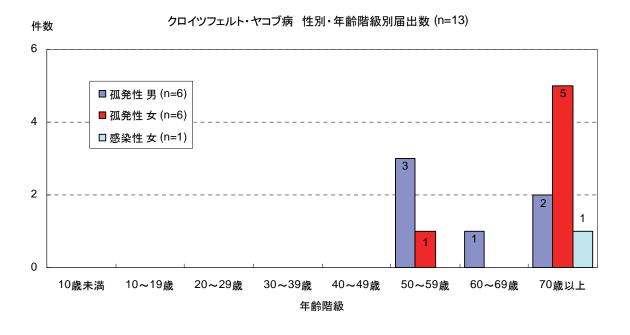
⑤ クロイツフェルト・ヤコブ病

クロイツフェルト・ヤコブ病は 13 件届出があった。孤発性プリオン病・古典型 CJD 12 件(ほぼ確実 9 件、疑い 3 件)、感染性プリオン病・変異型 CJD (ほぼ確実) 1 件であった。

性別は男性が6人、女性が7人で、年齢は50歳代4人、60歳代1人、70歳以上8人であった。

症状は進行性認知症 13 件 (100%)、ミオクローヌス 10 件 (77%)、錐体路症状 6 件 (46%)、錐体外路症状 8 件 (62%)、小脳症状 4 件 (31%)、視覚異常 4 件 (31%)、無動性無言状態 7 件 (54%)、記憶障害 9 件 (69%)、精神・知能障害 9 件 (69%)、臨床的に頑固な不眠 2 件 (15%)、異常感覚 2 件 (15%)、 痙性対麻痺 1 件 (0.8%)、筋強剛 7 件 (54%)、その他 3 件 (2.3%)であった。





クロイツフェルト・ヤコブ病 (n=13)

#	受理日	受理週	性別	年齢	病型	確実度	推定感染地	推定感染経路
1	1/18	3	女	78	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
2	2/9	6	女	77	感染性-変異型 CJD	ほぼ確実	国内	手術等観血的処置
3	2/14	7	男	58	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
4	2/28	9	女	74	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
5	3/2	9	男	50	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		

6	3/22	12	女	74	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実	
7	4/4	14	女	71	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実	
8	4/13	15	男	67	孤発性-古典型 CJD	疑い	
9	5/16	20	男	73	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実	
10	7/14	28	男	73	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実	
11	8/11	32	男	58	孤発性-古典型 CJD	疑い	
12	8/15	33	女	73	孤発性-古典型 CJD	疑い	
13	9/8	36	女	57	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実	

クロイツフェルト・ヤコブ病 (n=13) 別表

					症状									診	断方	法				
#	発病日	初診日	診断日	進行性認知症	ミオクローヌス	錐体路症状	錐体外路症状	小脳症状	視覚異常	無動性無言状態	記憶障害	精神•知能障害	臨床的に頑固な不眠	異常感覚	痙性対麻痺	筋強剛	その他	脳波 PSD	脳 MRI	14-3-3 蛋白
1	20101203	20101215	20110112	+	+		+			+	+					+		+	+	
2	20100801	20110118	20110204	+	+	+	+	+			+	+		+		+	+	+	+	
3	20101222	20110203	20110213	+	+		+	+	+	+	+	+	+			+		+	+	
4	20101000	20100106	20110225	+	+	+	+			+	+	+			+	+		+	+	
5	20110120	20110223	20110225	+	+				+									+	+	
6	20110111	20110128	20110131	+		+	+			+							+	+	+	
7	20110200	20110329	20110329	+	+	+	+				+	+				+		+	+	+
8	20110411	20110318	20110411	+		+				+	+	+					+	+	+	
9	20110424	20110506	20110510	+	+					+	+	+						+	+	
10		20110628	20110710	+	+			+			+	+				+		+	+	
11		20110809	20110809	+	+		+		+										+	
12	20110300	20110610	20110808	+		+				+		+							+	+
13	20110700	20110830	20110908	+	+		+	+	+		+	+	+	+		+		+	+	+
計				13	10	6	8	4	4	7	9	9	2	2	1	7	3	11	13	3

⑥ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

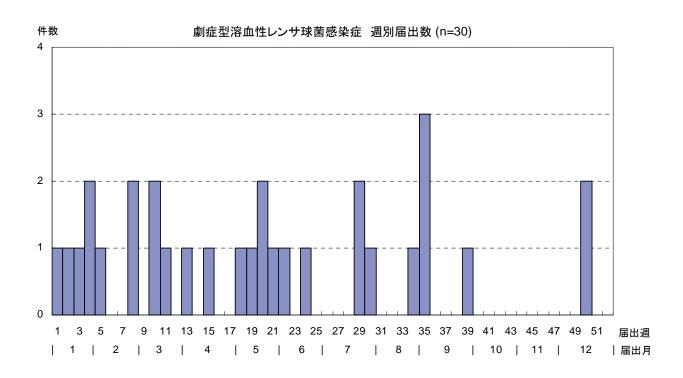
劇症型溶血性レンサ球菌感染症は 30 件届出があった。血清群は、A 群 17 件、B 群 2 件、C 群 1 件、G 群 10 件であった。

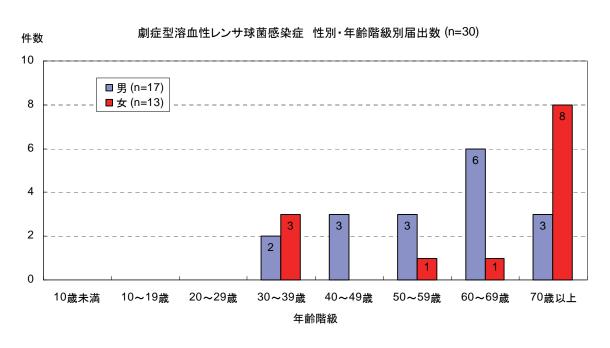
性別は男性 17 人、女性 13 人で、年齢は 30 歳代 5 人、40 歳代 3 人、50 歳代 4 人、60 歳代 7 人、70 歳以上 11 人であった。

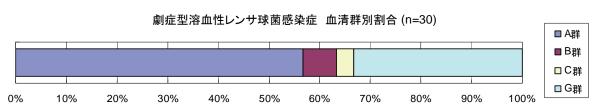
推定感染地は全て国内で、推定感染原因は、創傷感染 13 件、飛沫・飛沫核感染 2 件、その他 3 件、

不明 12 件であった。

死亡は9件(30歳代2人、50歳代1人、60歳代2件、70歳以上4件)報告された。







劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (n=30)

				劇症型溶	ニ血性レンサ球菌感染症 (n=30)		
受理日	受理週	性別	年齢	血清群	症状	推定感染原因	備考
1/4	1	男	53	A群	ショック、肝不全、腎不全、DIC、 軟部組織炎	不明	死亡
1/11	2	男	64	G群	ショック、DIC、軟部組織炎	創傷感染(右肘を中心 とした壊死性筋膜炎)	
1/19	3	男	66	A 群	ショック、腎不全、DIC、全身 性紅斑性発疹、中枢神経症状	不明	死亡
1/26	4	男	57	A 群	ショック、DIC、軟部組織炎	不明	
1/26	4	男	37	B群	ショック、DIC、軟部組織炎	創傷感染(左下肢)	
2/1	5	男	69	A群	ショック、腎不全、DIC、軟部 組織炎	創傷感染(左上肢)	死亡
2/22	8	女	81	G群	ショック、肝不全、DIC、軟部 組織炎、中枢神経症状	不明	死亡
2/23	8	女	70	A群	ショック、腎不全、DIC、軟部 組織炎	創傷感染 (右上腹部から側胸部)	
3/7	10	女	83	G群	ショック、DIC、中枢神経症状	不明	
3/9	10	女	30	A群	ショック、DIC、軟部組織炎、 全身性紅斑性発疹	その他(産褥期付属器 感染疑い)	
3/16	11	女	33	A群	ショック、肝不全、腎不全、急 性呼吸窮迫症候群、DIC	飛沫・飛沫核感染	死亡
3/31	13	女	59	G群	ショック、軟部組織炎、中枢神 経症状	不明	
4/14	15	男	34	A群	ショック、急性呼吸窮迫症候 群、DIC、軟部組織炎	創傷感染 (右母指球切創)	
5/6	18	男	68	G群	ショック、腎不全、急性呼吸窮 迫症候群、DIC	創傷感染 (左下腿蜂窩織炎)	
5/11	19	女	38	G群	ショック、肝不全、腎不全、DIC、 軟部組織炎、中枢神経症状	不明	死亡
5/19	20	男	67	A 群	ショック、肝不全、DIC	不明	
5/20	20	男	51	A群	ショック、DIC、軟部組織炎	その他(陰のう皮下、右 ソケイ部皮下の軟部 組織感染)	
5/24	21	女	78	B群	ショック、腎不全、軟部組織炎	不明	
6/2	22	男	62	A群	ショック、腎不全、急性呼吸窮 迫症候群、DIC、軟部組織炎	創傷感染(内視鏡によ る生検後創部)	
6/15	24	男	43	A群	ショック、肝不全、腎不全、DIC、 軟部組織炎	創傷感染(左足背)	
7/22	29	女	78	G群	ショック、急性呼吸窮迫症候 群、DIC、軟部組織炎	創傷感染(左下腿)	
7/22	29	女	85	A群	ショック、腎不全、DIC、軟部 組織炎	不明	
7/26	30	女	75	A 群	ショック、DIC、壊死性筋膜炎	飛沫・飛沫核感染	
8/25	34	女	60	A 群	ショック、腎不全、DIC、軟部 組織炎	創傷感染 (壊死性筋膜炎)	
8/29	35	男	79	G群	ショック、腎不全、軟部組織炎、 全身性紅斑性発疹	創傷感染(左下肢)	死亡
8/30	35	男	47	G 群	ショック、腎不全、急性呼吸窮 迫症候群、軟部組織炎	不明	
8/31	35	女	95	C群	ショック、腎不全、軟部組織炎、 全身性紅斑性発疹	創傷感染	死亡
					全身性紅斑性免疹		

9/27	39	男	71	G群	ショック、DIC、軟部組織炎、 中枢神経症状	創傷感染 (左下肢軟部組織炎)	死亡
12/12	50	男	43	A群	ショック、腎不全、軟部組織炎、 全身性紅斑性発疹	不明	
12/13	50	男	86	A群	ショック、腎不全、DIC	その他(免疫不全)	

⑦ 後天性免疫不全症候群

後天性免疫不全症候群は 409 件届出があった。HIV 感染者 295 件、その他 30 件、AIDS 患者 84 件であった。

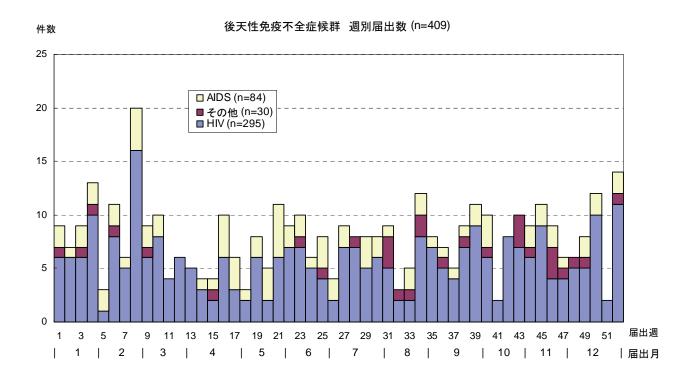
HIV・その他について記述すると、性別は男性 310 人、女性 15 人で、年齢は 10 歳代 6 人、20 歳代 96 人、30 歳代 116 人、40 歳代 63 人、50 歳代 34 人、60 歳代 8 人、70 歳以上 2 人であった。

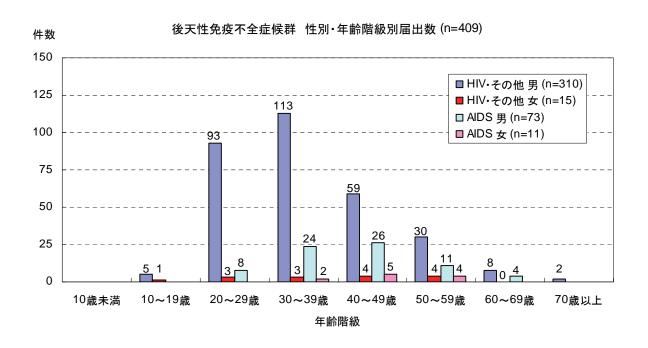
AIDS について記述すると、性別は男性 73 人、女性 11 人で、年齢は 20 歳代 8 人、30 歳代 26 人、40 歳代 31 人、50 歳代 15 人、60 歳以上 4 人であった。

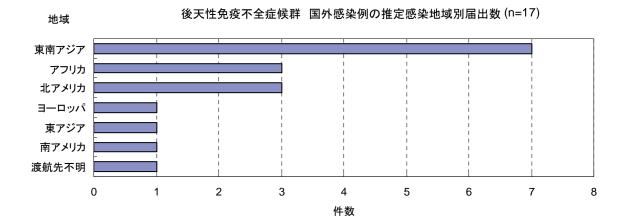
推定感染地は国内341件、国外17件、国内又は国外2件、不明49件であった。国外感染例17件を推定感染地域別にみると、東南アジア7件、アフリカ3件、北アメリカ3件、ヨーロッパ1件、東アジア1件、南アメリカ1件、渡航先不明1件であった。推定感染国別にみると、タイ4件、ミャンマー2件、米国2件、フィリピン1件、中央アフリカ1件、ジブチ1件、ザンビア1件、カナダ1件、イタリア1件、大韓民国1件、ペルー1件、渡航先不明1件であった。

推定感染経路は性的接触 360 件(同性間 280 件、異性間 56 件、両性間 19 件、性別不明 5 件)、その他(注射針共用)2件、2 経路以上2件(同性間性的接触又は静注薬物1件、異性間性的接触又はタトゥー施行1件)、静注薬物1件、輸血1件(ミャンマー)、不明 43 件であった。

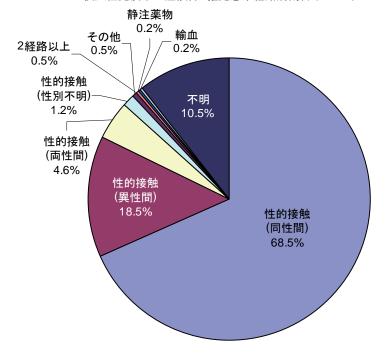
AIDS と診断した指標疾患は 84 件中、ニューモシスティス肺炎 51 件、カンジダ症 22 件、活動性 結核 5 件、サイトメガロウイルス感染症 5 件、単純ヘルペスウイルス感染症 4 件、非ホジキンリンパ 腫 4 件、HIV 脳症 4 件、HIV 消耗性症候群 4 件、クリプトコッカス症 3 件、カポジ肉腫 3 件、進行性多巣性白質脳症 1 件、原発性脳リンパ腫 1 件、反復性肺炎 1 件であった。これらの中には複数疾患発症者の報告 20 件が含まれている(2 疾患 16 人、3 疾患 4 人)。





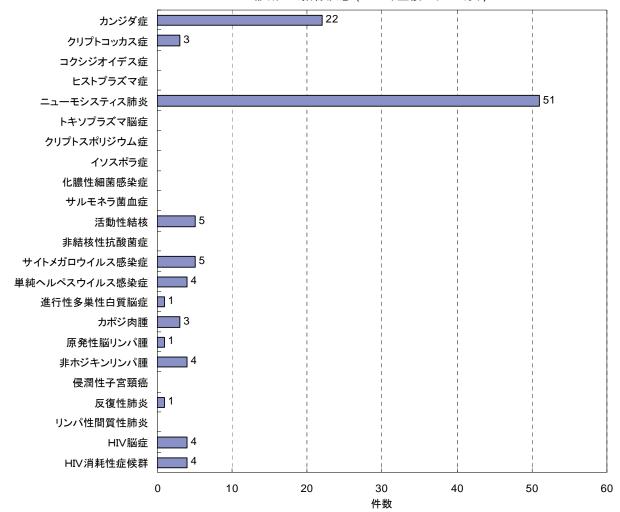


後天性免疫不全症候群 推定感染経路別割合 (n=409)





AIDSと診断した指標疾患 (n=84、重複カウントあり)



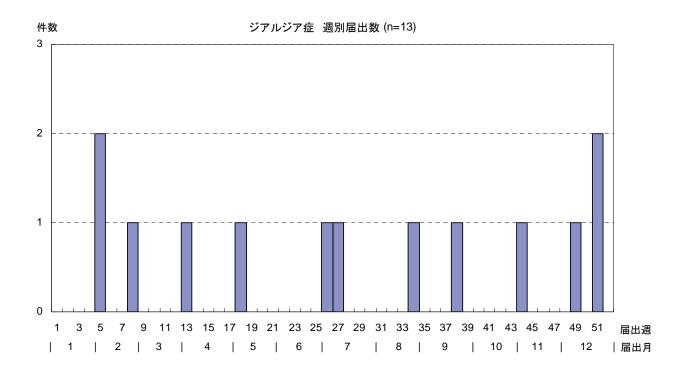
⑧ ジアルジア症

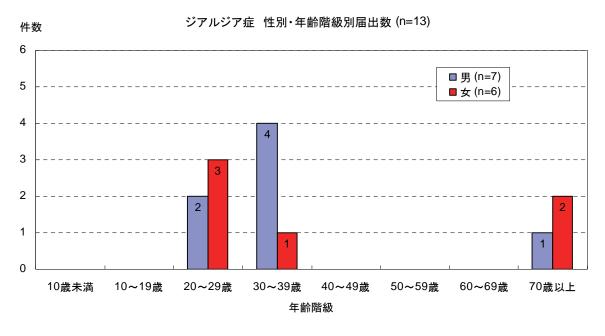
ジアルジア症は13件届出があった。

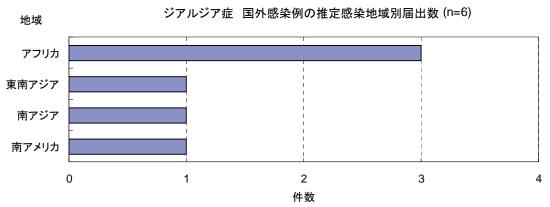
性別は男性7人、女性6人で、年齢は20歳代5人、30歳代5人、70歳以上3人であった。

推定感染地は国内6件、国外6件、国内又は国外1件であった。国外感染例6件を推定感染地域別にみると、アフリカ3件、東南アジア1件、南アジア1件、南アメリカ1件で、推定感染国別にみると、マダガスカル1件、ブルキナファソ1件、フィリピン1件、インド1件、ペルー1件、エチオピア又はエジプト1件であった。

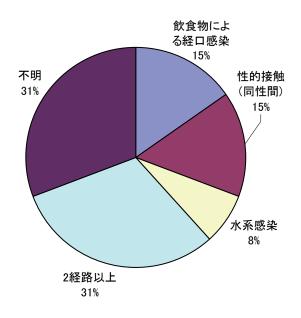
推定感染経路は、飲食物による経口感染2件、性的接触(同性間)2件、水系感染1件、2経路以上4件、不明4件であった。







ジアルジア症 推定感染経路 (n=13)



ジアルジア症 (n=13)

受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染経路
1/31	5	男	25	腹部不快感、下痢	エチオピア 又はエジプト	経口感染又は水系感染
2/4	5	男	36	腹部不快感、その他	ペルー	水系感染
2/21	8	男	37	腹部不快感、下痢	国内	不明
3/29	13	女	29	下痢	マダガスカル	経口感染又は水系感染
5/2	18	男	83	その他(好酸球増多 呼吸困難)	国内	不明
7/1	26	女	27	腹部不快感、下痢	インド	経口感染又は水系感染
7/4	27	男	29	下痢	国内	同性間性的接触
8/22	34	男	32	腹部不快感、下痢	国内	同性間性的接触
9/21	38	男	34	下痢	国内又は台湾	水系感染又は同性間性 的接触
11/4	44	女	27	下痢	ブルキナファソ	経口感染
12/7	49	女	86	下痢	国内	不明
12/20	51	女	75	その他	国内	不明
12/21	51	女	39	下痢	フィリピン	経口感染

⑨ 髄膜炎菌性髄膜炎

髄膜炎菌性髄膜炎は2件届出があった。

性別はいずれも男性、年齢は 50 歳代 1 人、70 歳代 1 人であった。推定感染地はいずれも国内、推定感染経路はいずれも不明であった。

髄膜炎菌性髄膜炎 (n=2)

受理日	受理週	性別	年齢	血清型	症状	推定感染地	推定感染経路
5/2	18	男	54	型別 不明	発熱、痙攣、意識障害、項部硬 直、DIC、多臓器不全	国内	不明
6/6	23	男	76	不明	発熱、点状出血、ショック、DIC	国内	不明

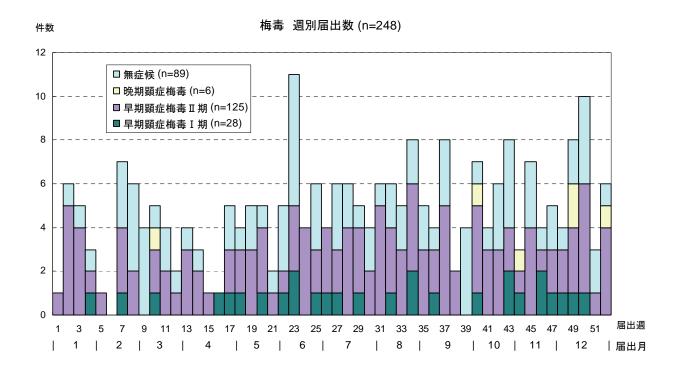
10 梅毒

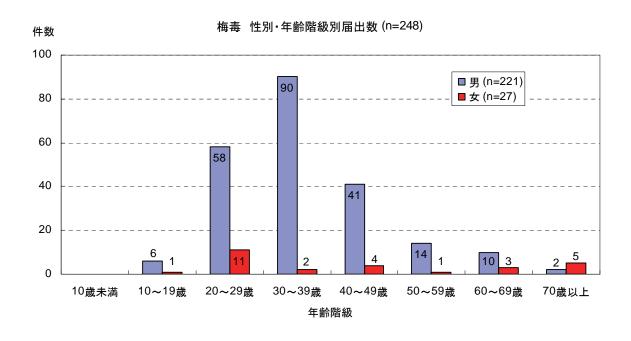
梅毒は 248 件届出があった。早期顕症梅毒 I 期 28 件、早期顕症梅毒 II 期 125 件、晩期顕症梅毒 6 件、無症候 89 件であった。先天梅毒の届出はなかった。

性別は男性 221 人、女性 27 人で、年齢は 10 歳代 7 人、20 歳代 69 人、30 歳代 92 人、40 歳代 45 人、50 歳代 15 人、60 歳代 13 人、70 歳以上 7 人であった。

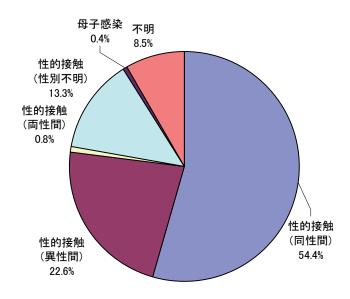
推定感染地は国内 242 件、国外 6 件で、国外感染例 6 件の内訳は、中華人民共和国 3 件、大韓民国 2 件、ペルー 1 件であった。

推定感染経路は、性的接触 226 件(同性間 135 件、異性間 56 件、両性間 2 件、性別不明 33 件)、母子感染 1 件、不明 21 件であった。





梅毒 推定感染経路 (n=248)



⑪ 破傷風

破傷風は8件届出があった。

性別は全て男性で、年齢は10歳代1人、40歳代1人、60歳代2人、70歳以上4人であった。推定 感染地は全て国内であった。70歳以上の症例の死亡が1件報告された。

破傷風 (n=8)

受理	受理 週	性別	年齢	診断方法	症状	推定 感染地	推定感染経路	備考
3/9	10	男	11	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下 障害、発語障害	国内	不明	

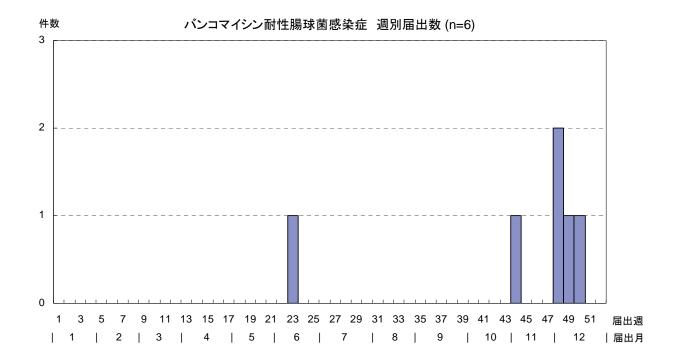
5/11	19	男	49	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下 障害、発語障害、痙笑、反弓緊張	国内	不明	
5/18	20	男	78	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下 障害	国内	創傷感染(後頭部挫)	
6/16	24	男	69	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下 障害	国内	創傷感染(慢性中耳 炎による排膿)	
6/30	26	男	83	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下 障害、発語障害、痙笑、呼吸困難 (痙攣性)、易興奮性	国内	不明	
8/2	31	男	68	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下 障害、発語障害	国内	創傷感染(虫刺を土 のついた手で掻破)	
10/24	43	男	74	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下 障害、発語障害、強直性痙攣、呼 吸困難 (痙攣性)、反弓緊張	国内	創傷感染 (左前腕擦過傷)	
12/1	48	男	73	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下 障害、発語障害	国内	創傷感染 (後頭部打撲)	死亡

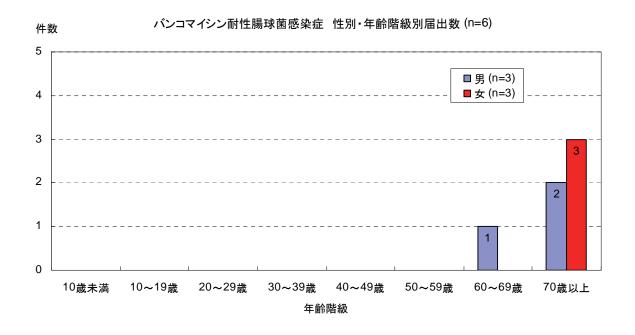
② バンコマイシン耐性腸球菌感染症

バンコマイシン耐性腸球菌感染症は6件届出があった。

菌種は Enterococcus faecium 1 件、Enterococcus faecalis 1 件、Enterococcus gallinarum 1 件、Enterococcus casseliflavus 3 件で、耐性遺伝子型は vanB 1 件、vanC 4 件、不明 1 件であった。

性別は男性 3 人、女性 3 人で、年齢は 60 歳代 1 人、70 歳以上 5 人であった。推定感染地は全て国内であった。





バンコマイシン耐性腸球菌感染症 菌種と耐性遺伝子型 (n=6)

菌種	vanA	vanB	vanC	不明	計
E. faecium				1	1
E. faecalis		1			1
E. gallinarum			1		1
E. casseliflavus			3		3
不明					
計		1	4	1	6

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (n=6)

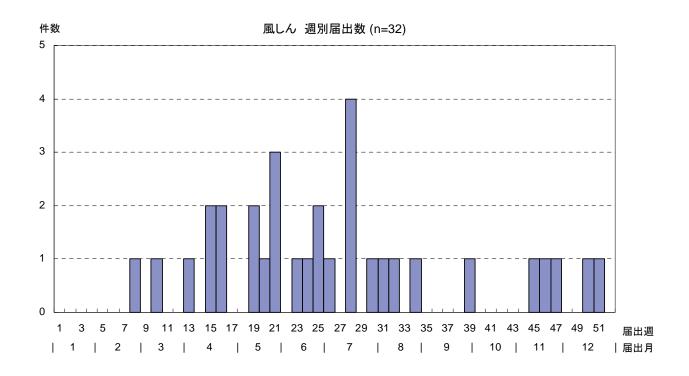
受理	受理 週	性別	歳	検体	菌種	耐性遺 伝子型	症状	推定感 染地	推定感染経路
6/7	23	男	90	尿	E. casseliflavus	vanC	発熱、食欲不振	国内	保菌
10/31	44	女	79	腹水	E. gallinarum	vanC	腹膜炎	国内	保菌
11/29	48	男	94	尿	E. casseliflavus	vanC	発熱、急性胆管炎	国内	不明
12/1	48	男	63	血液	E. faecium		発熱、菌血症、免疫不全	国内	保菌
12/8	49	女	72	血液、便	E. faecalis	vanB	発熱、腸炎	国内	不明
12/13	50	女	81	血液	E. casseliflavus	vanC	発熱、腹痛、胆管炎	国内	不明

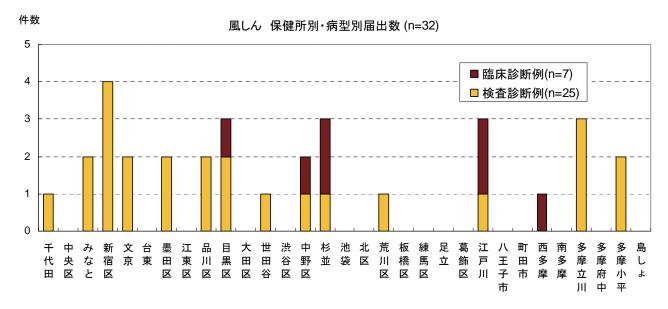
③ 風しん

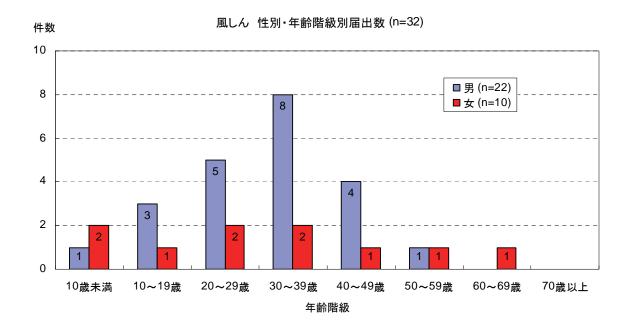
風しんは32件届出があった。検査診断例25件、臨床診断例7件であった。

性別は男性 22 人、女性 10 人で、年齢は 5 歳未満 3 人、10 歳代 4 人、20 歳代 7 人、30 歳代 10 人、40 歳代 5 人、50 歳代 2 人、60 歳代 1 人であった。推定感染地は国内 30 件、ベトナム 1 件、タイ又はベトナム又はラオス 1 件であった。

風しん含有ワクチン接種歴は、なし8件(25%)、1回2件(6%)、不明22件(69%)であった。







件数 風しん 年齢別・接種歴別届出数 (n=32) 12 10 □2回接種(n=0) 8 ■1回接種(n=2) ■ 接種なし(n=8) □ 不明(n=22) 6 4 2 0 10~19歳 20~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 10歳未満 70歳以上 年齢階級

① 麻しん

麻しんは 178 件届出があった。麻しん(検査診断例)104 件、麻しん(臨床診断例)44 件、修飾麻 しん(検査診断例)30 件であった。

性別は男性 105 人、女性 73 人で、年齢は 10 歳未満 62 人(うち 5 歳未満 47 人)、10 歳代 31 人、20 歳代 34 人、30 歳代 34 人、40 歳代 14 人、50 歳代 2 人、60 歳代 1 人であった。推定感染地は国内 166 件、フィリピン 2 件、フランス 2 件、イギリス 1 件、インドネシア 1 件、グルジア 1 件、タイ 1 件、シンガポール又はスリランカ 1 件、ドイツ又はスイス又はフランス 1 件、マレーシア又はフランス又はポルトガル 1 件、国内又はフィリピン 1 件であった。

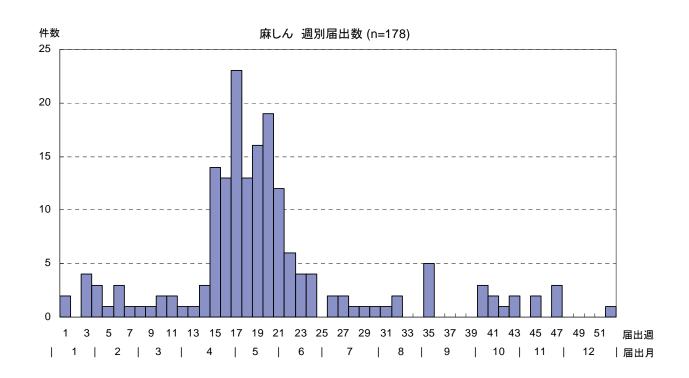
麻しん含有ワクチン接種歴は、なし 62 件 (35%)、1 回 50 件 (28%)、2 回 10 件 (6%)、不明 56 件 (31%) であった。

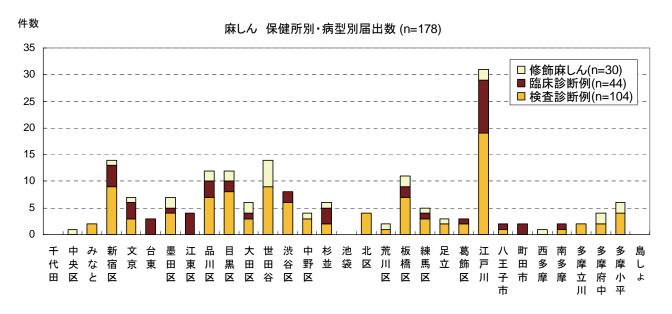
肺炎合併の報告は4件あり、年齢は、1歳3人、2歳1人で、麻しん含有ワクチン接種歴は1回2

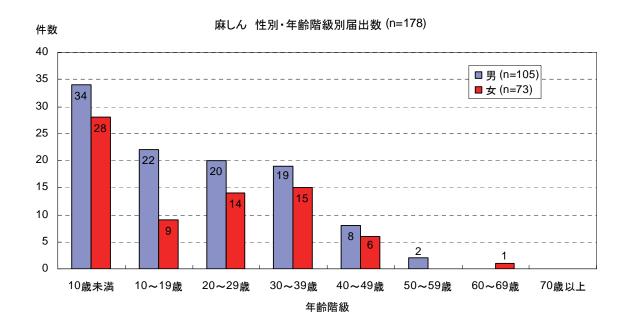
件、なし1件、不明1件であった。脳炎合併の報告はなかった。

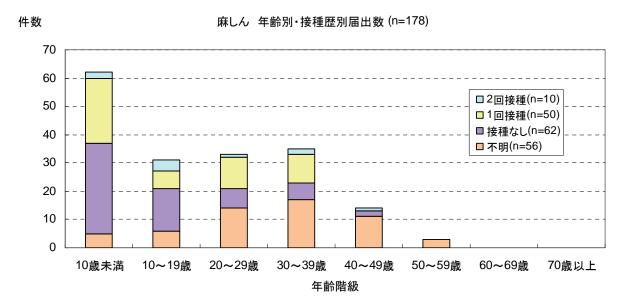
麻しんウイルスの遺伝子型の検出状況は、D4型47件、D9型22件、D8型1件、型別検出不能3件、A型4件(ワクチンタイプ)であった。

2011 年に入り、麻しんは東南アジアやヨーロッパの国々で流行がみられた。それに伴い都内でのウイルス検出状況も、これまで国内を循環していた D5 型の麻しんウイルスではなく、ヨーロッパで循環している D4 型や、主に東南アジアを循環している D9 型が検出された。









麻しんウイルス分離・検出状況内訳

受理週	D4 型	D9 型	D8 型	型別検出不能	A 型	推定感染地
2 週					1*	
3 週	1	1				D4:イギリス、D9:シンガポール・スリランカ
4 週		1				D9: 国内及びフィリピン
5 週		1				D9: 国内
6週		1				D9: 国内
11 週		2				D9: 国内
13 週	1					D4: 国内
14 週	2					D4: フランス
15 週	8					D4: 国内
16 週	9	2		1		D4: 国内、D9: フィリピン、グルジア、型別検出不能:
10 旭	9	2		1		国内
17 週	13		1			D4:国内、D8:タイ
18 週	7	1				D4:国内、D9:国内
19 週		6		1*		D9: 国内、型別検出不能: 国内
20 週	5	4		1		D4:国内、D9:国内、インドネシア、型別検出不能:国
20 旭	3	4		1		内
21 週	1	2				D4:国内、D9:国内
23 週					1	
24 週					1*	
28 週					1*	
40 週		1				D9:ポルトガル・フランス・マレーシア
計	47	22	1	3	4	

^{*}病原体定点からの検体

注:A型はワクチン株であり、麻しん患者の届出基準に当てはまらないため患者届出数には含まれない。

15 その他の五類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

先天性風しん症候群、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症

表 3 - 1 (1) 一、二、三、四、五類全数把握疾病 週別患者報告数 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

	1	1			一 类	百						i				三類		
		工	ク	痘	南	~	マ	ラ	急	結	ジ	重	(鳥	コ	細	腸	腸	パ
		ボ	IJ	そう	米	ス	1	ツ	性	核	フ	症	Ηイ	レ	菌	管	チ	ラ
		ラ	3	う	出	ト	ル	サ	灰		テ	急	5ン	ラ	性	出	フ	チ
		出	ア		血		ブ	熱	白	*	リア	性	N フ		赤廊	<u></u>	ス	フ
週	期間	血熱	· ⊐		熱		ルゲ		髄炎		7	呼吸	1ル		痢	性大		ス
		然	ン				病		狄			器	ンエン			腸		
			ゴ				783					症	ザ			菌		
			出									候				感		
			ш.									群				染		
			熱													症		
1	1. 3~ 1. 9									83						1		1
2	1.10~ 1.16									71					2	-		1
3	$1.17 \sim 1.23$ $1.24 \sim 1.30$									88 88					1	3		1
4 5	$1.31 \sim 2.6$									123					2	1		1
6	$\frac{1.31}{2.7} = \frac{2.0}{2.13}$									70					۷	1		
7	2. 14~ 2. 20									107						1		
8	$2.21 \sim 2.27$									114						1		1
9	2. 28~ 3. 6									92					3	3		
10	3. 7∼ 3.13									98					1	2		1
11	3.14~ 3.20									98						2		
12	3. 21~ 3. 27									74					2	2		
13	3.28~ 4. 3									107					2			
14	4. 4∼ 4.10									87						4		1
15	4.11~ 4.17									109					2	2		1
16	4.18~ 4.24									99						1		
17	4. 25~ 5. 1									96					_			
18	5. 2~ 5. 8									48					2		1	
19	5. 9~ 5.15								1	89					2	4	-	-
20	5. 16~ 5. 22									78					2	3	1	1
21 22	$5.23 \sim 5.29$ $5.30 \sim 6.5$									102 86					1	1		
23	6. 6~ 6. 12									106					1	1		
24	6. 13~ 6. 19									100					2	6		
25	6. 20~ 6. 26									101					2	4		
26	6. 27~ 7. 3									106						12		
27	7. 4~ 7.10									104					2	6		
28	7.11~ 7.17									127					1	6		
29	7. 18∼ 7. 24									95					2	22	1	1
30										103					4	16		
31	8. 1~ 8. 7									95					2	30		
32	8. 8~ 8.14									98				1	1	11		
33	8. 15~ 8. 21									106					0	9		
34 35	8. 22~ 8. 28 8. 29~ 9. 4									103 116					2	13 16		
36	9. 5~ 9. 11									100					6	16		
37	$9.12 \sim 9.18$									140					1	8		
38	9.12 - 9.18 $9.19 \sim 9.25$									84					1	3	1	
39	9. 26~10. 2									112					1	10	1	
	10. 3~10. 9									120					2	8		
41	10. 10~10. 16									96					4	4		
42	10.17~10.23									109					7	3		
43	10. 24~10. 30									92				2	3	1		
	10.31~11.6									89					3	3		
	11. 7~11.13									109					3	1		
	11.14~11.20									103					2	5		
47	11. 21~11. 27									92					1	3		
	11. 28~12. 4			<u> </u>		<u> </u>				128					4	2	1	
	12. 5~12.11									122					-	2		
	12. 12~12. 18									100					1	2		
51	$12.19 \sim 12.25$ $12.26 \sim 1.1$									95 89					1 3	1		
94	12.26~ 1. 1 合 計		<u> </u>						1	5,147		<u> </u>		3	86	257	6	9
4 OO	12年4月19日現在(の却み	· */-						1	0,171				J	00	201	U	J

表 3 - 1 (2) 一、二、三、四、五類全数把握疾病 週別患者報告数 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

								四類						
週	期間	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
1	1. 3~ 1. 9					1	1	2			1		1	
2	1.10~ 1.16						1						1	
3	1.17~ 1.23	- 1	0	1			1	1					- 1	1
4 5	$1.24 \sim 1.30$ $1.31 \sim 2.6$	1	2					1					1	1
6	$\frac{1.31 - 2.0}{2.7 \sim 2.13}$	2	1			1	1						1	
7	2.14~ 2.20		3				1	1					1	
8	2.21~ 2.27	1					1			1			1	
9	2.28~ 3.6		0					1					1	
10	$3. 7 \sim 3.13$ $3.14 \sim 3.20$		3 2					1			1		1	
12	$3.14 \sim 3.20$ $3.21 \sim 3.27$				1			1			2		1	1
13	3.28~ 4. 3				-		1	1			1	1	1	1
14	4. 4~ 4.10	1						2			1			
15	4.11~ 4.17										1	1	1	
16	4.18~ 4.24		1					1					3	1
17 18	$4.25 \sim 5.1$ 5. $2 \sim 5.8$		1										1	1
19	5. $9 \sim 5.15$	1	2								1		3	
20	5. 16~ 5. 22							1			1		1	
21	5.23~ 5.29		1				1		1		1		2	
22	5.30∼ 6. 5													
23	6. 6~ 6.12												3	
24 25	$6.13 \sim 6.19$ $6.20 \sim 6.26$		2								2		1	
26	$6.20 \sim 6.28$ $6.27 \sim 7.3$		1										1 2	
27	7. 4~ 7.10		1		1			1					1	
28	7.11~ 7.17		1								1		2	
29	7.18~ 7.24												1	
30	7.25~ 7.31												1	
31	8. 1~ 8. 7 8. 8~ 8.14	1			1			1			2	1	3	
33	8. 15~ 8. 21	1						1					3	
34	8. 22~ 8. 28										1		3	
35	8.29~ 9. 4		1										1	
36	9. 5∼ 9.11							2					4	
37	9.12~ 9.18		1					1			1		5	
38 39	$9.19 \sim 9.25$ $9.26 \sim 10.2$	1						1 2			1		1	
40		1						۷			1		1	
41	$10.10 \sim 10.16$										1		1	
42	10.17~10.23							1			2		2	1
	10.24~10.30	1	1					1			1		4	
	10.31~11.6		4				4						0	4
	11. 7~11.13 11.14~11.20		1				1						2	1
47	11. 21~11. 27						1	5					2	
	11. 28~12. 4							1					2	
49	12. 5~12.11		1								1		1	
	12. 12~12. 18			1									2	
	12. 19~12. 25		-								2		1	
52	12.26~ 1. 1 合 計	9	1 27	2	3	2	2 13	27	1	1	27	3	1 72	5
Щ	口 削	9	41	4	J	4	19	41	1	1	41	ა	14	ິນ

表 3 - 1 (3) 一、二、三、四、五類全数把握疾病 週別患者報告数 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

									Ŧi.	類							
週	期間	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム	ブ病クロイツフェルト・ヤコ	感染症 単いンサ球状	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	ブドウ球菌感染症バンコマイシン耐性黄疸	菌感染症 がンコマイシン耐性腸	風しん	麻しん
					症	コ	菌							色	球		
1	1. 3~ 1. 9 1. 10~ 1. 16	2	1	0			1	9				1					2
3	$1.10 \sim 1.16$ $1.17 \sim 1.23$	3 5	1	2		1	1	7 9				6 5					4
4	1. 24~ 1. 30	1	2	2			2	13				3					3
5	1.31~ 2. 6	2					1	3	2			1					1
6	2. 7~ 2.13	3	1	1	1	1		11				7					3
7 8	$2.14 \sim 2.20$ $2.21 \sim 2.27$	3		1	1	1	2	6 20	1			7 6				1	1
9	2. 28~ 3. 6	8	1			2		9	1			4				1	1
10	3. 7∼ 3.13	2					2	10				5	1			1	2
11	3.14~ 3.20	5					1	4				4		<u> </u>			2
12 13	$3.21 \sim 3.27$ $3.28 \sim 4.3$	3	1 1	1	1	1	1	6 5	1			2 4				1	1
14	4. 4~ 4. 10	4	1	1	1	1	1	4	1			3				1	3
15	4.11~ 4.17	4	2			1	1	4				1				2	14
16	4.18~ 4.24	3						10				1				2	13
17	$4.25 \sim 5.1$ 5. $2 \sim 5.8$	3					1	6	1	1		5					23 13
18 19	5. $9 \sim 5.15$	3					1	3 8	1	1		4 5	1			2	16
20	5. 16~ 5. 22	4	3			1	2	5				5	1			1	19
21	5. 23~ 5. 29	1					1	11				2				3	12
22	5.30~ 6.5		1	1			1	9				5			-	-	6
23 24	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	6	3				1	10		1		11	1		1	1	4
25	$6.20 \sim 6.26$	5	1	1			1	8				6	1			2	- 1
26	6.27∼ 7. 3	1	2					4	1			4	1			1	2
27	7. 4~ 7.10	5	1					9	1			6					2
28 29	$7.11 \sim 7.17$ $7.18 \sim 7.24$	1	1	1		1	9	8				6 5		-		4	1
30	7.18° 7.24 7.25 7.31	2		1			2	8				4		-		1	1
31	8. 1~ 8. 7	7	1	1				9				6	1			1	1
32	8. 8~ 8.14	7	1	1		1		3				6				1	2
33	8. 15~ 8. 21 8. 22~ 8. 28	1	1	1		1	1	5 12	1			5 8				1	
34 35	8. 22~ 8. 28 8. 29~ 9. 4	7	1				3	8	1			5				1	5
36	9. 5~ 9.11	4				1		7				4					Ů
37	9.12~ 9.18	3	1					5				8					
38		2					-1	9	1			2		<u> </u>		1	
39 40	9. 26~10. 2 10. 3~10. 9	6	1				1	11 10				7				1	3
41	$10.10 \sim 10.16$	1		1				2				4					2
42	10.17~10.23	4						8				6					1
	10. 24~10. 30	2	1	3				10				8	1				2
44	$10.31 \sim 11.6$ $11.7 \sim 11.13$	6	1 1					9	1			3 7			1	1	2
		5	1					9				4				1	
47	11. 21~11. 27	2	2					6				5				1	3
	11. 28~12. 4	2						6				4	1		2		
	12. 5~12.11	3	1	2			0	8	1			8		<u> </u>	1	4	
	12. 12~12. 18 12. 19~12. 25	5 5	1 2				2	12	2			10		\vdash	1	1	
	$\frac{12.13}{12.26}$ $\frac{12.23}{1}$	5	1					14	J.			6				1	1
	合 計	178	40	19	2	13	30	409	13	2		248	8		6	32	178

表 3 - 2 (1) 一、二、三、四、五類全数把握疾病 保健所別患者報告数 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

	一類								_	二 類	į		三類				
保健所	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核 *	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	(H5N1)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
千代田									145					2	4		
中央区									41					4	1	1	1
みなと									101					11	16		
新宿区									225				1	14	6	1	3
文京									121					10	8		1
台東									185					1	5		
墨田区									106					2	10		1
江東区									164					1	2		
品川区									143					3	10		
目黒区									92					1	6		
大田区									281					6	17		1
世田谷									238					3	19		
渋谷区									76						1		
中野区									140				1	2	5		
杉並									188					4	9		
池袋									127						4		
北区									154						3		
荒川区									99						6	1	
板橋区									250					2	7		1
練馬区									209					2	7		
足立									334					1	5	1	
葛飾区									163					1	11		
江戸川									242				1	2	8	1	
八王子市									166					2	5		
町田市									80						1		
西多摩									82					2	2		
南多摩									106					1	6	1	
多摩立川									219					2	22		
多摩府中								1	311					6	30		1
多摩小平									350					1	21		
島しょ									9								
合 計								1	5,147				3	86	257	6	9

^{* 2012}年4月19日現在の報告数

表 3 - 2 (2) 一、二、三、四、五類全数把握疾病 保健所別患者報告数 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

							四類						
保健所	E型肝炎	A 型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
千代田	2											1	
中央区										2		1	
みなと					1		3			7		3	
新宿区	3	9				1	13			9	1	8	1
文京		5	1				2				1	6	
台東													
墨田区							6			3			2
江東区													
品川区	3	2				1						2	
目黒区		1										3	
大田区						1	3			3		9	
世田谷						2				1		2	1
渋谷区		1						1				1	
中野区												1	
杉並		1										1	
池袋													
北区												3	1
荒川区		1											
板橋区				1		1			1		1	2	
練馬区													
足立												1	
葛飾区												1	
江戸川		1										2	
八王子市				1								1	
町田市		1								1		2	
西多摩	1	1				1						1	
南多摩		1										2	
多摩立川						1						13	
多摩府中		3	1							1		3	
多摩小平				1	1							3	
島しょ						5							
合 計	9	27	2	3	2	13	27	1	1	27	3	72	5

表 3 - 2 (3) 一、二、三、四、五類全数把握疾病 保健所別患者報告数 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

								五.	類							
保健所	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	ブ病クロイツフェルト・ヤコ	感染症 関症型溶血性レンサ球菌	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	ブドウ球菌感染症バンコマイシン耐性黄色	菌感染症がソコマイシン耐性腸球が	風しん	麻しん
千代田	9	2			1	1	3	2			4				1	
中央区	7		1			1	10	2			6			1		1
みなと	19	5				1	21	2			17				2	2
新宿区	17	10	5	1	4		91	3			132				4	14
文京	19	2			2	3	29				14	2			2	7
台東	5						7									3
墨田区	9	2	1	1			8				1				2	7
江東区	5	1					2				5					4
品川区	5	2			1	1	9	1	1		2				2	12
目黒区	2	1	1		1		5				1			1	3	12
大田区	2	3	2		1	3	8	1			3			3		6
世田谷	11	2					8				2				1	14
渋谷区	4		1			1	100				6					8
中野区	7					1	10				12				2	4
杉並	6	7					5	1			4				3	6
池袋						1	4				2					
北区	1						6									4
荒川区			2			3	1				3	1			1	2
板橋区	5				1	3	17		1		7	1				11
練馬区	5	1	2				4				3					5
足立	7					1	2							1		3
葛飾区	3						1				1					3
江戸川	2	1					4				8				3	31
八王子市	3						5									2
町田市	2					1	1									2
西多摩	1						7	1							1	1
南多摩	2		1				1				3					2
多摩立川	4						5				2	1			3	2
多摩府中	13	1			2	4	27				6	2				4
多摩小平	3		3			5	8				4				2	6
島しょ												1				
合 計	178	40	19	2	13	30	409	13	2		248	8		6	32	178

表 3 - 3 (1) 一、二、三、四、五類全数把握疾病 年齢階級別患者報告数 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

			_	一 类	首					_	i				三類		
年齢階級	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	- 結核 *	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	(H5N1)	コレラ	細菌性赤痢		腸チフス	パラチフス
O歳								1	55								
1~4歳									89					2	19	1	
5~9歳									42					1	21	2	1
10~14歳									71					2	26		
15~19歳									107					1	23		
20~24歳									292					10	35		3
25~29歳									341				1	15	22		1
30~34歳									322				1	12	19	1	1
35~39歳									358					12	11	1	1
40~44歳									365				1	6	10		
45~49歳									356					9	13		1
50~54歳									317					5	15		1
55~59歳									332					3	7		
60~64歳									436					5	7	1	
65~69歳									313						5		
70歳以上			<u> </u>						1,351					3	24		
合 計								1	5,147				3	86	257	6	9

^{* 2012}年4月19日現在の報告数

表 3 - 3 (2) 一、二、三、四、五類全数把握疾病 年齢階級別患者報告数 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

	四類												
年齢階級	E 型肝炎	A 型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
0歳													
1~4歳							1				1	1	
5~9歳		2				1							
10~14歳			1										
15~19歳						1							
20~24歳	2						5						1
25~29歳		3					4			4			1
30~34歳		2					4	1		9		1	
35~39歳		4			2		1			7			1
40~44歳		1	1			5	8			3		3	1
45~49歳	2	3								1	1	4	
50~54歳		2				2				1	1	5	
55~59歳	2	3				1	2					10	
60~64歳	3	3		1		1	2			1		13	
65~69歳		1				2				1		9	
70歳以上		3		2					1			26	1
合 計	9	27	2	3	2	13	27	1	1	27	3	72	5

表 3 - 3 (3) 一、二、三、四、五類全数把握疾病 年齢階級別患者報告数 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

								五.	類							
年齢階級	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	ブ病クロイツフェルト・ヤコ	感染症 単レンサ球菌	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	ブドウ球菌感染症バンコマイシン耐性黄色	菌感染症 バンコマイシン耐性腸球	風しん	麻しん
0歳			2													7
1~4歳	1		5												3	40
5~9歳		1	5													15
10~14歳	1		1									1				14
15~19歳		1					6				7				4	17
20~24歳	4	4		1			40				22				3	16
25~29歳	8	7	1				64	5			47				4	18
30~34歳	12	3				3	76	2			51				6	24
35~39歳	21	4	2	1		2	66	3			41				4	10
40~44歳	25	10				2	60				28				1	9
45~49歳	32	4	1			1	34				17	1			4	5
50~54歳	21	4			1	2	25		1		10				1	2
55~59歳	15	1			3	2	24				5				1	
60~64歳	15		1			3	8				11			1	1	
65~69歳	9	1	1		1	4	4				2	2				1
70歳以上	14				8	11	2	3	1		7	4		5		
合 計	178	40	19	2	13	30	409	13	2		248	8		6	32	178

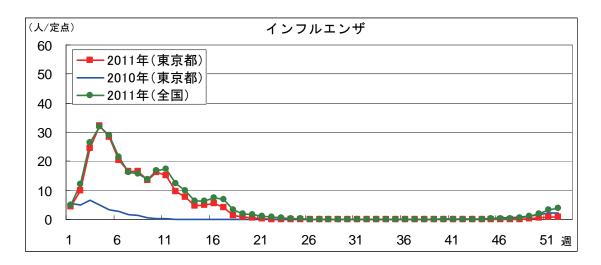
(2) 小児科・内科疾患

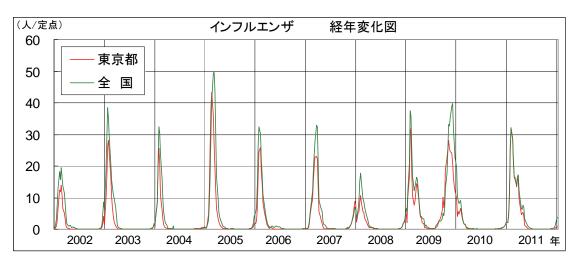
ア インフルエンザ

2011 年の報告数は 99,940 人、定点当たり 240.03 人であった。過去 10 年では、定点当たり 2009 年の 495.53 人、2005 年の 243.46 人に次いで 3 番目の報告数であった。

2010/11 シーズンの流行は 2010 年 49 週(12 月 6 日~12 月 12 日)に定点当たり 1.04 人と流行の目安となる 1.00 人を超えた。その後 2011 年の 1 週(1 月 3 日~1 月 9 日)には定点当たり 4.29 人と増加し、4 週(1 月 24 日~1 月 30 日)には定点当たり 32.08 人とピークを迎えた。その後、減少したが 10 週(3 月 7 日~3 月 13 日)に定点当たり 16.26 人、16 週(4 月 18 日から 4 月 24 日)に定点当たり 5.43 人の小さなピークを作り、18 週(5 月 2 日~5 月 8 日)の定点当たり 1.38 人を最後に以降は 1.00 人を切り流行は終息した。

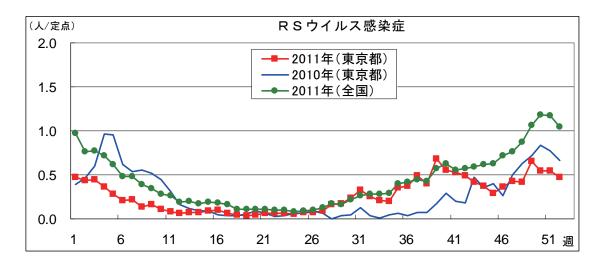
2011/12 シーズンは最終 52 週(12 月 26 日~1 月 1 日)でも定点当たり 0.82 人であり葛飾区など 9 保健所管内では定点当たり 1.00 人を超えたが、都全体で 1.00 人を超えたのは 2012 年 2 週(1 月 9 日~1 月 15 日)の 3.22 人になってからである。

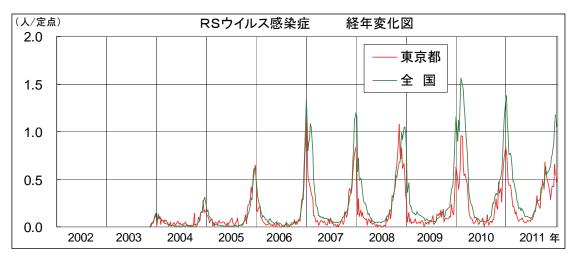




イ RSウイルス感染症

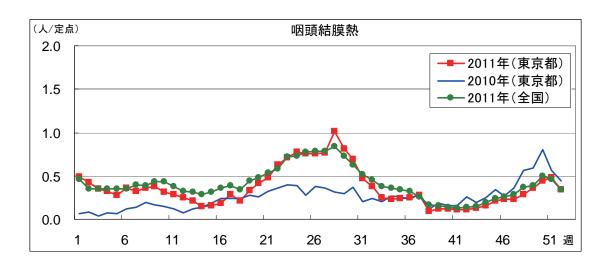
2011 年の報告数は 3,628 人で定点当たり 13.94 人であった。RS ウイルス感染症は 2003 年 11 月より 五類定点把握対象疾患となり調査が開始された。2011 年の報告数は定点当たりでは 2010 年に次ぐ報 告数となっている。週別報告数を見ると、定点当たり 0.50 人以上の報告があるのは、39 週~41 週(9 月 26 日~10 月 16 日)と 49 週~51 週(12 月 5 日~12 月 25 日)でありピークは 39 週の 0.68 人であった。保健所管内別で定点当たり報告数が多いのは、荒川区 67.00 人、大田区 37.60 人となっている。年齢階級別で見ると報告数 3,628 人中、6 か月未満が 595 人、6 か月以上 12 か月未満が 903 人、1 歳代 1,327 人、2 歳代 417 人で 2 歳以下で全体の 89.4%を占めている。

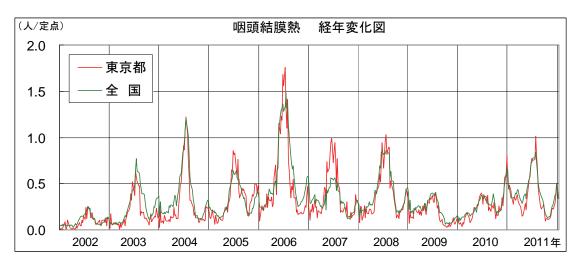




ウ 咽頭結膜熱

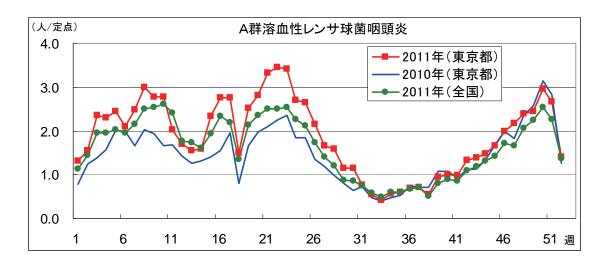
2011年の報告数は4,936人で定点当たり18.95人であった。過去10年では4番目の報告数であった。 週別報告数で定点当たり0.5人を超えているのは22週~30週(5月30日~7月31日)であり、ピークは28週(7月11日~7月17日)の1.01人であった。保健所別報告数では、定点当たり多摩小平が46.40人、荒川区が42.25人と多くなっている。年齢階級別では、1歳代にピークがあり5歳以下で全報告数の81.3%を占めており前年と同様である。

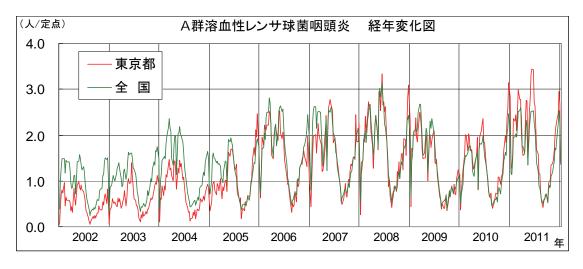




エ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

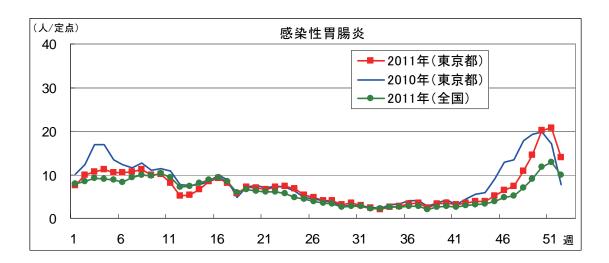
2011 年の報告数は 25,487 人で定点当たり 97.66 人となっており、過去 10 人で最多の報告数となっている。週別報告数では、21 週~23 週(5 月 23 日~6 月 12 日)で定点当たり 3.00 人を超えており、ピークは 22 週(5 月 30 日~6 月 5 日)の定点当たり 3.45 人であった。保健所別では定点当たり町田市が 265.00 人、八王子市が 202.55 人と前年と同様に多く報告されている。年齢階級別報告数では、5 歳代の 3,637 人をピークに 4 歳代から 7 歳代で全報告数の 53.0%を占めている。

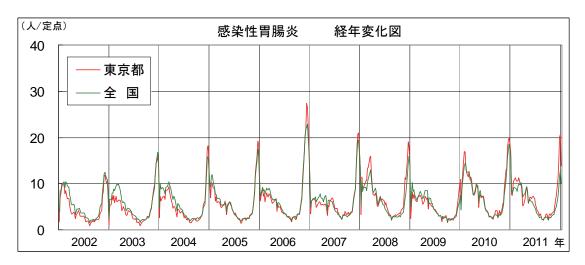




才 感染性胃腸炎

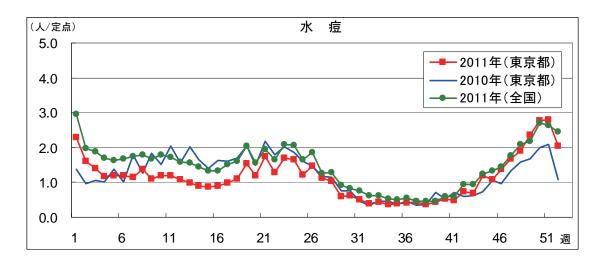
2011 年の報告数は 95,910 人で定点当たり 367.56 人であった。過去 10 年では 3 番目に多い報告数となっている。週別報告数では 50 週~51 週(12 月 12 日~12 月 25 日)に定点当たり 20.00 人を超えており、ピークは 51 週(12 月 19 日~12 月 25 日)の定点当たり 20.66 人であった。保健所別では定点当たり江東区が 658.89 人、八王子市が 622.00 人、町田市が 604.25 人と前年と同様に多く報告されている。また年齢階級別報告数では前年と同様に 1 歳代にピークがみられた。

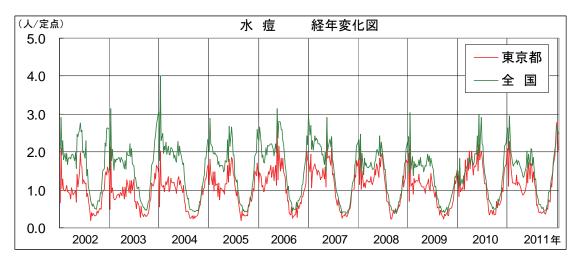




力 水痘

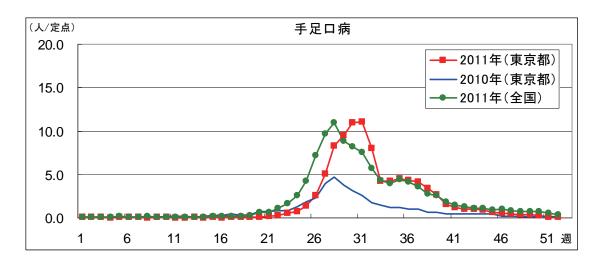
2011 年の報告数は 15,679 人、定点当たり 60.11 人で過去 10 年では 3 番目の報告数であった。週別報告数で定点当たり 2.00 人を超えているのは 1 週(1月 3日~1月 9日)及び 49 週~52 週(12月 5日~1月 1日)でありピークは 51 週(12月 19日~12月 25日)の 2.79 人であった。保健所別定点当たり報告数は、町田市が 145.75 人、八王子市が 99.27 人と前年と同様に多く報告されている。年齢階級別報告数では、3 歳代の 2,593 人が最も多く、1 歳代~5 歳代で 75.0% を占めている。

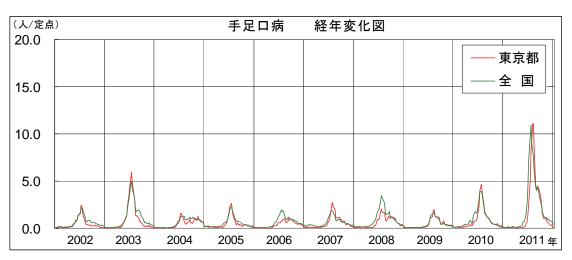




キ 手足口病

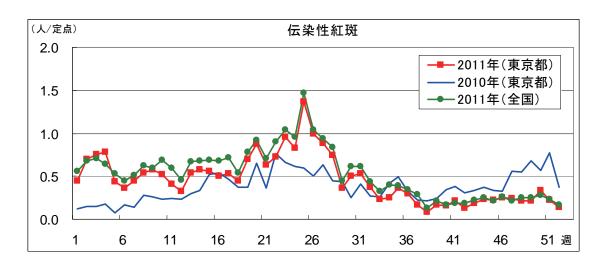
2011 年の報告数は 24,786 人で定点当たり 95.84 人で過去 10 年で最も多い報告数であった。週別報告数では定点当たり 5.00 人を超えているのは 27 週~32 週(7 月 4 日~8 月 14 日)でありピークは 31 週 (8 月 1 日~8 月 7 日)の 11.07 人であった。非常に大きな流行の年となった。保健所別定点当たり報告数は、八王子市 190.73 人、南多摩 162.91 人、江東区 161.78 人などが多くなっている。年齢階級別報告数は 1 歳代が 7,214 人と最多である。

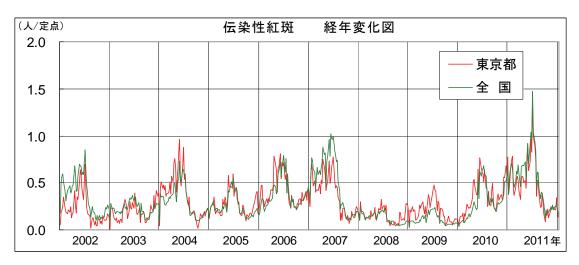




ク 伝染性紅斑

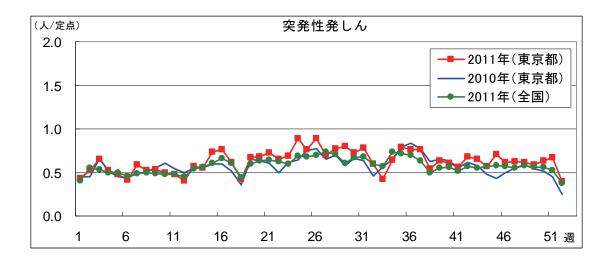
2011 年の報告数は 6,317 人で定点当たり 24.23 人であった。過去 10 年で定点当たり最も多い報告数であった。週別定点当たりの報告数では、25 週~26 週(6 月 20 日~7 月 3 日)で 1.00 人を超えており、ピークは 25 週(6 月 20 日~6 月 26 日)の 1.37 人となっている。保健所別定点当たり報告数では八王子市が 45.36 人と最多であった。年齢階級別報告数では 5 歳代が 1,032 人、4 歳代が 1,009 人と多く、4~5 歳代で全体の 32.3%を占めている。

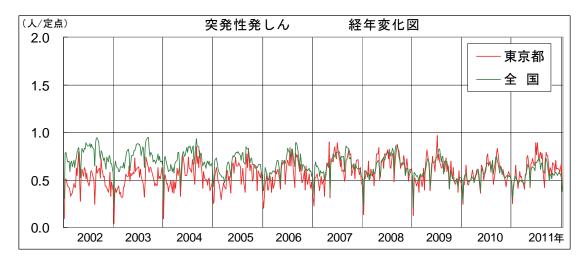




ケ 突発性発しん

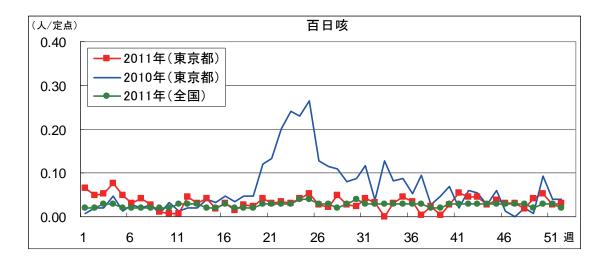
2011 年の報告数は 8,447 人で、定点当たり 32.44 人であった。経年的な推移では定点当たりの報告数の変動は少ないが、過去 10 年では 2 番目に多い報告数であった。週別定点当たりの報告数では、24週~31週(6月13日~8月7日)にかけて 0.70 人を超えるゆるやかなピークが見られるが例年どおり季節変動は少ない。保健所別定点当たり報告数では、荒川区で 52.25 人、八王子市で 50.91 人と報告数が多くなっている。年齢階級別報告数では、8,447 人中 1 歳代が 4,114 人、6~11 か月が 3,314 人で両者で 87.9%を占めている。

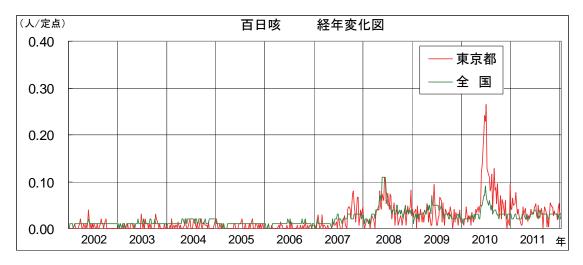




コ 百日咳

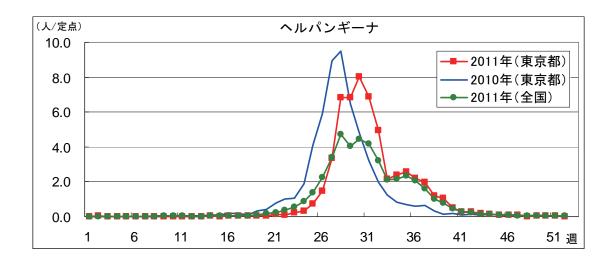
2011 年の報告数は 450 人、定点当たり 1.73 人で過去 10 年では 3 番目に多い報告数であった。前年は定点当たり 3.42 人と過去 10 年では最多であったが、2011 年は半減している。週別定点当たり報告数では 4 週(1 月 24 日~1 月 30 日)が 0.08 人と最多であるが季節変動ははっきりしない。保健所別定点当たり報告数では荒川区が 12.50 人と突出して多くなっている。年齢階級別では、0~4 歳 124 人、5~9 歳 58 人、10~14 歳 47 人、15~19 歳 16 人、20 歳以上 205 人となっている。

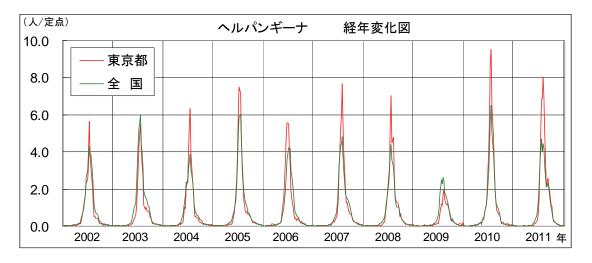




サ ヘルパンギーナ

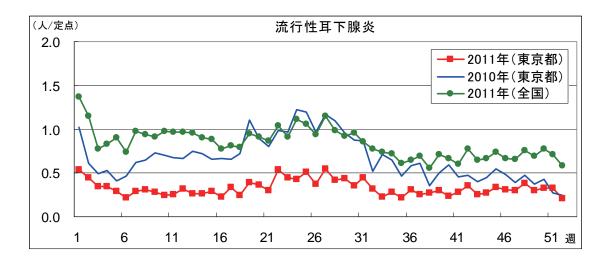
2011 年の報告数は 14,431 人、定点当たり 55.78 人であり、過去 10 年では前年に次いで 2 番目に多い報告数となっている。週別定点当たり報告数は、27 週~32 週(7 月 4 日~8 月 14 日)で 3.00 人を超え、30 週(7 月 25 日~7 月 31 日)が 8.03 人とピークになっている。保健所別定点当たり報告数では、荒川区 143.25 人、江戸川 112.90 人、町田市 103.25 人、足立 102.41 人が多かった。年齢階級別では、14,431人中 1~3 歳が 8,310 人と 57.6%を占めている。

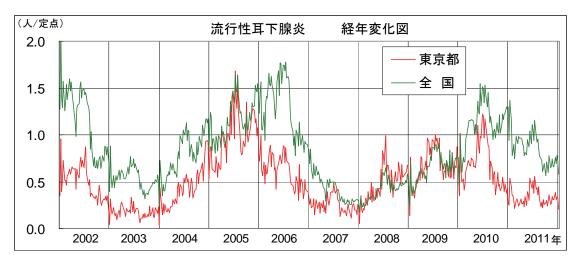




シ 流行性耳下腺炎

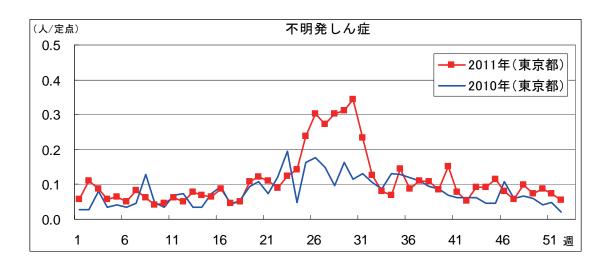
2011 年の報告数は 4,488 人で、定点当たり 17.23 人であった。過去 10 年では 3 番目に少ない報告となった。週別定点当たり報告数は、1 週(1 月 3 日~1 月 9 日)に 0.54 人、22 週(5 月 30 日~6 月 5 日)に 0.54 人、25 週(6 月 20 日~6 月 26 日)に 0.51 人、27 週(7 月 4 日~7 月 10 日)に 0.55 人とそれぞれ 0.50 人を超えているが季節変動ははっきりしていない。保健所別定点当たり報告数では南多摩 42.84 人、八王子市 35.64 人と多くなっている。年齢階級別報告数では 4 歳代が 756 人と最も多く 6 歳以下で 3,051 人と全報告数の 68.0%を占めている。

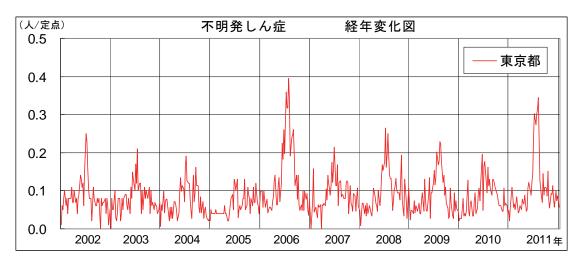




ス 不明発しん症

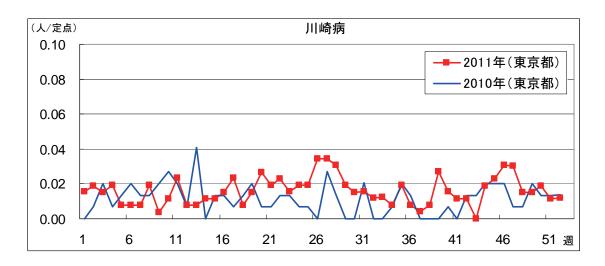
2011 年の報告数は 1,506 人、定点当たり 5.78 人で過去 10 年では 2 番目に多い報告数であった。週別定点当たり報告数は 25 週~31 週(6 月 20 日~8 月 7 日)に 0.20 人を超え、30 週(7 月 25 日~7 月 31 日)が 0.34 人とピークとなった。保健所別定点当たり報告数では、町田市 18.00 人、荒川区 14.25 人、墨田区 10.40 人が多かった。年齢階級別報告数では、1 歳代が 506 人と最も多く、3 歳以下が 1,174 人と全報告の 78.0%を占めている。

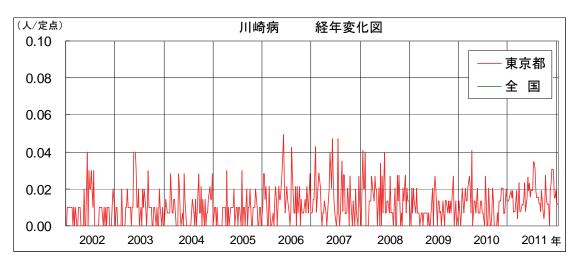




セ 川崎病

2011年の報告数は217人で、定点当たり0.83人で過去10年で最多の報告数であった。週別定点当たり報告数は0~0.03人であり季節変動は不明である。保健所別定点当たり報告数では、千代田5.00人、荒川区4.75人、多摩小平2.27人が多かった。年齢階級別報告数では、1歳代が61人と最も多く、4歳以下で192人と全体の88.5%を占めている。





(3)眼科疾患

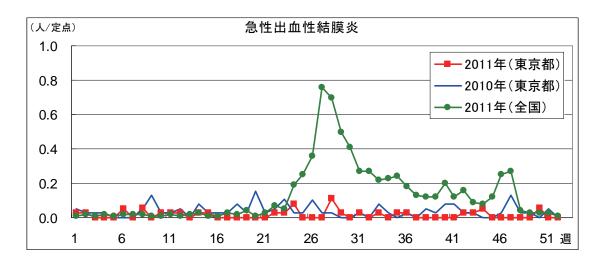
ア 急性出血性結膜炎

2011 年の報告数は 31 人、定点当たり 0.84 人であった。眼科定点が増加した 2007 年以降で最少だった。

患者発生数の推移にはあまり特徴がなく、24 週(6 月 13 日~19 日)に 3 人、28 週(7 月 11 日~17 日)に 4 人発生した以外は各週 2 人以下であり、年間 30 週は発生がみられず、定点当たりでは平均 0.02 人であった。全国的には 24 週(6 月 13 日~19 日)以降増加したものの、東京都は全国の発生動向と状況を異にした。

保健所別定点当たり報告数では足立が 6.00 人と突出しており、次いで世田谷 3.50 人、葛飾区 2.00 人が多かった。眼科定点のある 12 医療圏のうち、報告のあったのは 6 医療圏で、区東北部圏が突出して多かった。

報告年齢は分散していたが、20歳以上の成人が18人と全体の58.1%を占め、特に30歳台で6人の発生がみられた。





イ 流行性角結膜炎

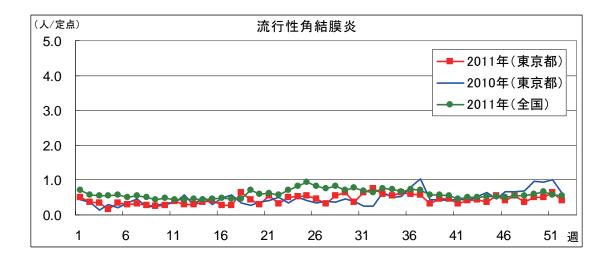
2011 年の報告数は 842 人、定点当たり 22.73 人であった。昨年の 951 人、定点当たり 24.60 人より減少したが、過去 5 年間とほぼ同等であった。

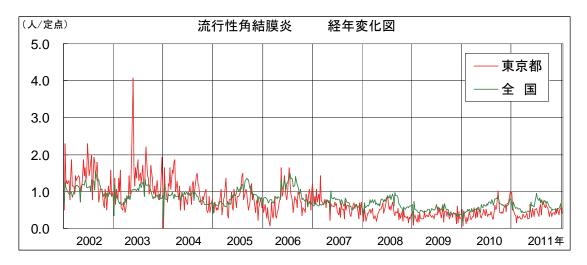
患者発生数は 6 月から 9 月にかけてわずかにゆるやかなピークを認めるものの、年間を通じて週 6 ~26 人の発生であった。週別定点当たり報告数では 0.16~0.76 人となり、平均 0.43 人と通年にわたり散発していた。全国と比較すると若干低い水準であった。

保健所別定点当たり報告数では、文京 56.00 人、中央区 48.00 人、葛飾区 41.00 人、新宿区 40.00 人 が多く、定点当たり年間 40 人を超えていた。

医療圏別定点当たり報告数では北多摩北部圏 53.00人、区中央部圏 52.00人が多かった。

報告年齢は20歳から49歳が512人と60.8%を占め、20歳以上の成人が666人(79.1%)であった。 10歳未満は130人(15.4%)で、各年齢層に分散してみられた。

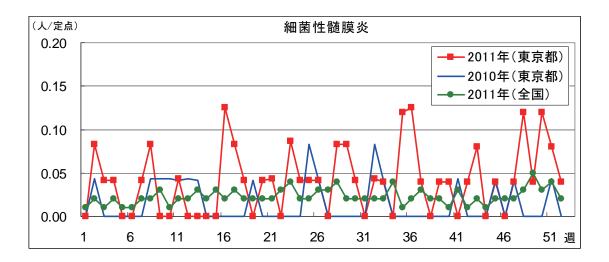


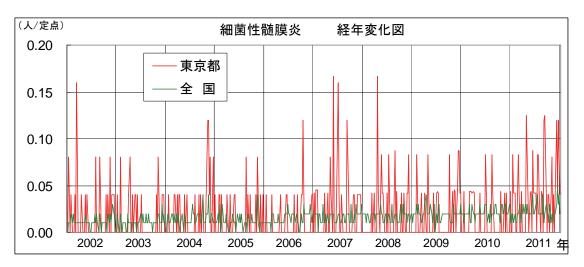


(4) 基幹定点における週報告疾病

ア 細菌性髄膜炎

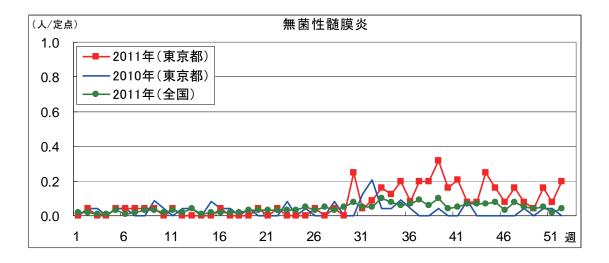
2011年の報告数は52人、定点当たり2.14人であり、過去10年で最多の報告数であった。週別定点当たり報告数では季節変動は明らかではない。年齢階級別報告数では1歳未満が17人であり、32.7%を占めている。保健所別定点当たり報告数では多摩府中5.33人が多い。





イ 無菌性髄膜炎

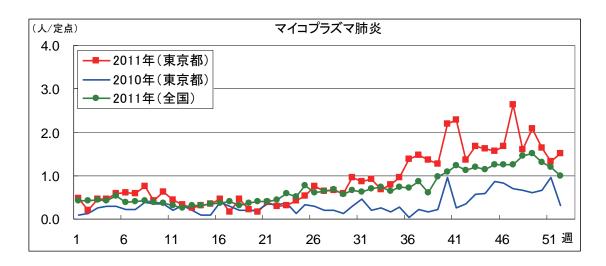
2011年の報告数は96人で、定点当たり3.91人であり、過去10年で最多であった。週別定点当たり報告数では39週(9月26日~10月2日)の0.32人が最も多く、次いで30週(7月25日~7月31日)及び44週(10月31日~11月6日)の0.25人であった。年齢階級別報告数では6か月未満16人(16.7%)、6か月~9歳23人(24.0%)、10~19歳19人(19.8%)、20歳以上38人(39.6%)であった。保健所別定点当たり報告数では墨田区が21.00人と最も多かった。

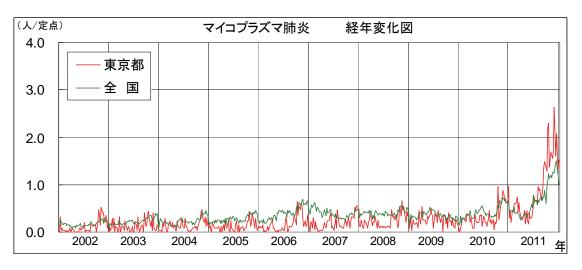




ウ マイコプラズマ肺炎

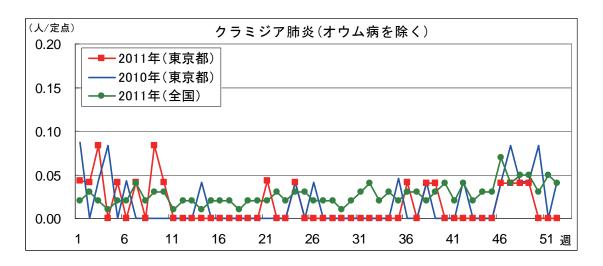
2011 年の報告数は 1,143 人、定点当たり 46.78 人であった。2002 年から 2010 年の定点当たり報告数は 6.52~17.76 人であり、過去 10 年で最多の報告数であった。週別定点当たり報告数では、36~52 週(9月5日~11日)で 1.00 人を超え、40~41 週(10月3日~10月16日)、47 週(11月21日~11月27日)、49 週(12月5日~12月11日)では 2.00 人を超えた。年齢階級別報告数では、1~9歳794人(69.5%)、10~19歳229人(20.0%)、20歳以上110人(9.6%)であった。保健所別定点当たり報告数では、葛飾区391.00人、多摩小平111.00人、新宿区88.50人が多かった。

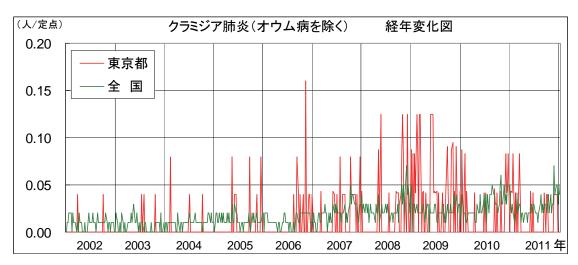




エ クラミジア肺炎(オウム病を除く)

2011年は18人、定点当たり0.74人の報告があった。過去5年では一番少ない報告数であった。週別の報告数は例数が少ないため季節性ははっきりしないが18人中9人が1~10週(1月3日~3月13日)に報告されている。年齢階級別報告数では、9歳以下の報告はなかった。保健所別報告数は新宿区7人、葛飾区7人が多かった。

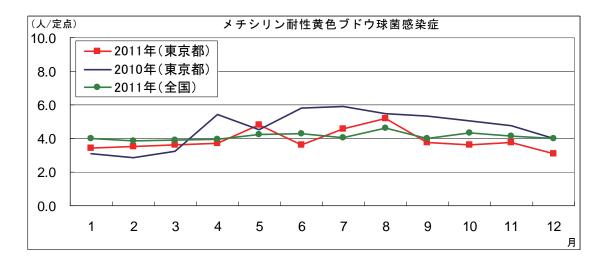


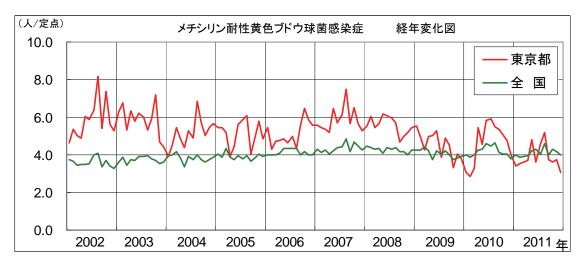


(5) 基幹定点における月報告疾病

ア メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

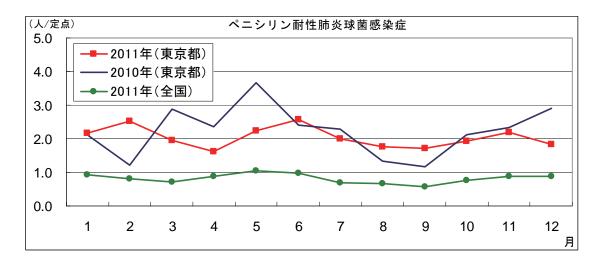
2011 年の報告数は 1,136 人、定点当たり 46.67 人で、過去 10 年で最も少ない報告数である(過去 10 年の平均は定点当たり 61.98 人)。月別定点当たり報告数は 8 月が最多の 5.20 人であった。最少は 12 月の 3.08 人であったが、季節変動は明確ではない。男女別では男性 748 人、女性 388 人で例年と同様男性に多かった。年齢階級別では60歳以上が 652 人(57.4%)と最も多く、次いで9歳以下が 283 人(24.9%)であった。

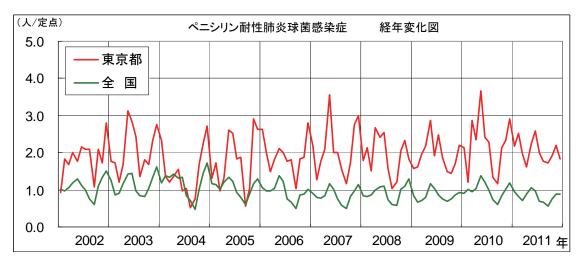




イ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

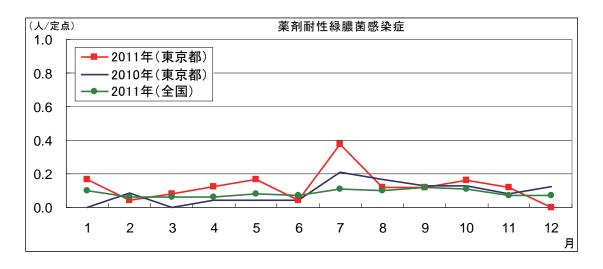
2011年の報告数は596人、定点当たり24.55人であり(過去10年の平均23.20人)、過去10年で平均的な報告数であった。月別定点当たり報告数は最多は6月の2.58人、最少は4月の1.63人であり季節変動は少ない。男女別では男性359人、女性237人で男性に多い。年齢階級別では9歳以下が318人(53.4%)で最も多く、次いで60歳以上が209人(35.1%)と多かった。

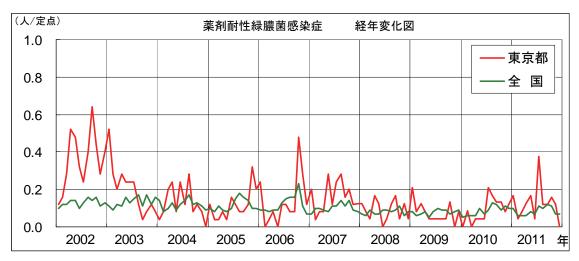




ウ 薬剤耐性緑膿菌感染症

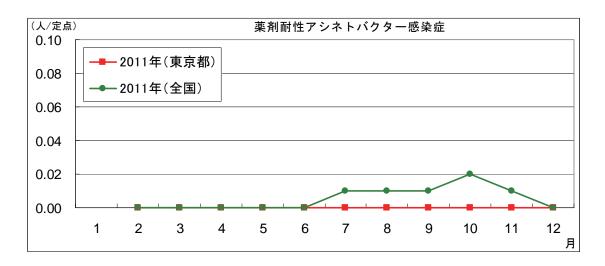
2011年の報告数は37人で、定点当たり1.52人(過去10年の平均1.79人)であった。月別定点当たり報告数では7月が0.38人と多かった。男女別では男性24人、女性13人で男性に多い。年齢階級別報告数では60歳以上が29人(78.4%)と多かった。

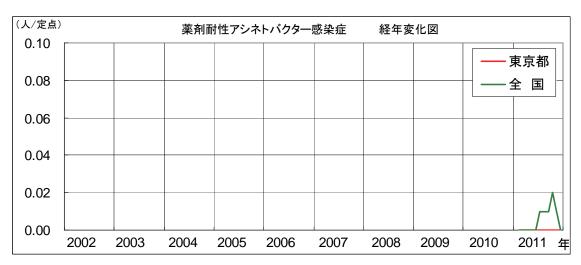




エ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

2011年2月より調査が開始されたが報告例はなかった。





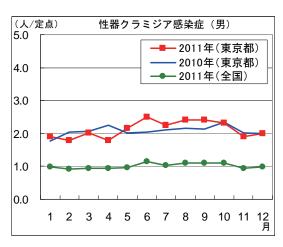
(6) 性感染症(STI)

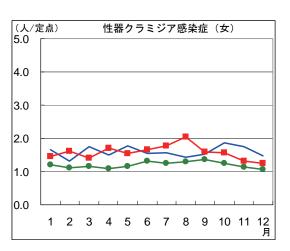
ア 性器クラミジア感染症

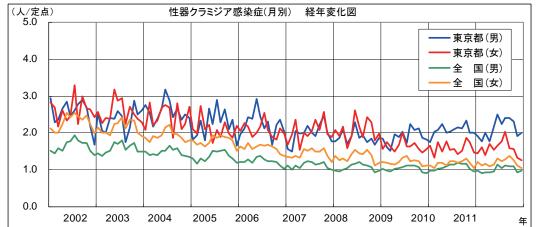
2011年の報告数は 2,426人、定点当たり 44.37人であった。

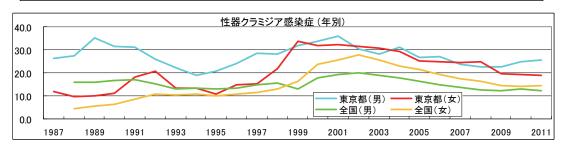
男女別では、男性の報告数は 1,390 人、定点当たり 25.43 人(前年比 1.02)、女性の報告数は 1,036 人、定点当たり 18.95 人(前年比 0.99) で男性に多い。男性では、2002 年以降、減少傾向であったものが 2009 年頃よりやや増加傾向に転じている。女性では、過去 10 年の定点当たりの報告数は減少傾向にある。月別定点当たり報告数は男性では 6 月が 2.50 人で最多、2 月と 4 月が 1.78 人で最小、女性では 8 月が 2.04 人で最多、12 月が 1.26 人で最小であった。男女とも季節変動ははっきりしないが、夏場にやや報告数が多い。年齢階級別では、男性では 20~39 歳が 932 人で男性全体の 67.1%を占め、女性では 20~29 歳が 568 人で女性全体の 54.8%を占めている。

保健所別定点当たり患者報告数では、男性は、江東区 67.50 人、文京 57.00 人、女性は、多摩立川 82.50 人、江戸川 50.50 人などが多くなっている。全国では過去 10 年、女性が男性を上回る形で推移してきたが、東京都では男女が拮抗し 2009 年後半以後は男性が女性を上回る状況が続いている。









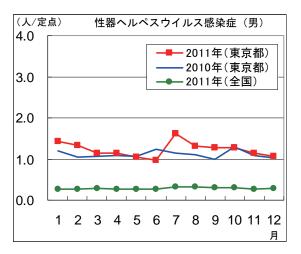
イ 性器ヘルペスウイルス感染症

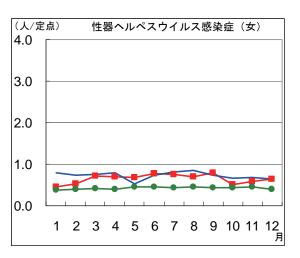
2011年の報告数は1,236人、定点当たり22.60人であった。

男女別では、男性の報告数は 808 人、定点当たり 14.77 人(前年比 1.10)、女性の報告数は 428 人、 定点当たり 7.83 人(前年比 0.90) で男性に多い。

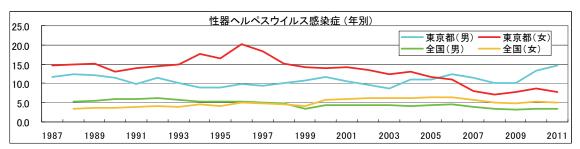
月別定点当たり報告数は男性では7月が1.62人で最多、6月が0.96人で最小となり、女性では9月が0.80人で最多、1月が0.45人で最小であった。男女とも季節変動ははっきりしないが男性では7月に報告数の増加が見られた。

年齢階級別では、男性では30~49歳が491人で男性全体の60.8%を占め、女性では20~39歳が286人で女性全体の66.8%を占めている。保健所別定点当たり患者報告数では、男性は、みなと151.50人、江東38.05人、女性は、みなと23.05人、新宿区18.43人などが多くなっている。全国では1999年以後女性が男性を上回り続け、東京都では2005年まで女性が男性を上回り続けたが2006年以後逆転している。









ウ 尖圭コンジローマ

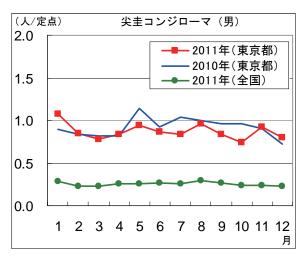
2011年の報告数は837人、定点当たり15.31人であった。

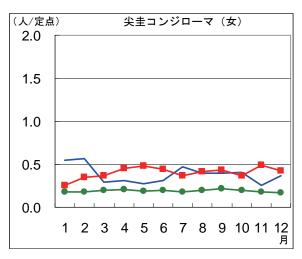
男女別では、男性の報告数は 572 人、定点当たり 10.46 人(前年比 0.95)、女性の報告数は 265 人、 定点当たり 4.85 人(前年比 1.06)で男性に多い。

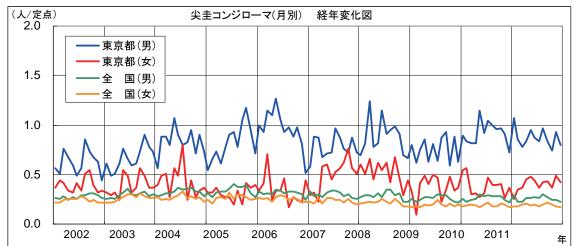
月別定点当たり報告数は男性では1月が1.07人で最多、10月が0.75人で最小、女性では11月が0.49人で最多、1月が0.25人で最小であるが、季節変動ははっきりしない。

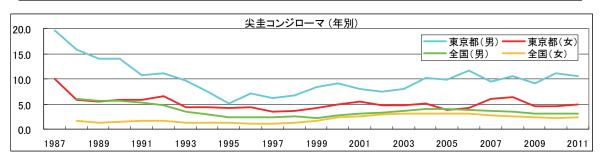
年齢階級別では、男性では 25~44 歳が 378 人で男性全体の 66.1%を占め、女性では 20~39 歳が 219 人で女性全体の 82.6%を占めている。

保健所別定点当たり患者報告数では、男性は、みなと 52.00 人、新宿区 35.86 人、女性は、みなと 14.00 人、新宿区 13.29 人などが多くなっている。全国、東京都ともに 1980 年代から男性が女性を上回り続け、東京都の男女差は全国より大きい状況が続いている。









工 淋菌感染症

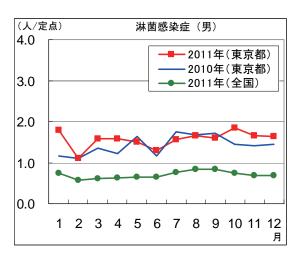
2011年の報告数は1,212人、定点当たり22.15人であった。

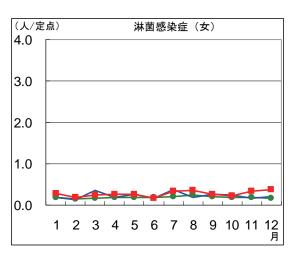
男女別では、男性の報告数は 1,029 人、定点当たり 18.81 人(前年比 1.10)、女性の報告数は 183 人、 定点当たり 3.35 人(前年比 1.23) で男性に多い。

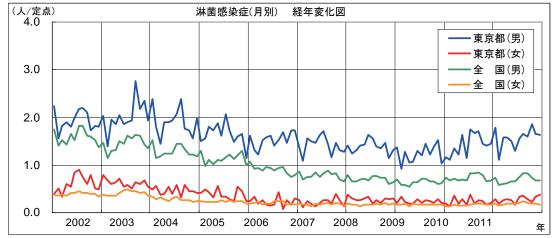
月別定点当たり報告数は男性では 10 月が 1.85 人で最多、2 月が 1.11 人で最小、女性では 12 月が 0.37 人で最多、6 月が 0.17 人で最小であった。男女とも季節変動ははっきりしないが、男性では 2 月に報告数の減少が見られた。

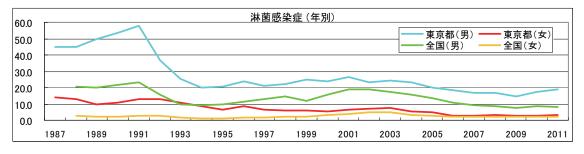
年齢階級別では、男性では 20~39 歳が 721 人で男性全体の 70.1%を占め、女性では 20~29 歳が 109 人で女性全体の 59.6%を占めている。

保健所別定点当たり患者報告数では、男性は、新宿区 59.71 人、千代田 49.50 人、女性は、多摩立川 11.00 人、池袋 10.00 人などが多くなっている。過去 10 年、国の動向と同様に減少傾向が続いていたが、2009 年以降ゆるやかな増加に転じ、今後の動向に注目を要する。









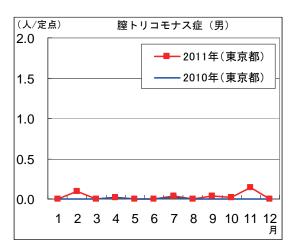
オ 膣トリコモナス症

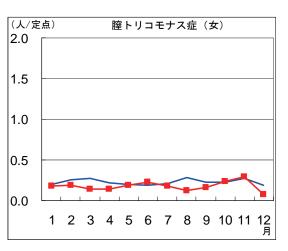
2011年の報告数は136人、定点当たり2.49人であった。

男女別では、男性の報告数は19人、定点当たり0.35人(前年比9.38)、女性の報告数は117人、定点当たり2.14人(前年比0.78)で女性に多い。男性では1月、3月、5月、6月、8月、12月は報告がなかった。男性の報告数は、前年と比べて大幅に増加した(前年の男性の報告数は2人)が、女性の報告数は前年と比べて減少した。

月別定点当たり報告数は、男性では、報告があった月では 11 月が 0.15 人で最大、4 月と 10 月が 0.02 人で最小、女性では 11 月の 0.29 人が最多、12 月の 0.07 人が最小であった。男女とも季節変動ははっきりしないが、女性では 12 月の報告数は少なかった。年齢階級別では、男性では $25\sim39$ 歳が 10 人で男性全体の 52.6%を占め、女性では $20\sim39$ 歳が 72 人で女性全体の 61.5% を占めている。

保健所別定点当たり患者報告数では、男性は、江東区 4.00 人、女性は、町田市 12.00 人などが多くなっている。過去 10 年、女性では減少傾向が続いている。









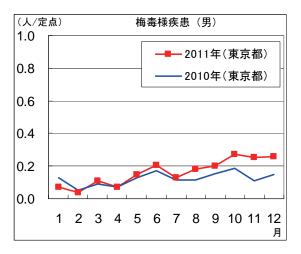
力 梅毒様疾患

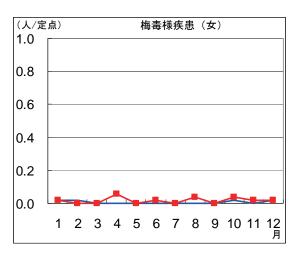
2011年の報告数は117人、定点当たり2.14人であった。

男女別では、男性の報告数は 106 人、定点当たり 1.94 人(前年比 1.32)、女性の報告数は 11 人、定点当たり 0.20 人(前年比 2.73)で男性に多い。女性では、2 月、3 月、5 月、7 月、9 月は報告がなかった。女性の報告数は前年と比べて増加した(前年の女性の報告数は 4 人)。

月別定点当たり報告数は男性で 10 月が 0.27 人で最多、2 月が 0.04 人で最小、女性では報告があった月では 4 月が 0.05 人と最多、1 月、6 月、11 月、12 月が 0.02 人と最小であった。季節変動ははっきりしないが、男性では 10 月から 12 月に報告の増加がみられた。

年齢階級別では、男性では 30~39 歳が 44 人で男性全体の 41.5%を占め、女性では 25~34 歳が 4 人で女性全体の 36.4%を占めている。保健所別定点当たり患者報告数では、男性は、新宿区 9.43 人、女性は、墨田区 1.00 人、足立 1.00 人、江戸川 1.00 人などが多くなっている。男性では 2011 年は一貫して増加傾向を示し今後の動向に注目を要する。女性では近年、報告の減少が著しい。







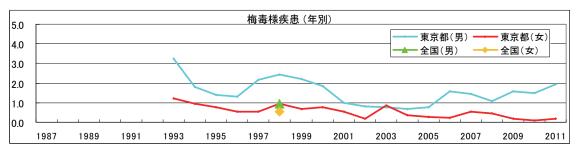


表 4 - 1 (1) 週別患者報告数 (インフルエンザ・小児科) 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

		L.	人	- total	>	-100					-				人
		報定 告点	イン	報告	感 R 染 S	咽頭	球 A 菌群	感染	水痘	手足	伝 染	突 発	百日	ル	流行
		一分数	フ	小	症ウ	結	咽溶	性	7豆.	口	性	性	咳	パ	11 性
		ン	ĺV.	児	1	膜	頭血	胄		病	紅	発	~	ン	耳
週	期間	フ	エ	科	ル	熱	炎性	腸			斑	L		ギ	下
妲	29,116,1	ルェ	ゲザ	定	ス		レ	炎				ん		ナ	腺
		エン	サ	点数			ンサ							7	炎
		ザ		双			9								
2	1. $3 \sim 1.9$ 1. $10 \sim 1.16$	413	1,770 4,141	260	123 115	127 112	340 409	1,946 2,592	594 422	17 19	116 183	113 137	17 13	7	140
3	1. 10~ 1. 10	419	10,233	264		91	622	2,813	367	13	198	172	13	4	92
4	1. 24~ 1. 30	417	13,378	262	96	84	602	2,953	307	8	205	137	20	5	91
5	1.31~ 2. 6	419	11,899	264		73	645	2,767	312	24	115	126	13	2	78
6	2. 7∼ 2.13	417	8,510	262	55	93	550	2,751	311	16	96	107	8	2	57
7	2.14~ 2.20	418	6,872	263	57	85	655	2,783	302	15	118	154	11	1	78
8	2.21~ 2.27	417	6,867	262	35	93	783	2,954	363	10	141	138	7	4	82
9	2.28~ 3.6	417	5,602	262	42	100	727	2,586	291	15	150	140	3	3	74
10	3. 7~ 3.13	414	6,730	260	29	81	724	2,626	312	13	135	129	2	5	63
11 12	$3.14 \sim 3.20$ $3.21 \sim 3.27$	414	6,316 4,037	259 261	22 16	73 65	524 443	2,110 1,347	306 280	10 5	107 85	124 105	12	2	66 83
13	3. 28~ 4. 3	412	3,192	260	20	54	404	1,347	259	12	140	147	8	5	70
14	4. 4~ 4.10	414	1,928	260	20	38	415	1,739	234	8	149	144	11	7	68
15	4.11~ 4.17	417	2,098	262	24	40	611	2,202	228	17	147	193	5	4	77
16	4.18~ 4.24	415	2,253	261	25	49	721	2,394	233	8	131	198	8	6	60
17	4.25∼ 5. 1	412	1,656	259	16	75	712	2,072	253	14	137	159	4	6	88
18	5. 2∼ 5. 8	411	566	259	11	56	390	1,488	284	14	115	109	7	8	65
19	5. 9∼ 5.15	416	308	262	10	87	660	1,878	403	18	183	176	6	14	102
20	5. 16~ 5. 22	417	202	263		108	741	1,817	312	32	230	178	11	17	96
21	5. 23~ 5. 29	412	94	261	17	126	868	1,740	452	41	164	188	8	32	78
22	$5.30 \sim 6.5$ $6.6 \sim 6.12$	415	38	260 259	16 17	163 185	896 886	1,859 1,879	334 442	71 144	189 249	169 178	9	29 65	141
24	6. 13~ 6. 19	414	11	259	15	200	699	1,736	426	185	214	230	11	88	110
25	6. 20~ 6. 26	414	11	260	20	196	688	1,401	315	349	355	198	14	194	133
26	6.27~ 7. 3	413	9	261	19	197	563	1,248	384	663	260	232	7	389	98
27	7. 4~ 7.10	417	15	263	24	200	439	1,085	293	1,325	232	183	6	885	145
28	7.11~ 7.17	415	3	261	42	264	417	1,031	272	2,177	195	200	13	1,787	109
29	7.18~ 7.24	413	3	262	46	212	302	822	155	2,497	94	208	7	1,796	115
30	7.25~ 7.31	415	3	262	62	182	303	928	161	2,878	131	189	6	2,104	94
31	8. 1∼ 8. 7	408	7	257	84	120	199	765	130	2,846	136	201	11	1,772	115
32	8. 8~ 8.14	386	9	247	_	94	136	571	98	1,983	92	148	8	1,222	79
33	8. 15~ 8. 21	394	2	246	_	61	104	506	106	1,036	58	103	0	534	57
34 35	$8.22 \sim 8.28$ $8.29 \sim 9.4$	408	2	259 261	51 93	59 63	146 159	679 740	96 103	1,100 1,171	64 95	166 206	8 12	622 675	73 58
36	9. 5~ 9. 11	414	7	262	93	65	181	852	103	1,171	77	199	9	573	81
37	9. 12~ 9. 18	409	10	256		71	182	877	112	1,056	44	194	1	502	65
38	9. 19~ 9. 25	415	8	261	_	25	145	615	95	884	23	142	6	308	72
39	9.26~10. 2	412	6	258		32	243	862	111	680	44	163	1	277	78
40	10. 3~10. 9	409	7	258	_	31	257	880	135	416	40	156	7	133	61
41	10.10~10.16	410	27	258	137	28	256	796	124	321	56	144	14	75	74
42	10.17~10.23	415	15	260		29	349	907	192	256	33	177	12	71	93
43	10. 24~10. 30	414	18	261	108	34	361	1,003	178	260	48	170	12	45	66
44	10.31~11.6	419	12	264	_	42	389	1,037	312	248	62	151	7	32	73
45 46	11. 7~11.13 11.14~11.20	411	23 36	263		56 60	436 521	1,375 1,681	282 359	179 146	58 65	185 160	10	21 25	90 81
47	11. 21~11. 27	414	29	263		60	574	1,081	438	130	63	164	8	19	80
48	11. 28~12. 4	418	35	264		76	632	2,864	500	98	57	162	5	5	101
49	12. 5~12.11	416	102	262		94	643	3,811	618	90	56	153	11	12	80
50	12. 12~12. 18	418	190	264	145	117	781	5,314	731	76	89	166	14	17	87
51	12.19~12.25	417	291	262	144	125	701	5,413	732	35	59	176	7	11	85
52	12.26~ 1. 1	397	324	251	118	85	353	3,478	514	21	34	100	8	3	52
	合 計		99,940		3,628	4,936	25,487	95,910	15,679	24,786	6,317	8,447	450	14,431	4,488

表 4-1 (2) 週別患者報告数 (小児科・眼科・基幹) 2011 年第1週~2011 年第52週

期間					人
期間			報	不	/ .
期間					
期間					7円
は、大きのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	週	期間			
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$					
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$				/===	
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$			数		
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	1	1. 3~ 1. 9	260	15	4
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2	1.10~ 1.16	264	29	5
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3	1.17~ 1.23	263	23	4
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4	1.24~ 1.30	262	15	5
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5	1.31~ 2. 6	264	17	2
$\begin{array}{c} 8 & 2.21 \sim 2.27 & 262 & 16 \\ 9 & 2.28 \sim 3. & 6 & 262 & 11 \\ 10 & 3. & 7 \sim 3.13 & 260 & 12 \\ 3. & 11 & 3.14 \sim 3.20 & 259 & 16 \\ 12 & 3.21 \sim 3.27 & 261 & 13 \\ 13 & 3.28 \sim 4. & 3 & 260 & 20 \\ 22 \\ 14 & 4. & 4 \sim 4.10 & 260 & 18 \\ 33 \\ 15 & 4.11 \sim 4.17 & 262 & 17 \\ 31 \\ 16 & 4.18 \sim 4.24 & 261 & 23 & 4 \\ 17 & 4.25 \sim 5. & 1 & 259 & 12 & 6 \\ 18 & 5. & 2 \sim 5. & 8 & 259 & 13 & 2 \\ 19 & 5. & 9 \sim 5.15 & 262 & 28 & 4 \\ 20 & 5.16 \sim 5.22 & 263 & 32 & 7 \\ 21 & 5.23 \sim 5.29 & 261 & 29 & 5 \\ 22 & 5.30 \sim 6. & 5 & 260 & 23 & 6 \\ 23 & 6. & 6 \sim 6.12 & 259 & 32 & 4 \\ 24 & 6.13 \sim 6.19 & 259 & 37 & 5 \\ 25 & 6.20 \sim 6.26 & 260 & 62 & 5 \\ 26 & 6.27 \sim 7. & 3 & 261 & 79 & 9 \\ 27 & 7. & 4 \sim 7.10 & 263 & 72 & 9 \\ 28 & 7.11 \sim 7.17 & 261 & 79 & 8 \\ 7.18 \sim 7.24 & 262 & 82 & 5 \\ 30 & 7.25 \sim 7.31 & 262 & 90 & 4 \\ 31 & 8. & 1 \sim 8. & 7 & 257 & 60 & 4 \\ 32 & 8. & 8 \sim 8.14 & 247 & 31 & 3 \\ 33 & 8.15 \sim 8.21 & 246 & 20 & 3 \\ 34 & 8.22 \sim 8.28 & 259 & 18 & 2 \\ 39 & 9.26 \sim 10. & 258 & 29 & 3 \\ 40 & 10. & 3 \sim 10. & 9 & 258 & 39 & 4 \\ 41 & 10.10 \sim 10.16 & 258 & 20 & 3 \\ 42 & 10.17 \sim 10.23 & 260 & 14 & 3 \\ 43 & 10.24 \sim 10.30 & 261 & 24 \\ 44 & 10.31 \sim 11. & 6 & 264 & 24 & 5 \\ 45 & 11. & 7 \sim 11. & 13 & 263 & 30 & 6 \\ 46 & 11.14 \sim 11.20 & 261 & 21 & 8 \\ 47 & 11.21 \sim 11.27 & 263 & 15 & 8 \\ 48 & 11.28 \sim 12.4 & 264 & 26 & 44 \\ 49 & 12. & 5 \sim 12.11 & 262 & 19 & 4 \\ 50 & 12.12 \sim 12.18 & 264 & 23 & 5 \\ 51 & 12.19 \sim 12.25 & 262 & 19 & 3 \\ 52 & 12.26 \sim 1. & 1 & 251 & 14 & 3 \\ \end{array}$	6	2. $7 \sim 2.13$	262	13	
$\begin{array}{c} 9 & 2.28 \sim 3. \ 6 & 262 & 11 & 1 \\ 10 & 3. \ 7 \sim 3.13 & 260 & 12 & 3 \\ 11 & 3.14 \sim 3.20 & 259 & 16 & 6 \\ 12 & 3.21 \sim 3.27 & 261 & 13 & 2 \\ 13 & 3.28 \sim 4. \ 3 & 260 & 20 & 2 \\ 14 & 4. \ 4 \sim 4.10 & 260 & 18 & 3 \\ 15 & 4.11 \sim 4.17 & 262 & 17 & 3 \\ 16 & 4.18 \sim 4.24 & 261 & 23 & 4 \\ 17 & 4.25 \sim 5. \ 1 & 259 & 12 & 6 \\ 18 & 5. \ 2 \sim 5. \ 8 & 259 & 13 & 2 \\ 20 & 5.16 \sim 5.22 & 263 & 32 & 7 \\ 21 & 5.23 \sim 5.29 & 261 & 29 & 5 \\ 22 & 5.30 \sim 6. \ 5 & 260 & 23 & 6 \\ 23 & 6. \ 6 \sim 6.12 & 259 & 37 & 5 \\ 25 & 6.20 \sim 6.26 & 260 & 62 & 5 \\ 26 & 6.27 \sim 7. \ 3 & 261 & 79 & 9 \\ 27 & 7. \ 4 \sim 7.10 & 263 & 72 & 9 \\ 28 & 7.11 \sim 7.17 & 261 & 79 & 8 \\ 29 & 7.18 \sim 7.24 & 262 & 82 & 5 \\ 30 & 7.25 \sim 7.31 & 262 & 90 & 4 \\ 31 & 8. \ 1 \sim 8. \ 7 & 257 & 60 & 4 \\ 32 & 8. \ 8 \sim 8.14 & 247 & 31 & 3 \\ 33 & 8.15 \sim 8.21 & 246 & 20 & 3 \\ 34 & 8.22 \sim 8.28 & 259 & 18 & 2 \\ 39 & 9.26 \sim 10. \ 2 & 258 & 22 & 7 \\ 40 & 10. \ 3 \sim 10. \ 9 & 258 & 20 & 3 \\ 41 & 10.10 \sim 10.16 & 258 & 20 & 3 \\ 44 & 10.31 \sim 11. \ 6 & 264 & 24 & 5 \\ 45 & 11. \ 7 \sim 11. \ 13 & 263 & 30 & 6 \\ 46 & 11.14 \sim 11. \ 20 & 261 & 21 & 8 \\ 47 & 11.21 \sim 11. \ 13 & 263 & 30 & 6 \\ 48 & 11.28 \sim 12. \ 11 & 262 & 19 & 4 \\ 50 & 12.12 \sim 12. \ 18 & 264 & 23 & 5 \\ 51 & 12.19 \sim 12. \ 25 & 262 & 19 & 3 \\ 52 & 12.26 \sim 1. \ 1 & 251 & 14 & 3 \\ \end{array}$	7	2.14~ 2.20	263	22	2
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	8	$2.21 \sim 2.27$	262	16	5
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	9	2.28~ 3. 6	262	11	1
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	10	3. 7∼ 3.13	260	12	3
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	11	3.14∼ 3.20	259	16	6
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	12	3. 21~ 3. 27	261	13	2
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	13	3.28~ 4. 3	260	20	2
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	14	4. 4∼ 4.10	260	18	
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	15	4.11~ 4.17	262	17	3
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	16	4.18~ 4.24	261	23	4
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	17	4.25∼ 5. 1	259	12	6
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	18	5. 2~ 5. 8	259	13	2
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	19	5. 9∼ 5.15	262	28	4
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	20	5. 16~ 5. 22	263	32	7
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	21	5. 23~ 5. 29	261	29	5
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	22	5.30∼ 6. 5	260		
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	-		259	32	4
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$			259		5
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	25	6.20~ 6.26	260	62	5
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	26	6.27∼ 7. 3	261	79	9
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	27	7. 4~ 7.10	263	72	9
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	28	7.11~ 7.17	261	79	8
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	29	7. 18~ 7. 24	262	82	5
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	30	7.25~ 7.31	262	90	4
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	31	8. 1~ 8. 7	257	60	4
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	32	8. 8~ 8.14	247	31	3
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	33	8.15~ 8.21	246	20	3
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	34	8.22~ 8.28	259	18	2
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	35	8.29∼ 9. 4	261	38	5
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	36	9. $5 \sim 9.11$	262	23	2
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	37		256	28	
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	38	9.19~ 9.25	261	28	2
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	39	9.26~10. 2	258	22	
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	40	10. 3~10. 9	258	39	4
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	41	10.10~10.16	258	20	3
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	42	10.17~10.23	260	14	3
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	43		261	24	
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	44	10.31~11.6	264	24	5
$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	45	11. $7 \sim 11.13$	263	30	6
$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	46		261	21	8
	47		263	15	8
50 12. 12~12. 18 264 23 5 51 12. 19~12. 25 262 19 3 52 12. 26~ 1. 1 251 14 3	48		264	26	4
51 12. 19~12. 25 262 19 3 52 12. 26~ 1. 1 251 14 3	49		262	19	4
52 12.26~ 1. 1 251 14 3	50	12. 12~12. 18	264	23	
	51	12. 19~12. 25	262	19	3
合 計 1,506 217	52		251	14	3
		合 計		1,506	217

		人
報	急	流
告品	性	行
眼	出血	性角
科定	灶	結
定点	結	膜
数	膜	炎
200	出血性結膜炎	
38	1	19
37	1	14
37		13
38		6
38		13
38	2	11
37		12
37	2	10
38		10
37	1	10
36	1	14
37	1	11
37		11
37	1	14
38 37	1	16
		10
35		10
37		24
37		16
37 37		11 20
	1	12
38	1	19
37 38	3	20
37	3	20
37		17
37		12
36	4	20
36	1	23
38		14
38	1	24
34		26
35	1	21
38		21
37	1	24
37	1	22
37		21
37		12
37		17
37		17
37		12
38	1	16
37	1	16
38	2	14
37		20
37		15
37		20
38		14
37	0	19
37 38	2	19
		24
38	31	16 842
	31	044

					人
報告 基	細	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム:	インフルエンザ入院
告 生	菌性髄膜炎	困	7 7	(オウム病は除く)クラミジア肺炎	フ
<u>本</u>	酷	酷	プ	ムジ	ル
定	膜	膜	ラ	病ア	エ
点	炎	炎	スマ	病は除く	ザ
数			肺	が炎	入
			炎)	院
23			11	1	
24	2	1	5	1	
24	1		11	2	
24	1	1	11	1	
24		1	14	1	
23	1	1	14	1	
24 24	1 2	1	14 18	1	
24	2	1	10	2	
24		1	15	1	
23	1	1	10	1	
24	1	1	8		
24			6		
23			7		
23			8		
24	3	1	11		
24	2	1	4		
24	1		11		
23			5		
24	1	1	4		
23	1		9	1	
24		1	7		
23	2		7		
24	1		10	1	
24	1		13		
24	1	1	18		
23			15		
24	2	1	16		
24	2		14		
24	1	6	23		
24		1	21		
23	1	2	21		
25	1	4	17		
24		3	19		
25	3	5	24		
24	3	2	33	1	
25	1	5	37		
25	4	5	34	1	
25	1	8	32	1	
25	1	4	55 55		1
24	1	5			1
25 25	1 2	2	34 42		
24	∠	6	39		
25	1	4	39		1
25	1	2	42	1	1
25	1	4	66	1	
25	3	2	40	1	
25	1	1	52	1	1
25	3	4	41	-	1
25	2	2	33		1
25	1	5	38		7
	52	96	1,143	18	12

表 4-2 (1) 週別定点当たり患者報告数 (インフルエンザ・小児科) 2011 年第1週~2011 年第52週

			人/定点											人	/定点
		報定 告点	イン	報告	感 R 染 S	咽 頭	球 A 菌群	感染	水痘	手足	伝染	突発	百日	ル	流行
		イ数	フ	小	症ウ	結	咽溶	性	/		性	性	咳	パ	性
		ンフ	ルエ	児科	イル	膜 熱	頭血炎性	胃腸		病	紅斑	発 し		ンギ	耳 下
週	期間	ル	ン	定	ス	7111	レ	炎				ん		Ì	腺
		エン	ザ	点数			ンサ							ナ	炎
		ザ													
1	1. 3~ 1. 9	413	4.29	260	0.47	0.49	1.31	7.48	2.28	0.07	0.45	0.43	0.07	0.02	0.54
2	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	419	9.88	264	0.44	0.49	1.55	9.82	1.60	0.07	0.43	0.43	0.07	0.02	0.34
3	1. 17~ 1. 23	417	24.54	263	0.44	0.35	2.37	10.70	1.40	0.05	0.75	0.65	0.05	0.02	0.35
4	1.24~ 1.30	417	32.08	262	0.37	0.32	2.30	11.27	1.17	0.03	0.78	0.52	0.08	0.02	0.35
5	1.31~ 2. 6	419	28.40	264	0.28	0.28	2.44	10.48	1.18	0.09	0.44	0.48	0.05	0.01	0.30
6	2. 7∼ 2.13	417	20.41	262	0.21	0.35	2.10	10.50	1.19	0.06	0.37	0.41	0.03	0.01	0.22
7	2. 14~ 2. 20	418	16.44	263	0.22	0.32	2.49	10.58	1.15	0.06	0.45	0.59	0.04	0.00	0.30
8	$2.21 \sim 2.27$ $2.28 \sim 3.6$	417	16.47 13.43	262 262	0.13	0.35	2.99	9.87	1.39	0.04	0.54	0.53	0.03	0.02	0.31
10	3. 7~ 3.13	414	16.26	260	0.11	0.31	2.78	10.10	1.20	0.05	0.52	0.50	0.01	0.02	0.24
11	3.14~ 3.20	414	15.26	259	0.08	0.28	2.02	8.15	1.18	0.04	0.41	0.48	0.01	0.01	0.25
12	3.21∼ 3.27	415	9.73	261	0.06	0.25	1.70	5.16	1.07	0.02	0.33	0.40	0.05	0.01	0.32
13	3.28∼ 4. 3	412	7.75	260	0.08	0.21	1.55	5.36	1.00	0.05	0.54	0.57	0.03	0.02	0.27
14	4. 4~ 4.10	414	4.66	260	0.08	0.15	1.60	6.69	0.90	0.03	0.57	0.55	0.04	0.03	0.26
15 16	$4.11 \sim 4.17$ $4.18 \sim 4.24$	417	5.03 5.43	262	0.09	0.15	2.33	8.40 9.17	0.87	0.06	0.56	0.74	0.02	0.02	0.29
17	4. 25~ 5. 1	412	4.02	259	0.10	0.19	2.75	8.00	0.89	0.05	0.53	0.61	0.03	0.02	0.23
18	5. 2∼ 5. 8	411	1.38	259	0.04	0.22	1.51	5.75	1.10	0.05	0.44	0.42	0.03	0.03	0.25
19	5. 9∼ 5.15	416	0.74	262	0.04	0.33	2.52	7.17	1.54	0.07	0.70	0.67	0.02	0.05	0.39
20	5. 16∼ 5. 22	417	0.48	263	0.05	0.41	2.82	6.91	1.19	0.12	0.87	0.68	0.04	0.06	0.37
21	5. 23~ 5. 29	412	0.23	261	0.07	0.48	3.33	6.67	1.73	0.16	0.63	0.72	0.03	0.12	0.30
22	$5.30 \sim 6.5$ $6.6 \sim 6.12$	415	0.09	260 259	0.06	0.63	3.45	7.15 7.25	1.28	0.27	0.73	0.65	0.03	0.11	0.54
24	6. 13~ 6. 19	414	0.03	259	0.07	0.71	2.70	6.70	1.64	0.71	0.83	0.89	0.03	0.25	0.43
25	6.20~ 6.26	414	0.03	260	0.08	0.75	2.65	5.39	1.21	1.34	1.37	0.76	0.05	0.75	0.51
26	6.27∼ 7. 3	413	0.02	261	0.07	0.75	2.16	4.78	1.47	2.54	1.00	0.89	0.03	1.49	0.38
27	7. 4~ 7.10	417	0.04	263	0.09	0.76	1.67	4.13	1.11	5.04	0.88	0.70	0.02	3.37	0.55
28 29	$7.11 \sim 7.17$ $7.18 \sim 7.24$	415	0.01	261	0.16	0.81	1.60 1.15	3.95 3.14	1.04 0.59	8.34 9.53	0.75	0.77	0.05	6.85 6.85	0.42
30	$7.16 - 7.24$ $7.25 \sim 7.31$	415	0.01	262	0.18	0.69	1.16	3.54	0.61	10.98	0.50	0.72	0.03	8.03	0.36
31	8. 1~ 8. 7	408	0.02	257	0.33	0.47	0.77	2.98	0.51	11.07	0.53	0.78	0.04	6.89	0.45
32	8. 8~ 8.14	386	0.02	247	0.25	0.38	0.55	2.31	0.40	8.03	0.37	0.60	0.03	4.95	0.32
33	8. 15~ 8. 21	394	0.01	246	0.21	0.25	0.42	2.06	0.43	4.21	0.24	0.42		2.17	0.23
34 35	$8.22 \sim 8.28$ $8.29 \sim 9.4$	408	0.00	259 261	0.20	0.23	0.56	2.62 2.84	0.37	4.25	0.25	0.64	0.03	2.40	0.28
36	9. 5~ 9.11	416	0.00	262	0.37	0.24	0.69	3.25	0.40	4.34	0.29	0.76	0.03	2.19	0.22
37	9.12~ 9.18	409	0.02	256	0.49	0.28	0.71	3.43	0.44	4.13	0.17	0.76	0.00	1.96	0.25
38	9.19~ 9.25	415	0.02	261	0.40	0.10	0.56	2.36	0.36	3.39	0.09	0.54	0.02	1.18	0.28
39	9.26~10. 2	412	0.01	258	0.68	0.12	0.94	3.34	0.43	2.64	0.17	0.63	0.00	1.07	0.30
40	10. 3~10. 9	409	0.02	258	0.56	0.12	1.00	3.41	0.52	1.61	0.16	0.60	0.03	0.52	0.24
41	$10.10 \sim 10.16$ $10.17 \sim 10.23$	410	0.07	258 260	0.53	0.11	0.99 1.34	3.09 3.49	0.48	0.98	0.22	0.56	0.05	0.29	0.29
43	$10.17 \sim 10.23$ $10.24 \sim 10.30$	413	0.04	261	0.49	0.11	1.34	3.49	0.74	1.00	0.13	0.65	0.05	0.27	0.36
44	10.31~11. 6	419	0.03	264	0.37	0.16	1.47	3.93	1.18	0.94	0.23	0.57	0.03	0.12	0.28
45	11. 7~11.13	411	0.06	263	0.29	0.21	1.66	5.23	1.07	0.68	0.22	0.70	0.04	0.08	0.34
46	11.14~11.20	414	0.09	261	0.36	0.23	2.00	6.44	1.38	0.56	0.25	0.61	0.03	0.10	0.31
47	11. 21~11. 27	417	0.07	263	0.43	0.23	2.18	7.39	1.67	0.49	0.24	0.62	0.03	0.07	0.30
48	$11.28 \sim 12.4$ $12.5 \sim 12.11$	418	0.08	264	0.42	0.29	2.39	10.85 14.55	1.89 2.36	0.37	0.22	0.61	0.02	0.02	0.38
50	12. 12~12. 18	418	0.45	264	0.55	0.44	2.46	20.13	2.77	0.29	0.34	0.63	0.05	0.06	0.33
51	12. 19~12. 25	417	0.70	262	0.55	0.48	2.68	20.66	2.79	0.13	0.23	0.67	0.03	0.04	0.32
52	12.26~ 1. 1	397	0.82	251	0.47	0.34	1.41	13.86	2.05	0.08	0.14	0.40	0.03	0.01	0.21
	平 均		4.53		0.26	0.36	1.84	6.94	1.13	1.81	0.46	0.61	0.03	1.05	0.33

表4-2(2)週別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2011年第1週~2011年第52週

			J	/定点
週	期間	報告小児科定点数	不明発しん症	川崎病
1	1. 3~ 1. 9	260	0.06	0.02
2	1. 10~ 1. 16	264	0.11	0.02
3	1.17~ 1.23	263	0.09	0.02
4	1.24~ 1.30	262	0.06	0.02
5	1.31~ 2. 6	264	0.06	0.01
6	2. 7~ 2.13	262	0.05	0.01
7	2.14~ 2.20	263	0.08	0.01
8	$2.21 \sim 2.27$ $2.28 \sim 3.6$	262	0.06	0.02
9	$2.28 \sim 3.6$ $3.7 \sim 3.13$	262 260	0.04	0.00
11	3. 14~ 3. 20	259	0.06	0.01
12	3. 21~ 3. 27	261	0.05	0.01
13	3.28~ 4. 3	260	0.08	0.01
14	4. 4~ 4.10	260	0.07	0.01
15	4.11~ 4.17	262	0.06	0.01
16	4.18~ 4.24	261	0.09	0.02
17	$4.25 \sim 5.1$ 5. $2 \sim 5.8$	259	0.05	0.02
18 19	$5. 2 \sim 5. 8$ $5. 9 \sim 5.15$	259 262	0.05	0.01
20	$5. \ 9 \ 5. \ 13$ $5. \ 16 \sim 5. \ 22$	263	0.11	0.02
21	5. 23~ 5. 29	261	0.12	0.02
22	5.30~ 6. 5	260	0.09	0.02
23	6. 6∼ 6.12	259	0.12	0.02
24	6.13~ 6.19	259	0.14	0.02
25	6. 20~ 6. 26	260	0.24	0.02
26	6.27~ 7. 3	261	0.30	0.03
27 28	7. $4 \sim 7.10$ 7. $11 \sim 7.17$	263 261	0.27	0.03
29	7.11° 7.11° 7.11° 7.11° 7.11°	262	0.30	0.03
30	7. 25~ 7. 31	262	0.34	0.02
31	8. 1~ 8. 7	257	0.23	0.02
32	8. 8~ 8.14	247	0.13	0.01
33	8.15~ 8.21	246	0.08	0.01
34	8. 22~ 8. 28	259	0.07	0.01
35 36	8. 29~ 9. 4 9. 5~ 9. 11	261 262	0.15	0.02
37	9. 3° 9. 11 9. 12~ 9. 18	256	0.09	0.01
38	9. 19~ 9. 25	261	0.11	0.01
39	9.26~10. 2	258	0.09	0.03
40	10. 3~10. 9	258	0.15	0.02
41	10.10~10.16	258	0.08	0.01
42	10.17~10.23	260	0.05	0.01
43	10. 24~10. 30	261	0.09	0.00
44	10.31~11. 6 11. 7~11.13	264 263	0.09	0.02
45	$\frac{11. 7 \sim 11.13}{11.14 \sim 11.20}$	261	0.11	0.02
47	11. 21~11. 27	263	0.06	0.03
48	11. 28~12. 4	264	0.10	0.02
49	12. 5~12.11	262	0.07	0.02
50	12. 12~12. 18	264	0.09	0.02
51	12. 19~12. 25	262	0.07	0.01
52	12.26~ 1. 1 平 均	251	0.06	0.01
Ш	平 均	L	0.11	0.02

	J	/定点
報	急	流
告	性	行
眼	出	性
科	ÍI.	角
定	性	結
点数	結 膜	膜 炎
奴	炎	9X
20		0.50
38	0.03	0.50
37	0.03	
37		0.35
38		0.16
38	0.05	0.34
38	0.05	0.29
37	0.05	0.32
37	0.05	0.27
38	0.00	0.26
37	0.03	0.27
36	0.03	0.39
37	0.03	0.30
37	_	0.30
37	0.03	0.38
38	0.03	0.42
37		0.27
35		0.29
37		0.65
37		0.43
37		0.30
37		0.54
38	0.03	0.32
37	0.03	0.51
38	0.08	0.53
37		0.54
37		0.46
37		0.32
36	0.11	0.56
36	0.03	0.64
38		0.37
38	0.03	0.63
34		0.76
35	0.03	0.60
38		0.55
37	0.03	0.65
37	0.03	0.59
37		0.57
37		0.32
37		0.46
37		0.46
37		0.32
38	0.03	0.42
37	0.03	0.43
38	0.05	0.37
37		0.54
37		0.41
37		0.54
38		0.37
37		0.51
37	0.05	0.51
38		0.63
38		0.42
30	0.02	0.44
	0.04	0.11

				Д	/定点
報	細	無	マ	<u> </u>	イ
告	菌	菌	イコプ	オラ	ンフ
基	性	性	プ	リミム	ル
幹 定	髄 膜	髄 膜	ラズ	(オウム病はクラミジア時	エ
点	炎	炎	ズ	は肺炎	フルエンザ入
数	,	,	マ 肺	际炎	サス
			炎	Ò	院
23			0.48	0.04	
24	0.08	0.04	0.21	0.04	
24	0.04		0.46	0.08	
24	0.04		0.46		
24		0.04	0.58	0.04	
23		0.04	0.61		
24	0.04	0.04	0.58	0.04	
24	0.08	0.04	0.75		
24		0.04	0.42	0.08	
24			0.63	0.04	
23	0.04	0.04	0.43		
24			0.33		
24			0.25		
23			0.30		
23			0.35		
24	0.13	0.04	0.46		
24	0.08		0.17		
24	0.04		0.46		
23			0.22		
24	0.04	0.04	0.17		
23	0.04		0.39	0.04	
24		0.04	0.29		
23	0.09		0.30		
24	0.04		0.42	0.04	
24	0.04		0.54		
24	0.04	0.04	0.75		
23			0.65		
24	0.08	0.04	0.67		
24	0.08		0.58		
24	0.04	0.25	0.96		
24		0.04	0.88		
23	0.04	0.09	0.91		
25	0.04	0.16	0.68		
24	0.10	0.13	0.79		
25	0.12	0.20	0.96	0.04	
24	0.13	0.08	1.38	0.04	
25	0.04	0.20	1.48	0.04	
25	0.04	0.20	1.36	0.04	
25	0.04	0.32	1.28	0.04	
25	0.04		2.20		0.04
24 25	0.04	0.21	2.29		0.04
25 25	0.04	0.08	1.36		
24	0.08	0.08	1.63		
25	0.04	0.25	1.56		0.04
25	0.04	0.10	1.68	0.04	0.04
25	0.04	0.16	2.64	0.04	
25	0.12	0.10	1.60	0.04	
25	0.12	0.04	2.08	0.04	0.04
25	0.12	0.16	1.64	0.01	0.04
25	0.08	0.08	1.32		0.04
25	0.04	0.20	1.52		0.28
	0.04	0.08	0.90	0.01	0.01

		人		n 1		. 6	P.			-				人
保健所	設置インフルエンザ定点数	インフルエンザ	設置小児科定点数	感染症	咽頭結膜熱	球菌咽頭炎A群溶血性レンサ	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4	326	3	28	4	36	283	69	60	41	28	1	66	7
中央区	5	706	3	7	25	93	383	175	307	35	113	1	113	34
みなと	9	1,598	6	169	194	341	1,997	306	772	141	223	27	242	77
新宿区	12	1,456	8	225	128	475	1,581	288	361	73	150	9	274	107
文京	7	1,203	4	34	33	182	614	92	204	60	70		116	48
台東	7	1,161	4	55	44	323	1,796	237	224	91	136		238	74
墨田区	8	1,472	5	109	116	430	1,028	282	335	171	183	1	186	29
江東区	14	3,603	9	213	162	940	5,930	717	1,456	210	408	12	784	195
品川区	12	1,679	8	40	110	653	3,055	451	582	112	240		272	50
目黒区	8	785	5	14	22	149	966	118	224	39	78		95	35
大田区	21	4,824	13	480	486	1,634	7,023	715	1,518	496	448	53	706	212
世田谷	25	6,243	16	162	335	1,702	5,667	749	1,460	336	403	7	861	236
渋谷区	7	793	4	33	52	132	932	132	388	53	74	3	65	34
中野区	11	1,717	7	72	28	353	2,494	270	656	67	157	1	360	112
杉並	16	3,498	10	40	45	739	3,573	360	681	225	227	3	226	161
池袋	8	1,374	5	13	18	74	722	43	148	17	55	16	61	17
北区	11	1,926	7	18	20	270	1,660	261	420	70	213		374	115
荒川区	7	1,924	4	264	168	557	2,030	246	469	95	206	50	561	77
板橋区	16	1,752	10	43	76	253	1,976	371	329	293	234	9	243	149
練馬区	21	5,024	13	48	226	1,331	4,532	966	1,179	318	436	57	926	237
足立	20	5,108	13	123	185	1,286	5,511	731	552	200	426	42	1,314	121
葛飾区	13	3,807	8	26	59	637	3,042	414	460	110	276	1	600	142
江戸川	19	5,991	12	140	369	1,686	5,638	736	792	275	438	13	1,340	159
八王子市	18	7,014	11	211	285	2,228	6,842	1,092	2,098	499	560	21	544	392
町田市	13	5,593	8	69	85	2,120	4,834	1,166	938	178	339	15	826	148
西多摩	14	2,947	8	58	155	372	2,094	499	733	218	135	8	189	64
南多摩	14	3,864	9	167	157	810	3,635	593	1,434	295	358	3	556	382
多摩立川	21	5,510	14	227	177	1,106	4,293	957	1,434	314	380	24	403	266
多摩府中	33	9,740	21	214	471	2,022	6,001	1,493	2,512	704	713	45	765	398
多摩小平	23	6,751	15	322	696	2,542	5,776	1,095	1,976	564	728	28	1,107	386
島しょ	2	551	1	4	5	11	2	55	84	17	12		18	24
合 計	419	99,940	264	3,628	4,936	25,487	95,910	15,679	24,786	6,317	8,447	450	14,431	4,488
定点当たり報		240.03		13.94	18.95	97.66	367.56	60.11	95.84	24.23	32.44	1.73	55.78	17.23
前年定点当たり幸		43.97		14.52	13.37	75.80	427.41	63.93	42.52	19.79	29.74	3.42	57.06	34.87
当年/前年	Ē.	5.46		0.96	1.42	1.29	0.86	0.94	2.25	1.22	1.09	0.50	0.98	0.49

表 5-1 (2) 保健所別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2011 年第1週~2011 年第52週

			人
保健所	設置小児科定点数	不明発しん症	川崎病
千代田	3	10	15
中央区	3	3	5
みなと	6	8	8
新宿区	8	36	13
文京	4	16	
台東	4	3	1
墨田区	5	52	3
江東区	9	75	6
品川区	8	18	4
目黒区	5	1	1
大田区	13	121	12
世田谷	16	149	10
渋谷区	4	6	
中野区	7	34	
杉並	10	20	3
池袋	5		
北区	7	19	6
荒川区	4	57	19
板橋区	10	82	4
練馬区	13	31	7
足立	13	33	4
葛飾区	8	55	7
江戸川	12	71	4
八王子市	11	105	5
町田市	8	144	6
西多摩	8	17	4
南多摩	9	17	9
多摩立川	14	79	9
多摩府中	21	126	16
多摩小平	15	118	34
島しょ	1		2
合 計	264	1,506	217
定点当たり		5.78	0.83
前年定点当た		4.21	0.60
当年/前	前年	1.37	1.39

		人
設置眼科定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
1		48
2		52
1		56
1	1	9
1		26
1	1	10
1		14
2	1	21
2	7	21
1		35
1		15
1		38
1	1	19
1	1	13
1	1	37
2		14
2	10	46
2	12	79
1	2	33
	2	
1		39
1		7
1		9
2		16
3	2	38
2		106
39	31	842
	0.84	22.73
	1.91	24.60
	0.44	0.92

					人
設置基幹定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病は除く) クラミジア肺炎	インフルエンザ入院
2	1	1	33	1	2
1	3	4	5		
2	9	17	177	7	
1		2	12		
1	2	21	25		
1	3	3	37		1
2	7	17	26		1
1			18	1	2
1			1		
1	3	4		1	
1		1	8		
1	1		12		2
1			391	7	1
1			2		
	_				
1	5	3	36		
1		10	101		
3	15	18	134	1	2
2	3	5	222		1
1	F0	0.0	1 142	10	10
25	52	96	1,143	18	12
	2.14	3.91	46.78	0.74	0.48
	0.76	1.61	17.76	0.85	
	2.80	2.42	2.63	0.88	

表 5 - 2 (1) 保健所別定点当たり患者報告数 (インフルエンザ・小児科) 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

	58. da	人/定点		. 15 =	-t-1	b	. 18							人/定点
保健所	設置インフルエンザ定点数	インフルエンザ	設置小児科定点数	感染症	咽頭結膜熱	球菌咽頭炎A群溶血性レンサ	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4	81.50	3	9.33	1.33	12.00	94.33	23.00	20.00	13.67	9.33	0.33	22.00	2.33
中央区	5	141.20	3	2.33	8.33	31.00	127.67	58.33	102.33	11.67	37.67	0.33	37.67	11.33
みなと	9	179.76	6	28.37	32.77	57.67	336.80	51.57	128.70	23.67	37.40	4.50	40.33	13.00
新宿区	12	121.95	8	28.48	16.29	60.55	199.45	36.86	46.09	9.46	19.13	1.13	35.20	13.41
文京	7	177.55	4	8.75	9.42	53.42	163.58	25.75	59.75	18.25	18.75		34.92	13.33
台東	7	165.86	4	13.75	11.00	80.75	449.00	59.25	56.00	22.75	34.00		59.50	18.50
墨田区	8	184.00	5	21.80	23.20	86.00	205.60	56.40	67.00	34.20	36.60	0.20	37.20	5.80
江東区	14	257.36	9	23.67	18.00	104.44	658.89	79.67	161.78	23.33	45.33	1.33	87.11	21.67
品川区	12	139.92	8	5.00	13.75	81.63	381.88	56.38	72.75	14.00	30.00		34.00	6.25
目黒区	8	98.13	5	2.85	4.55	29.85	195.65	23.60	46.80	7.85	15.75		20.35	7.20
大田区	21	231.99	13	37.60	38.06	127.83	548.46	55.63	119.30	38.98	35.19	4.11	55.66	16.51
世田谷	25	249.77	16	10.24	21.08	106.68	355.53	47.02	92.21	21.09	25.31	0.44	54.47	14.83
渋谷区	7	115.41	4	8.42	13.00	33.25	237.75	34.33	97.08	13.67	19.00	0.75	16.25	8.50
中野区	11	156.09	7	10.29	4.00	50.43	356.29	38.57	93.71	9.57	22.43	0.14	51.43	16.00
杉並	16	218.63	10	4.00	4.50	73.90	357.30	36.00	68.10	22.50	22.70	0.30	22.60	16.10
池袋	8	176.58	5	2.80	3.70	15.57	156.03	9.25	32.17	3.72	11.90	3.57	14.08	3.78
北区	11	175.27	7	2.69	2.93	39.05	239.96	37.92	63.04	10.25	31.20		56.45	17.06
荒川区	7	274.86	4	67.00	42.25	139.50	509.00	61.75	123.50	23.75	52.25	12.50	143.25	19.25
板橋区	16	109.56	10	4.31	7.61	25.34	198.57	37.36	33.06	29.33	23.60	0.90	24.33	14.92
練馬区	21	239.24	13	3.69	17.40	102.44	348.82	74.33	91.44	24.48	33.60	4.40	72.06	18.29
足立	20	256.07	13	9.63	14.45	99.91	427.68	56.85	43.48	15.51	33.19	3.26	102.41	9.39
葛飾区	13	293.08	8	3.25	7.39	80.44	381.96	52.28	60.26	14.07	34.63	0.13	81.75	18.01
江戸川	19	323.76	12	11.93	31.28	142.95	479.48	62.46	67.01	23.41	37.17	1.12	112.90	13.41
八王子市	18	389.67	11	19.18	25.91	202.55	622.00	99.27	190.73	45.36	50.91	1.91	49.45	35.64
町田市	13	430.23	8	8.63	10.63	265.00	604.25	145.75	117.25	22.25	42.38	1.88	103.25	18.50
西多摩	14	210.85	8	7.25	19.39	46.55	262.63	62.52	91.63	27.32	16.89	1.00	23.63	8.00
南多摩	14	276.07	9	18.95	17.59	90.54	407.52	66.51	162.91	33.06	40.21	0.33	63.28	42.82
多摩立川	21	262.41	14	16.27	13.00	80.03	308.80	68.95	102.55	22.86	27.35	1.74	28.80	19.09
多摩府中	33	301.48	21	10.76	23.73	101.10	299.11	74.46	128.77	35.18	36.04	2.27	39.91	19.93
多摩小平	23	293.52	15	21.47	46.40	169.47	385.07	73.00	131.73	37.60	48.53	1.87	73.80	25.73
島しょ	2	275.50	1	4.00	5.00	11.00	2.00	55.00	84.00	17.00	12.00		18.00	24.00
定点当たり	報告数	240.03		13.94	18.95	97.66	367.56	60.11	95.84	24.23	32.44	1.73	55.78	17.23
前年定点当た	り報告数	43.97		14.52	13.37	75.80	427.41	63.93	42.52	19.79	29.74	3.42	57.06	34.87
当年/前	 方年	5.46		0.96	1.42	1.29	0.86	0.94	2.25	1.22	1.09	0.50	0.98	0.49

表5-2(2)保健所別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹)2011年第1週~2011年第52週

			人/定点
保健所	設置小児科定点数	不明発しん症	川崎病
千代田	3	3.33	5.00
中央区	3	1.00	1.67
みなと	6	1.33	1.33
新宿区	8	4.59	1.63
文京	4	5.33	
台東	4	0.75	0.25
墨田区	5	10.40	0.60
江東区	9	8.33	0.67
品川区	8	2.25	0.50
目黒区	5	0.25	0.20
大田区	13	9.51	0.96
世田谷	16	9.39	0.63
渋谷区	4	1.50	
中野区	7	4.86	
杉並	10	2.00	0.30
池袋	5		
北区	7	3.05	0.86
荒川区	4	14.25	4.75
板橋区	10	8.21	0.40
練馬区	13	2.40	0.54
足立	13	2.61	0.31
葛飾区	8	7.08	0.88
江戸川	12	5.94	0.33
八王子市	11	9.55	0.45
町田市	8	18.00	0.75
西多摩	8	2.13	0.50
南多摩	9	1.90	1.03
多摩立川	14	5.67	0.65
多摩府中	21	6.39	0.81
多摩小平	15	7.87	2.27
島しょ	1		2.00
定点当たり	報告数	5.78	0.83
前年定点当た	り報告数	4.21	0.60
当年/前		1.37	1.39

	,	人/定点
設置眼科定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
1		48.00
2		40.00
1		56.00
1	1.00	9.00
1		26.00
1	1.00	10.00
1		14.00
2	0.50	10.50
2	3.50	11.50
1		35.00
1		15.00
1		38.00
1	1.00	19.00
1	1.00	13.00
1	1.00	37.00
2		7.00
2		23.00
2	6.00	39.50
1	2.00	41.00
2	1.00	18.00
2		19.50
1		
1		7.00
1		9.00
2		8.00
3	1.00	18.83
2		53.00
 		
	0.84	22.73
	1.91	24.60
	0.44	0.92

				,	人/定点
設置基幹定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病は除く)クラミジア肺炎	インフルエンザ入院
2	0.50	0.50	16.50	0.50	1.00
1	3.00	4.00	5.00		
2	4.50	8.50	88.50	3.50	
1		2.00	12.00		
1	2.00	21.00	25.00		
1	3.00	3.00	37.00		1.00
2	3.50	8.50	13.00		0.50
1			18.00	1.00	2.00
1			1.00		
1	3.00	4.00		1.00	
1		1.00	8.00		
1	1.00		12.00		2.00
-			001.00	7.00	1.00
1			391.00	7.00	1.00
1			2.00		
1	5.00	3.00	36.00		
1					
3	5.33	6.33	48.83	0.33	0.66
2	1.50	2.50	111.00		0.50
1			4.00		
	2.14	3.91	46.78	0.74	0.48
	0.76	1.61	17.76	0.85	
	2.80	2.42	2.63	0.88	

表 6-1 年齢階級別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2011 年第1週~2011 年第52週

	人												人
年齢階級	インフルエンザ		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	球菌咽頭炎 A群溶血性レンサ	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
6か月未満	230		595	25	19	1,025	228	216	10	200	31	133	3
12 か月未満	974		903	266	118	6,714	840	2,263	130	3,314	31	1,326	12
1歳	2,960		1,327	1,008	675	14,566	2,270	7,214	353	4,114	31	3,381	168
2歳	3,343		417	673	1,182	10,024	2,573	4,655	463	581	10	2,627	296
3歳	4,780		212	814	2,369	9,131	2,593	3,493	689	107	12	2,302	545
4歳	7,196		87	732	3,414	8,716	2,468	2,557	1,009	51	9	1,635	756
5歳	7,695		38	493	3,637	7,083	1,860	1,694	1,032	29	6	1,114	748
6歳	8,527		16	273	3,481	5,680	1,109	870	851	12	10	647	523
7歳	8,919		3	160	2,967	4,922	664	517	610	14	15	407	426
8歳	7,517		6	114	2,091	3,970	415	314	433	8	8	244	323
9歳	5,890		4	84	1,458	3,382	205	220	266	2	19	184	196
10~14歳	16,334		9	141	2,531	8,333	343	329	310	9	47	248	342
15~19歳	3,566	L	1	9	213	1,738	21	37	12		16	32	28
20~29歳	5,641		10	144	1,332	10,626	90	407	149	6	205	151	122
30~39歳	7,472												
40~49歳	5,403												
50~59歳	1,991												
60~69歳	982												
70~79歳	393												
80歳以上	127												
合 計	99,940	L	3,628	4,936	25,487	95,910	15,679	24,786	6,317	8,447	450	14,431	4,488

注: 小児科定点把握対象疾病の「20~29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

表6-2 年齢階級別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2011 年第1週~2011 年第52週

		人		人					人
年齢階級	不明発しん症	川 病病	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病は除く) クラミジア肺炎	インフルエンザ入院
6か月未満	71	16		4	10	16	2		
12 か月未満	261	40	1	7	7	1	8		
1歳	506	61	2	21	3	1	77		
2歳	224	32		18	1		91		2
3歳	112	21	1	22	1	3	90		
4歳	92	22	1	11		3	125		1
5歳	69	8	1	13	2	2	77		1
6歳	44	7	2	11	2	4	87		
7歳	22	2		3		3	85		1
8歳	22	2		14		4	95		
9歳	18	2	1	6	1	2	67		
10~14歳	33	3	2	27	4	14	187	2	
15~19歳	6	1	2	19		5	42	1	
20~29歳	26		3	146	3	10	34	1	
30~39歳			6	207	1	16	36	2	1
40~49歳			2	159	4	7	18	3	
50~59歳			3	68	2	1	5	4	
60~69歳			3	48	5	1	8		
70~79歳			1	38	3	3	5	1	2
80歳以上					3		4	4	4
合 計	1,506	217	31	842	52	96	1,143	18	12

注:小児科定点把握対象疾病の「20~29歳」は「20歳以上」と読みかえる。 注:眼科疾患の「70~79歳」は「70歳以上」と読みかえる。

表 7 - 1 (1) 二次医療圏別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

		人													人
二次医療圈	設置インフルエンザ定点数	インフルエンザ		設置小児科定点数	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	球菌咽頭炎 A群溶血性レンサ	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	くルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	4,994		20	293	300	975	5,073	879	1,567	368	570	29	775	240
2 区南部圏	33	6,503		21	520	596	2,287	10,078	1,166	2,100	608	688	53	978	262
3 区西南部圏	40	7,821		25	209	409	1,983	7,565	999	2,072	428	555	10	1,021	305
4 区西部圏	39	6,671		25	337	201	1,567	7,648	918	1,698	365	534	13	860	380
5 区西北部圏	56	10,076		35	122	340	1,928	8,890	1,641	2,076	698	938	82	1,604	518
6 区東北部圏	40	10,839		25	413	412	2,480	10,583	1,391	1,481	405	908	93	2,475	340
7 区東部圏	41	11,066		26	462	647	3,056	12,596	1,735	2,583	656	1,029	26	2,310	383
8 西多摩圏	14	2,947		8	58	155	372	2,094	499	733	218	135	8	189	64
9 南多摩圏	45	16,471		28	447	527	5,158	15,311	2,851	4,470	972	1,257	39	1,926	922
10 北多摩西部圏	21	5,510	֓֟ ֡	14	227	177	1,106	4,293	957	1,434	314	380	24	403	266
11 北多摩南部圏	33	9,740	`	21	214	471	2,022	6,001	1,493	2,512	704	713	45	765	398
12 北多摩北部圏	23	6,751	•	15	322	696	2,542	5,776	1,095	1,976	564	728	28	1,107	386
13 島しょ圏	2	551		1	4	5	11	2	55	84	17	12	0	18	24
合 計	419	99,940		264	3,628	4,936	25,487	95,910	15,679	24,786	6,317	8,447	450	14,431	4,488

表7-1(2) 二次医療圏別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2011年第1週~2011年第52週

二次医療圏	設置小児科定点数	不明発しん症	川崎病
1 区中央部圏	20	40	29
2 区南部圏	21	139	16
3 区西南部圏	25	156	11
4 区西部圏	25	90	16
5 区西北部圏	35	132	17
6 区東北部圏	25	145	30
7 区東部圏	26	198	13
8 西多摩圏	8	17	4
9 南多摩圏	28	266	20
10 北多摩西部圏	14	79	9
11 北多摩南部圏	21	126	16
12 北多摩北部圏	15	118	34
13 島しょ圏	1		2
合 計	264	1,506	217

		人
設置眼科定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
2		104
3	2	31
4	7	70
4		105
6	2	92
4	15	157
4	3	68
1		7
4		48
2		16
3	2	38
2		106
39	31	842

					人
設置基幹定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病は除く)クラミジア肺炎	インフルエンザ入院
4	4	7	50	1	2
1	3	3	37		1
3	7	17	44	1	3
4	12	21	178	8	
2	1	1	20		2
1			391	7	1
1	2	21	25		
1	5	3	36		
1			2		
1					
3	15	18	134	1	2
2	3	5	222		1
1			4		
25	52	96	1,143	18	12

表7-2(1) 二次医療圏別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2011 年第1週~2011 年第52週

		人/定点												人/定点
二次医療圈	設置インフルエンザ定点数	インフルエンザ	設置小児科定点数	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	球菌咽頭炎 A群溶血性レンサ	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	くルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	158.04	20	14.99	15.41	50.23	259.47	45.09	81.24	19.13	29.25	1.46	40.51	12.29
2 区南部圏	33	198.21	21	25.04	28.70	110.03	484.40	55.95	101.61	29.31	33.23	2.54	47.26	12.59
3 区西南部圏	40	196.51	25	8.47	16.56	79.82	305.02	40.28	84.15	17.23	22.36	0.40	41.55	12.31
4 区西部圏	39	171.30	25	13.53	8.08	63.17	307.03	36.95	68.42	14.72	21.47	0.52	34.63	15.25
5 区西北部圏	56	180.75	35	3.55	9.84	55.70	257.72	47.56	60.72	20.12	27.25	2.38	47.12	15.07
6 区東北部圏	40	271.41	25	16.75	16.66	99.86	425.97	56.14	60.99	16.36	36.66	3.76	101.74	13.74
7 区東部圏	41	273.34	26	17.99	25.08	118.46	489.02	67.32	99.99	25.43	39.86	1.01	89.36	14.83
8 西多摩圏	14	210.85	8	7.25	19.39	46.55	262.63	62.52	91.63	27.32	16.89	1.00	23.63	8.00
9 南多摩圏	45	366.08	28	16.07	18.87	184.59	548.35	102.11	160.76	34.81	45.04	1.39	69.23	33.04
10 北多摩西部圏	21	262.41	14	16.27	13.00	80.03	308.80	68.95	102.55	22.86	27.35	1.74	28.80	19.09
11 北多摩南部圏	33	301.48	21	10.76	23.73	101.10	299.11	74.46	128.77	35.18	36.04	2.27	39.91	19.93
12 北多摩北部圏	23	293.52	15	21.47	46.40	169.47	385.07	73.00	131.73	37.60	48.53	1.87	73.80	25.73
13 島しょ圏	2	275.50	1	4.00	5.00	11.00	2.00	55.00	84.00	17.00	12.00		18.00	24.00

表 7 - 2 (2) 二次医療圏別定点当たり患者報告数 (小児科・眼科・基幹) 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

)	<u> </u>
二次医療圈	設置小児科定点数	不明発しん症	川崎病
1 区中央部圏	20	2.08	1.49
2 区南部圏	21	6.70	0.78
3 区西南部圏	25	6.29	0.44
4 区西部圏	25	3.62	0.64
5 区西北部圏	35	3.85	0.49
6 区東北部圏	25	5.88	1.20
7 区東部圏	26	7.64	0.50
8 西多摩圏	8	2.13	0.50
9 南多摩圏	28	9.53	0.72
10 北多摩西部圏	14	5.67	0.65
11 北多摩南部圏	21	6.39	0.81
12 北多摩北部圏	15	7.87	2.27
13 島しょ圏	1		2.00

		人/定点
設置眼科定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
2		52.00
3	0.67	10.33
4	1.75	17.83
4		31.17
6	0.33	15.33
4	3.83	39.50
4	0.75	17.42
1		7.00
4		12.00
2		8.00
3	1.00	18.83
2		53.00

				人	/定点
設置基幹定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病は除く) クラミジア肺炎	インフルエンザ入院
4	1.00	1.75	12.50	0.25	0.50
1	3.00	3.00	37.00		1.00
3	2.33	5.67	14.67	0.33	1.00
4	3.00	5.25	44.50	2.00	
2	0.50	0.50	10.00		1.00
1			391.00	7.00	1.00
1	2.00	21.00	25.00		
1	5.00	3.00	36.00		
1			2.00		
1					
3	5.33	6.33	48.83	0.33	0.66
2	1.50	2.50	111.00		0.50
1			4.00		

表 8 - 1 月別患者報告数(基幹) 2011 年 1 月~2011 年 12 月

表 8 - 2 月別定点当たり患者報告数(基幹) 2 月 2011 年 1 月~2011 年 12 月

					人
月	報告基幹定点数	ブドウ球菌感染症メチシリン耐性黄色	肺炎球菌感染症ペニシリン耐性	緑膿菌感染症 薬剤耐性	バクター 感染症薬剤耐性アシネト
1月	24	82	52	4	
2月	23	81	58	1	
3月	24	87	47	2	
4月	24	89	39	3	
5月	24	115	54	4	
6月	24	87	62	1	
7月	24	110	48	9	
8月	25	130	44	3	
9月	25	94	43	3	
10月	25	90	48	4	
11月	25	94	55	3	
12月	25	77	46		
合	計	1,136	596	37	0

				人	/定点
月	報告基幹定点数	ブドウ球菌感染症メチシリン耐性黄色	肺炎球菌感染症ペニシリン耐性	緑膿菌感染症 薬剤耐性	バクター 感染症薬剤耐性アシネト
1月	24	3.42	2.17	0.17	
2月	23	3.52	2.52	0.04	
3月	24	3.63	1.96	0.08	
4月	24	3.71	1.63	0.13	
5月	24	4.79	2.25	0.17	
6月	24	3.63	2.58	0.04	
7月	24	4.58	2.00	0.38	
8月	25	5.20	1.76	0.12	
9月	25	3.76	1.72	0.12	
10月	25	3.60	1.92	0.16	
11月	25	3.76	2.20	0.12	
12月	25	3.08	1.84		
平	均	3.89	2.05	0.13	0.00

表8-3 月別·性別患者報告数(基幹) 2011年1月~2011年12月

								人	
月	メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症					耐性 感染症	薬剤耐性アシネト バクター感染症		
	男	女	男	女	男	女	男	女	
1月	49	33	34	18		4			
2月	60	21	33	25	1				
3月	63	24	27	20	1	1			
4月	62	27	22	17	3				
5月	82	33	31	23	4				
6月	57	30	37	25	1				
7月	67	43	33	15	7	2			
8月	75	55	30	14	2	1			
9月	66	28	25	18	3				
10月	53	37	27	21	1	3			
11月	68	26	37	18	1	2			
12月	46	31	23	23					
合計	748	388	359	237	24	13	0	0	

表 8 - 4 年齢階級別患者報告数(基幹) 2011年1月~2011年12月

p								人
年齢階級	メチシリン ブドウ球[耐性黄色 菌感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症		薬剤耐性アシネト バクター感染症	
	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳	80	49	32	16				
1~4歳	53	42	131	100				
5~9歳	41	18	20	19	1			
10~14歳	18	7	6	5				
15~19歳	12	1	4	1				
20~24歳	5	1			2			
25~29歳	6	2	1	2				
30~34歳	13	5	2	6				
35~39歳	10	5	7	2				
40~44歳	16	7	10	5		1		
45~49歳	27	4	6	1	1			
50~54歳	21	8	3	1				
55~59歳	22	11	4	3	2	1		
60~64歳	47	25	13	10	2	1		
65~69歳	57	25	18	9	2	2		
70歳以上	320	178	102	57	14	8		
合 計	748	388	359	237	24	13	0	0
定点当たり報告数	30.76	15.91	14.78	9.76	0.99	0.53	0.00	0.00
前年定点当たり報告数	35.32	20.03	15.90	10.86	0.72	0.38	_	-
当年/前年	0.87	0.79	0.93	0.90	1.38	1.40	_	-

表 9-1 月別患者報告数 (STI) 表 9-2 月別定点あたり患者報告数 (STI) 2011 年 1 月~2011 年 12 月 2011 年 1 月~2011 年 12

2011年1月~2011年12月

(男女	計)						人
月	報告STI定点数	性器クラミジア感染症	ウイルス感染症性器ヘルペス	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
1月	55	185	104	73	114	10	5
2月	54	183	101	65	70	15	2
3月	55	188	102	63	101	8	6
4月	55	192	101	71	102	9	7
5月	54	200	94	77	95	10	8
6月	54	225	94	71	79	12	12
7月	55	222	130	66	105	12	7
8月	55	244	110	76	111	7	12
9月	55	220	114	70	103	11	11
10月	55	213	98	61	114	14	17
11月	55	178	95	78	110	24	15
12月	54	176	93	66	108	4	15
合	計	2,426	1,236	837	1,212	136	117

(男女	計)					人	/定点
月	報告STI定点数	性器クラミジア感染症	ウイルス感染症性器ヘルペス	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
1月	55	3.36	1.89	1.33	2.07	0.18	0.09
2月	54	3.39	1.87	1.20	1.30	0.28	0.04
3月	55	3.42	1.85	1.15	1.84	0.15	0.11
4月	55	3.49	1.84	1.29	1.85	0.16	0.13
5月	54	3.70	1.74	1.43	1.76	0.19	0.15
6月	54	4.17	1.74	1.31	1.46	0.22	0.22
7月	55	4.04	2.36	1.20	1.91	0.22	0.13
8月	55	4.44	2.00	1.38	2.02	0.13	0.22
9月	55	4.00	2.07	1.27	1.87	0.20	0.20
10月	55	3.87	1.78	1.11	2.07	0.25	0.31
11月	55	3.24	1.73	1.42	2.00	0.44	0.27
12月	54	3.26	1.72	1.22	2.00	0.07	0.28
平	均	3.70	1.88	1.28	1.85	0.21	0.18

表 9-3 月別·性別患者報告数(STI) 2011年1月~2011年12月

													人		
月	報告STI定		ラミジア 杂症		ルペス :感染症	尖コンジ	圭ローマ	淋菌感染症		淋菌感染症		膣トリコモナス 症		梅毒様	兼疾患
	点数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
1月	55	105	80	79	25	59	14	98	16		10	4	1		
2月	54	96	87	72	29	46	19	60	10	5	10	2			
3月	55	111	77	63	39	43	20	87	14		8	6			
4月	55	98	94	63	38	46	25	87	15	1	8	4	3		
5月	54	117	83	57	37	51	26	81	14		10	8			
6月	54	135	90	52	42	47	24	70	9		12	11	1		
7月	55	124	98	89	41	46	20	86	19	2	10	7			
8月	55	132	112	72	38	53	23	91	20		7	10	2		
9月	55	132	88	70	44	46	24	88	15	2	9	11			
10月	55	127	86	70	28	41	20	102	12	1	13	15	2		
11月	55	105	73	63	32	51	27	91	19	8	16	14	1		
12月	54	108	68	58	35	43	23	88	20		4	14	1		
合	計	1,390	1,036	808	428	572	265	1,029	183	19	117	106	11		

表 9-4 月別・性別定点当たり患者報告数 (STI) 2011 年 1 月~2011 年 12 月

<u>人/定点</u> 報 告 性器クラミジア 性器ヘルペス 尖圭 膣トリコモナス S 淋菌感染症 梅毒様疾患 コンジローマ ウイルス感染症 感染症 症 Τ 月 I 定 点 男 数 女 男 女 男 女 男 女 男 女 男 女 1月 55 1.91 1.07 0.25 1.78 0.29 0.00 0.02 1.451.44 0.450.18 0.072月 54 1.78 1.33 0.540.85 0.35 0.19 0.09 0.04 0.00 1.61 1.11 0.19 3月 2.02 0.36 0.00 55 1.40 1.15 0.710.78 1.58 0.25 0.00 0.150.11 4月 55 1.78 1.71 1.15 0.69 0.84 0.451.58 0.27 0.02 0.15 0.07 0.05 5月 54 2.17 1.54 1.06 0.69 0.940.481.50 0.26 0.00 0.190.150.00 0.20 6月 2.50 1.67 0.96 0.78 0.87 0.441.30 0.17 0.00 0.22 0.02 54 7月 2.25 1.78 1.62 0.750.84 0.36 1.56 0.35 0.04 0.18 0.13 0.00 55 8月 55 2.40 2.04 1.31 0.69 0.96 0.42 1.65 0.36 0.00 0.13 0.18 0.04 9月 1.27 55 2.40 1.60 0.80 0.84 0.441.60 0.27 0.040.16 0.20 0.00 1.27 10月 55 2.31 1.56 0.51 0.75 0.36 1.85 0.22 0.02 0.24 0.27 0.04 11月 55 1.91 1.33 1.15 0.58 0.93 0.49 1.65 0.35 0.150.29 0.25 0.02 12月 54 2.00 1.26 1.07 0.65 0.80 0.43 1.63 0.37 0.00 0.07 0.26 0.02

表 9-5 保健所別、二次医療圏別患者報告数(STI) 2011 年 1 月~2011 年 12 月

															人
保健所	設置定点	性器グ感導	ラミジア 染症		ルペス ルス 染症		圭ローマ	淋菌原	感染症	膣トリコニ	モナス症	梅毒株	 兼疾患	合	計
	数数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	99	12	31		25	1	99	4			6		260	17
中央区	3	138	35	31	8	8	4	31	2		6			208	55
みなと	2	100	78	303	47	104	28	54	9		8	9		570	170
新宿区	7	373	105	165	129	251	93	418	64	6	12	66		1,279	403
文京	1	57		14		15		41						127	
台東	2		40		12		1		1		10				64
墨田区	2	26	9	8	9	11	11	17	4		3		2	62	38
江東区	2	135	14	77	3	28	4	87	5	8	4	1		336	30
品川区	1	33	3	11	1	8		31	1		1	1		84	6
大田区	2	22	69				3	5					1	27	73
渋谷区	5	83	69	43	81	17	39	44	10		4	2	4	189	207
中野区	2	50	11	10		1	12	41	2	1	12	6		109	37
杉並	2	27	12			1	3	11	3		1			39	19
池袋	3	133	100	75	55	68	24	60	30		7	7		343	216
北区	1	7		3		23	1	2				1		36	1
荒川区	1		24	2	7		5		5	1	3			3	44
板橋区	2	18	43	5	17	4	2	28	5		2	1		56	69
足立	2	31	1	8		6	1	28				1	2	74	4
江戸川	2	42	101	17	12	2	9	18	4	2	12	5	2	86	140
八王子市	4	2	90		14		9		8		6			2	127
町田市	1		44	5	11		1		2		12			5	70
多摩立川	2	3	165		21		13		22	1	13			4	234
多摩府中	3	11	2					14						25	2
多摩小平	1		9		1		1		2		1				14
合 計	55	1,390	1,036	808	428	572	265	1,029	183	19	117	106	11	3,924	2,040
定点当たり報	告数	25.43	18.95	14.77	7.83	10.46	4.85	18.81	3.35	0.35	2.14	1.94	0.20	71.76	37.31
前年定点当たり	報告数	24.92	19.15	13.41	8.74	11.02	4.60	17.08	2.73	0.04	2.74	1.47	0.07	67.94	38.04
当年/前年	年	1.02	0.99	1.10	0.90	0.95	1.06	1.10	1.23	9.38	0.78	1.32	2.73	1.06	0.98
区中央部圏	10	394	165	379	67	152	34	225	16		24	15		1,165	306
区南部圏	3	55	72	11	1	8	3	36	10		1	1	1	111	79
区西南部圏	5	83	69	43	81	17	39	44	10		4	2	4	189	207
区西部圏	11	450	128	175	129	253	108	470	69	7	25	72	-1	1,427	459
区西北部圏	6	158	143	83	72	255 95	27	90	35	<u>'</u>	9	9		435	286
区東北部圏	3	31	25	10	7	6	6	28	5	1	3	1	2	77	48
区東部圏	6	203	124	102	24	41	24	122	13	10	19	6	4	484	208
南多摩圏	5	203	134	5	25	11	10	122	10	10	18	0	7	7	197
北多摩西部圏	2	3	165	5	21		13		22	1	13			4	234
北多摩南部圏	3	11	2		21		10	14	22	1	10			25	2 2
北多摩北部圏	1	11	9		1		1	1.4	2		1			20	14
コログ手化即門	1		J		1		1		4		1				1.4

表 9 - 6 保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数(STI) 2011年1月~2011年12月

															/定点
保健所	設置定点		ラミジア 杂症	ウイ	ルペス ルス 染症		生	淋菌原	感染症	膣トリコニ	モナス症	梅毒植		合	計
	数数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	49.50	6.00	15.50		12.50	0.50	49.50	2.00			3.00		130.00	8.50
中央区	3	46.00	11.67	10.33	2.67	2.67	1.33	10.33	0.67		2.00			69.33	18.33
みなと	2	50.00	39.00	151.50	23.50	52.00	14.00	27.00	4.50		4.00	4.50		285.00	85.00
新宿区	7	53.29	15.00	23.57	18.43	35.86	13.29	59.71	9.14	0.86	1.71	9.43		182.71	57.57
文京	1	57.00		14.00		15.00		41.00						127.00	
台東	2		20.00		6.00		0.50		0.50		5.00				32.00
墨田区	2	13.00	4.50	4.00	4.50	5.50	5.50	8.50	2.00		1.50		1.00	31.00	19.00
江東区	2	67.50	7.00	38.50	1.50	14.00	2.00	43.50	2.50	4.00	2.00	0.50		168.00	15.00
品川区	1	33.00	3.00	11.00	1.00	8.00		31.00	1.00		1.00	1.00		84.00	6.00
大田区	2	11.00	34.50				1.50	2.50					0.50	13.50	36.50
渋谷区	5	17.10	14.35	9.20	17.15	3.75	8.15	9.00	2.15		0.85	0.40	0.80	39.45	43.45
中野区	2	25.00	5.50	5.00		0.50	6.00	20.50	1.00	0.50	6.00	3.00		54.50	18.50
杉並	2	13.50	6.00			0.50	1.50	5.50	1.50		0.50			19.50	9.50
池袋	3	44.33	33.33	25.00	18.33	22.67	8.00	20.00	10.00		2.33	2.33		114.33	72.00
北区	1	7.00		3.00		23.00	1.00	2.00				1.00		36.00	1.00
荒川区	1		24.00	2.00	7.00		5.00		5.00	1.00	3.00			3.00	44.00
板橋区	2	9.00	21.50	2.50	8.50	2.00	1.00	14.00	2.50		1.00	0.50		28.00	34.50
足立	2	15.50	0.50	4.00		3.00	0.50	14.00				0.50	1.00	37.00	2.00
江戸川	2	22.00	50.50	8.50	6.00	1.00	4.50	10.50	2.00	1.00	6.00	2.50	1.00	45.50	70.00
八王子市	4	0.50	22.50		3.50		2.25		2.00		1.50			0.50	31.75
町田市	1		44.00	5.00	11.00		1.00		2.00		12.00			5.00	70.00
多摩立川	2	1.50	82.50		10.50		6.50		11.00	0.50	6.50			2.00	117.00
多摩府中	3	3.67	0.67					4.67						8.33	0.67
多摩小平	1		9.00		1.00		1.00		2.00		1.00				14.00
合 計	55	1,390	1,036	808	428	572	265	1,029	183	19	117	106	11	3,924	2,040
定点当たり報	告数	25.43	18.95	14.77	7.83	10.46	4.85	18.81	3.35	0.35	2.14	1.94	0.20	71.76	37.31
前年定点当たり	報告数	24.92	19.15	13.41	8.74	11.02	4.60	17.08	2.73	0.04	2.74	1.47	0.07	67.94	38.04
当年/前	年	1.02	0.99	1.10	0.90	0.95	1.06	1.10	1.23	9.38	0.78	1.32	2.73	1.06	0.98
区中央部圏	10	39.40	16.50	37.90	6.70	15.20	3.40	22.50	1.60	I	2.40	1.50		116.50	30.60
						15.20							0.22		
区南部圏	3	18.33	24.00	3.67	0.33	2.67	1.00	12.00	0.33		0.33	0.33	0.33	37.00	26.33
区西南部圏	5	17.10	14.35	9.20	17.15	3.75	8.15	9.00	2.15	0.04	0.85	0.40	0.80	37.80	41.40
区西部圏 区西北部圏	11 6	40.91 26.33	11.64 23.83	15.91 13.83	11.73	23.00	9.82 4.50	42.73 15.00	6.27 5.83	0.64	2.27 1.50	6.55 1.50		129.73 72.50	41.73
区東北部圏	3	10.33	8.33	3.33	2.33	2.00	2.00	9.33	1.67	0.33	1.00	0.33	0.67	25.67	16.00
区東部圏	6	34.43	20.70	17.20	4.03	7.00	4.03	20.60	2.23	1.67	3.17	1.00	0.67	80.67	34.67
南多摩圏	5	0.40	26.80	1.00	5.00	1.00	2.00	20.00	2.23	1.07	3.60	1.00	0.07	1.40	39.40
北多摩西部圏	2	1.50	82.50	1.00	10.50		6.50		11.00	0.50	6.50			2.00	117.00
北多摩南部圏	3	3.67	0.67		10.00		0.00	4.67	11.00	0.50	0.50			8.33	0.67
北多摩北部	1	3.01	9.00		1.00		1.00	1.07	2.00		1.00			0.00	14.00
10岁净化即	1		9.00		1.00	1	1.00		2.00	I	1.00	1			14.00

表 9-7 年齢階級別患者報告数 (STI) 2011 年 1 月~2011 年 12 月

	ы пп		ы пп		4/5									人
年齢階級	性器グ	ラミジア 快症	性器へウイルス		コンジ	圭 ローマ	淋菌原	感染症	膣トリコー	モナス症	梅毒株	兼疾患	合	計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳														
1~4歳														
5~9歳														
10~14歳		6				2				2				10
15~19歳	40	124	8	30	10	26	33	29	2	5	1		94	214
20~24歳	176	295	33	74	48	87	136	63	1	20	13		407	539
25~29歳	277	273	86	89	88	74	214	46	3	22	19	3	687	507
30~34歳	247	168	168	72	110	33	219	22	4	13	22	1	770	309
35~39歳	232	87	111	51	117	25	152	9	3	17	22		637	189
40~44歳	174	49	107	36	63	5	101	5	2	8	15		462	103
45~49歳	119	21	105	19	62	5	76	7	1	11	5	1	368	64
50~54歳	61	8	79	22	33	5	42		2	6	4		221	41
55~59歳	38	4	41	9	22		27	1		4	4		132	18
60~64歳	18		32	7	4	2	19			3	1	2	74	14
65~69歳	5		17	9	10	1	5			1		2	37	13
70歳以上	3	1	21	10	5		5	1	1	5		2	35	19
合 計	1,390	1,036	808	428	572	265	1,029	183	19	117	106	11	3,924	2,040

表 1 O 検査結果別報告数 (基幹) 2011 年 1 月~2011 年 12 月

			1		人
検査結果	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎	合計
インフルエンザ菌	8				8
肺炎球菌	6				6
B群レンサ球菌	5				5
大腸菌K1	3				3
緑膿菌	2				2
黄色ブドウ球菌	2				2
エンテロコッカス フェカリス	1				1
リステリア モノサイトゲネス	1				1
表皮ブドウ球菌	1				1
レンサ球菌(群不明)	1				1
レンサ球菌(群その他)	1				1
その他の細菌	1				1
ムンプスウイルス		4			4
水痘帯状疱疹ウイルス		2			2
クリプトコッカス ネオフォルマンス		1			1
エンテロウイルス(型不明)		1			1
単純ヘルペスウイルス1型		1			1
結核菌		1			1
パレコウイルス1型		1			1
肺炎マイコプラズマ		1	1,121		1,122
肺炎クラミジア				18	18
陰性		6	2		8
記載なし	20	78	20		118
合計	52	96	1,143	18	1,309

表 1 1 疑似症サーベイランス報告数 2011 年第 1 週~2011 年第 52 週

				人
週	期間	報告定点数	発熱及び呼吸器症状	発熱及び発しん・水疱
1	1. 3∼ 1. 9	437	2	
2	1.10~ 1.16	443		
3	1.17~ 1.23	441		
4	1.24~ 1.30	441		
5	1.31~ 2. 6	443		
6	2. $7 \sim 2.13$	441	1	
7	2.14~ 2.20	442		
8	2. 21~ 2. 27	441		
9	2.28~ 3. 6	441		
10	3. 7∼ 3.13	438	1	1
11	3.14~ 3.20	438		
12	3.21~ 3.27	439		
13	3. 28~ 4. 3	436		
14 15	$\frac{4. \ 4 \sim \ 4.10}{4.11 \sim \ 4.17}$	438	1	
16	4. 11 ~ 4. 17	439	1	
17	4. 25~ 5. 1	436		
18	5. 2~ 5. 8	435	1	
19	5. 9~ 5.15	440		1
20	5. 16~ 5. 22	441		
21	5. 23~ 5. 29	436		1
22	5.30∼ 6. 5	439		
23	6. 6∼ 6.12	438		
24	6.13~ 6.19	438		
25	6. 20~ 6. 26	438		
26	6. 27∼ 7. 3	437		
27	7. 4~ 7.10	441		
28	7. 11~ 7. 17	439		
29 30	$7.18 \sim 7.24$ $7.25 \sim 7.31$	437		
31	8. 1~ 8. 7	439		
32	8. 8~ 8.14	410		
33	8. 15~ 8. 21	418		
34	8. 22~ 8. 28	432		
35	8. 29~ 9. 4	438		
36	9. 5∼ 9.11	440		
37	9.12~ 9.18	433		
38	9.19~ 9.25	439		
39	9.26~10.2	436		
40	10. 3~10. 9	433		
41	$10.10 \sim 10.16$ $10.17 \sim 10.23$	434		
42	$10.17 \sim 10.23$ $10.24 \sim 10.30$	439		
43	$10.24 \sim 10.30$ $10.31 \sim 11.6$	438		
45	11. 7~11. 13	435		1
46	11. 14~11. 20	438	2	
47	11.21~11.27	441	1	
48	11. 28~12. 4	442		
49	12. 5~12.11	440		
50	12. 12~12. 18	442		
51	12. 19~12. 25	441		
52	12.26~ 1. 1	421	0	4
Ь	合 計		9	4

			人
保健所	設置定点数	発熱及び呼吸器症状	発熱及び発しん・水疱
千代田	4		
中央区	5		
みなと	9		
新宿区	13		
文京	8		
台東	7		
墨田区	9		
江東区	14		
品川区	13	2	
目黒区	8		
大田区	22		
世田谷	28		
渋谷区	9		
中野区	11		
杉並	16		
池袋	9		
北区	11		
荒川区	7		
板橋区	18	6	1
練馬区	21		1
足立	21		
葛飾区	13		
江戸川	19		
八王子市	19		
町田市	13		
西多摩	15		
南多摩	15		
多摩立川	23		
多摩府中	36		
多摩小平	24	1	2
島しょ	3		
合 計	443	9	4

		人
年齢階級	発熱及び呼吸器症状	発熱及び発しん・水疱
0~5 か月		
6~11 か月		
1歳	1	3
2歳	1	1
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10~14歳	1	
15~19歳		
20~29歳	2	
30~39歳	3	
40~49歳		
50~59歳	1	
60~69歳		
70~79歳		
80歳以上		